

指標設定チェックシート

施策名	1-1-①	区民の生命を守る総合危機管理能力の向上
部課名	防災危機管理課・関係課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>異常気象や感染症、予想される首都直下地震など様々な危機事象に対し、区民が安心して生活し、生命の危険に脅かされない強靱なまちを多様な主体とともに創りあげている。</p>	<p>(1) ○人が主役のまちの基盤となる強靱なまちを創るため、不燃化・雨水対策等のハード施策と各種訓練等のソフト施策を組み合わせ、実効性の高い取組を総合的に展開します。 ○あらゆる危機事象への対応において、地域コミュニティの核となる町会、各区有施設、商店街、医療機関、民間企業、区内大学、都、本区、災害ボランティア等の様々な主体が総力を挙げ、重層的かつ実効性の高い連携を行うための体制を構築し、災害時要援護者等の災害弱者を始めとして、区民の生命を最優先で守ります。 ○危機の種類に応じた実践的な訓練の実施、総合防災システムの適切な運用をはじめ、区職員が平時から機動的な対応を可能とするための庁内体制の強化を図ります。 ○危機発生時には関係機関と連携し、迅速な情報収集・分析を行うとともに、一斉情報 配信システム、SNSなど様々な手法で、正確な情報をリアルタイムで発信します。</p>	①	「さまざまな災害に対する強靱なまちづくりが進んでいる」と思うと回答した割合【%】	③	防災訓練の参加人数
		②	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合【%】	④	自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数【人】
	<p>(2) ○熱中症への対応については、消防や民間事業者とも連携を強化し、熱中症予防のための注意を呼び掛けていくほか、区民ひろば等を涼みどころとして開放します。 ○風水害への対応については、雨水流出抑制のための透水性舗装等のハード面の整備とともに、適切な避難指示発出や避難支援により人的被害をなくしてまいります。 ○感染症への対応については、コロナ禍の対応等を教訓として関係機関との連携体制を強化し、機動的な医療提供体制を確保するとともに、区民の普及啓発を推進します。 ○地震への対応については、木密地域の不燃化、建築物の耐震化・無電柱化等のハード整備とともに、各種訓練や自助・共助による地域防災力を高める取組を推進します。</p>	①	訓練アンケートで、訓練内容について「理解した」と回答した割合【%】	③	救援センター開設運営訓練の参加人数
		②	密集事業地区区内の不燃領域率【%】	④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

			新基本計画期間(2025-2029)										
指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「さまざまな災害に対する強靱なまちづくりが進んでいる」と思うと回答した割合	%	-	-	-	-	-	-	新規		
	成果指標	②	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合	%	-	-	50.0	90.0	90.0	95.0	95.0	新規	
	活動指標	③	防災訓練の参加人数	人	3,125	3,200	3,250	3,300	3,350	3,400	3,450	新規	
	活動指標	④	自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数	人	-	-	500	100	300	100	300	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合	%	-	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	新規	
	成果指標	②	密集事業地区内の不燃領域率【%】	%	67.8	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0%以上	継続	6-4-1 災害に強い都市空間の形成
	活動指標	③	救援センター開設運営訓練の参加人数	人	1,320	1,350	1,400	1,450	1,500	1,550	1,600	新規	
	活動指標	④											

指標			指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)			出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区民意識調査で、「さまざまな災害に対する強靱なまちづくりが進んでいる」と思うと回答した区民の割合		区民の生命を守る総合危機管理能力を問う適切な設問であるため			区民意識調査	
	成果指標	②	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合【%】		個別避難計画の作成状況の進捗を客観的に図る指標であるため			所管課データ	
	活動指標	③	防災訓練の参加人数		女性の防災リーダーを育成することで、女性が進んで救援センターの運営に参加するきっかけをつくるのが昨今求められている多様性に応えることができるため。			所管課データ	
	活動指標	④	自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数【人】		個別避難計画の作成状況の具体的な数値を図る指標であるため			所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合		避難者対策として、救援センターに逃げてきた人が率先してセンターを開設、運営できることが重要であるため			所管課データ	
	成果指標	②	市街地の「燃えにくさ」を表す指標。建築物の不燃化や道路・公園などの空き地の状況から算出する。		市街地の「燃えにくさ」を表す指標で、不燃領域率が70%を超えると市街地の焼失率がほぼ0となるため。			所管課データ	
	活動指標	③	救援センター開設運営訓練の参加者人数		避難者対策を浸透させるには、当課が実施する救援センター開設運営訓練により多くの人に参加してもらい、救援センター運営の知識の普及啓発を諮ることが重要であるため			所管課データ	
	活動指標	④							

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「さまざまな災害に対する強靱なまちづくりが進んでいる」と思うと回答した割合	各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	活動指標	(2)-③	救援センター開設運営訓練の参加者人数	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			%	-	-	-	-	-	-	-	今後設定予定
	成果指標 ②	△		✓					%	-	-	50.0	90.0	90.0	95.0	95.0	適切
	活動指標 ③	○	✓	✓		✓			人	3,125	3,200	3,250	3,300	3,350	3,400	3,450	適切
	活動指標 ④	△		✓					人	-	-	500	100	300	100	300	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	△		✓		✓			%	-	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	適切
	成果指標 ②	◎	✓	✓			✓	✓	%	67.8	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0%以上	適切
	活動指標 ③	○	✓	✓		✓			人	1,320	1,350	1,400	1,450	1,500	1,550	1,600	適切
	活動指標 ④																

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「さまざまな災害に対する強靱なまちづくりが進んでいる」と思うと回答した割合	備考	防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数を合わせた指標への変更 ※「密集事業地区内の不燃領域率【%】」は1-1-4「災害に強い都市の実現」で成果指標として設定しており、施策内容を踏まえると1-1-4の施策内容が最も親和性が高い
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数【人】		

指標設定チェックシート

施策名	1-1-②	区民防災力の向上
部課名	防災危機管理課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
区民の多様性に応える救 援センターの開設や運営を 区民が中心になって実施 できている。 区民の防災意識向上し、 多くの区民が防災備蓄等 を行っている。	(1) <ul style="list-style-type: none"> ○避難行動を示したリーフレットや動画等により、在宅避難時に必要な行動や備蓄品の準備を幅広い世代に伝えていくとともに、防災フェスや救援センター開設訓練などで防災用品に触れる機会を設けることで、自助の必要性や防災意識を高めていきます。 ○小中学校における防災教育やAED活用訓練を実施するほか、合同防災訓練等への積極的な参加を促し、子どもの頃からの防災意識の向上に努めます。 ○感震ブレーカーの普及、家具転倒防止、エレベーター停止への対応など住環境によって変わるリスクについても普及啓発をすすめ、災害時の被害軽減に努めます。 	①	「災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている」と思う回答割合【%】	③	防災フェスの来場者数【人】	
		②		④		
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ○各地域の町会を中心とした救援センター開設訓練等を感染症対策を含め実践的に実施するほか、防災士取得助成等により、女性を含めた地域の防災リーダーを育成し、地域防災力の向上を図ります。 ○地域医療機関、災害ボランティア受入機関等との日頃からの連携を深め、非常時における医療救護体制や救援センター運営支援のための体制を確保します。 ○マンションは発災時にエレベーター停止により、高齢者などの在宅避難が困難になることから、管理組合が中心になって住民同士が互いに助け合えるような体制の構築を促進します。 	①	「家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている」と思う回答割合【%】	③	災害ボランティア登録人数【人】	
		②	防災訓練の参加人数【人】	④	防災士助成制度の申し込み人数【人】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名		単位	新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名			
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値		
取組方針(1)	成果指標	①	「災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている」と思う回答割合	%	-	-	-	-	-	-	-	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	防災フェスの来場者数	人	雨天中止のため、実績値なし	8,000	8,500	9,000	9,500	10,000	10,000	新規	
	活動指標	④											
取組方針(2)	成果指標	①	「家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている」と思う回答割合	%	13.9	15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	20.0	継続	施策6-4-2
	成果指標	②	防災訓練の参加人数	人	3,125	3,200	3,250	3,300	3,350	3,400	3,450	新規	
	活動指標	③	災害ボランティア登録人数	人	62	62	65	72	80	90	100	新規	
	活動指標	④	防災士助成の申込者数	人	8	9	10	11	12	13	14	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針(1)	成果指標	①	区民意識調査によるアンケートにおいて、「そう思う」「ほぼそう思う」と回答した人の割合	区民の防災意識の裾野を広げる取り組みとして学校や地域で防災講話を継続実施する中で、区民が防災への意識をもっている指標とすることができるため。	区民意識調査
	成果指標	②			
	活動指標	③	防災フェスの来場者数	防災フェスに来場するということは少なからず防災に興味関心を示していると判断することが可能であるため。	所管課データ
	活動指標	④			
取組方針(2)	成果指標	①	区民意識調査によるアンケートにおいて、「そう思う」「ほぼそう思う」と回答した人の割合	区民の防災意識の裾野を広げる取り組みとして学校や地域で防災講話を継続実施する中で、区民が防災への意識をもっている指標とすることができるため。	区民意識調査
	成果指標	②	防災訓練の参加人数	女性の防災リーダーを育成することで、女性が進んで救援センターの運営に参加するきっかけをつくるのが昨今求められている多様性に応えることができるため。	所管課データ
	活動指標	③	災害ボランティア登録人数	共助を進めていくために必要な人材であるため。	社会福祉協議会データ
	活動指標	④	防災士助成の申込者数	防災士助成制度への申込者数が増えることは、区民における防災意識の高まりを反映していると捉えることができるため。	所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている」と思う回答割合【%】	各取り組みの進捗を計る設問としてふさわしく、施策を的確に表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-②	防災訓練の参加人数【人】	この指標によって、広く区民に対してアプローチしている成果としてみることができると考えるため。

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すま ちの姿や取 組方針を 適切に表し ている	②データや 算定方法 の信頼性が 高い	③豊島区 らしさを表し ている	④指標自 体がポジ ティブな印 象である	⑤国・都の 計画等で 目標の方 向性が示さ れている	⑥現計画と 継続する指 標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定 の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			%	-	-	-	-	-	-	-	今後設定予定
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	△		✓	✓				人	雨天中止のため、実績値なし	8,000	8,500	9,000	9,500	10,000	10,000	適切
	活動指標 ④																
取組方針(2)	成果指標 ①	△	✓				✓		%	13.9	15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	20.0	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓					人	3,125.0	3,200.0	3,250.0	3,300.0	3,350.0	3,400.0	3,450.0	適切
	活動指標 ③	△	✓			✓			人	62	62	65	72	80	90	100	目標値が高すぎる
	活動指標 ④	△		✓	✓				人	8	9	10	11	12	13	14	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている」と思う回答割合	備考	指標2は施策1-1-1に記載の成果指標(1-1-1では別指標を代表的な指標として選定)だが、本施策の目指す姿とリンクした指標であるため。
指標2	成果指標(区民意識調査以外)	訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合		

指標設定チェックシート

施策名	1-1-③	災害時避難者・災害時要援護者対策
部課名	総務部 防災危機管理課 ・ 福祉部 福祉総務課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
災害発生時や水害等の発生が予見されるときなどに、すべての区民が適切な避難行動により安全な場所に避難し、避難先において安心して避難生活を送ることができる。	(1) <ul style="list-style-type: none"> ○災害時に救援センター等において安心して避難生活を送ることができるよう、災害時要援護者や女性、在住および観光等で滞在している外国人等を含めて多様な視点を取り入れ、救援センター等の環境改善、備蓄物資の拡充、多言語対応等を含めたコミュニケーション手段・情報発信の強化を図ります。 ○負傷した方や避難生活で体調を崩した区民に対し医療救護所などで迅速かつ適切な医療を提供するために、区内病院や医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護師会など関係機関との連携を強化していきます。 	① <ul style="list-style-type: none"> 災害時において、救援センターでの活動に協力する意向を示した防災士を配置した人数 	③ <ul style="list-style-type: none"> すでに防災士の資格を取得している人を含めた、災害時における救援センターでの活動に協力する意向を示した区民の数 	一般区民用はもちろんのこと、福祉救援センター用の備蓄も併せて調達整備をしていくが、例えば備蓄計画上1歳～3歳の子供の栄養補給がミルクとなっているものを離乳食に変更したりと現実的な備蓄品目、数量の確保を行うことで不要な備蓄の発生が出ないようにします。
		② <ul style="list-style-type: none"> 訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合 	④ <ul style="list-style-type: none"> 救援センター開設運営訓練の実施回数 	
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ○福祉・介護サービス事業者や町会・自治会などの地域防災組織、民生委員等の多様な主体と連携して、計画作成を支援する担い手や実際に個別避難計画に登録していただく避難支援者を確保します。 ○豊島区介護事業者災害対策連絡協議会と連携して、計画作成支援のスキームを構築し、個別避難計画の作成を希望する区民一人ひとりの特性に応じた避難計画の作成を着実に進めていきます。また、個別避難計画の作成を希望しなかった避難行動要支援者に対して、個別避難計画の意義の周知や、計画作成に向けた働きかけを継続して行い、個別避難計画作成者の拡充に取り組みます。 	① <ul style="list-style-type: none"> 個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合【%】 	③ <ul style="list-style-type: none"> 自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数【人】 	実際に作成した個別避難計画作成を活用し防災訓練等に参加し、計画の実効性を向上させるための計画の修正や見直しなどの取り組み
		② <ul style="list-style-type: none"> 個別避難計画作成に際して、支援を行った人数【人】 	④ <ul style="list-style-type: none"> 個別避難計画作成に際して、支援を行った人数【人】 	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

			新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
指標名			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029				
			単位	実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標	①	災害時において、救援センターでの活動に協力する意向を示した防災士を配置した人数	人	0	17	35	52	70	88	105	新規	
	成果指標	②	訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合	%	-	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	新規	
	活動指標	③	すでに防災士の資格を取得している人を含めた、災害時における救援センターでの活動に協力する意向を示した区民の数	人	18	35	53	70	88	105	123	新規	
	活動指標	④	救援センター開設運営訓練の参加人数	%	1,320	1,350	1,400	1,450	1,500	1,550	1,600	新規	
取組方針(2)	成果指標	①	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合	%	-	-	50.0	90.0	90.0	95.0	95.0	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数	人	-	-	500	100	300	100	300	新規	
	活動指標	④	個別避難計画作成に際して、作成委託等により支援を行った人数	人	-	-	100.0	200.0	200.0	200.0	200.0	新規	

指標	指標の算出方法			指標の設定理由(施策目標との関係)			出典
取組方針(1)	成果指標	①	災害時において、救援センターでの活動に協力する意向を示した防災士を配置した人数【人】	救援センターの環境整備を進めるにあたり、防災士の資格を取得者を配置して運営協議会等に参加してもらえる状態をつくることが重要であるため			所管課データ
	成果指標	②	訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合【%】	避難者対策として、救援センターに逃げてきた人が率先してセンターを開設、運営できることが重要であるため			所管課データ
	活動指標	③	すでに防災士の資格を取得している人を含めた、災害時における救援センターでの活動に協力する意向を示した区民の数【人】	コロナ禍において、在宅避難が推奨されるようになったが、在宅避難を可能にするためには備蓄等ができてることが重要であるため			所管課データ
	活動指標	④	救援センター開設運営訓練の参加者人数【人】	避難者対策を浸透させるには、当該が実施する救援センター開設運営訓練により多くの人に参加してもらい、救援センター運営の知識の普及啓発を諮ることが重要であるため			所管課データ
取組方針(2)	成果指標	①	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合【%】	個別避難計画の作成状況の進捗を客観的に図る指標であるため			所管課データ
	成果指標	②					
	活動指標	③	自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数【人】	個別避難計画の作成状況の具体的な数値を図る指標であるため			所管課データ
	活動指標	④	個別避難計画作成を自己作成することが困難なため、作成委託等により個別避難計画の作成を行った人数【人】	個別避難計画の作成状況の具体的な数値を図る指標であるため			所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	災害時において、救援センターでの活動に協力する意向を示した防災士を配置した人数【人】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合【%】	・両指標を記載することによって、避難行動要支援者の視点と災害時要援護者を含めた区民の視点をもって成果を表すことができるため。

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すま ちの姿や取 組方針を 適切に表し ている	②データや 算定方法 の信頼性が 高い	③豊島区 らしさを表し ている	④指標自 体がポジ ティブな印 象である	⑤国・都の 計画等で 目標の方 向性が示さ れている	⑥現計画と 継続する指 標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定 の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	災害時において、救援センターでの活動に協力する意向を示した防災士を配置した人数	◎	✓	✓	✓	✓		人	0	17	35	52	70	88	105.0	適切
	成果指標 ②	訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合	△	✓		✓			%	-	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	適切
	活動指標 ③	すでに防災士の資格を取得している人を含めた、災害時における救援センターでの活動に協力する意向を示した区民の数	○	✓	✓				人	18	35	53	70	88	105	123	目標値が高すぎる
	活動指標 ④	救援センター開設運営訓練の参加人数	△		✓	✓			%	1,320	1,350	1,400	1,450	1,500	1,550	1,600	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合	○	✓	✓	✓			%	-	-	50.0	90.0	90.0	95.0	95.0	目標値が高すぎる
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数	△		✓				人	-	-	500	100	300	100	300	適切
	活動指標 ④	個別避難計画作成に際して、作成委託等により支援を行った人数	△		✓				人	-	-	100	200	200	200	200	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	災害時において、救援センターでの活動に協力する意向を示した防災士を配置した人数	備考	所管部局案を採用
指標2	成果指標(区民意識調査)	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合		

指標設定チェックシート

施策名	1-1-④	災害に強い都市の実現
部課名	都市整備部 地域まちづくり課・建築課・道路整備課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>建物の不燃化・耐震化と、災害時も区民の生命と財産を守ることができ、迅速な復旧・復興が可能な基盤整備が促進され、誰もが住み続けられる安全・安心なまちづくりが進んでいる。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いざという時に区民が安全に避難できるように、区内の狭あい道路の拡幅整備を着実に推進するとともに、区道の無電柱化を計画的に進めます。また、救援センター機能の向上を図るためにも、木造住宅密集地域の防災生活道路の整備促進や避難路などの強化を推進します。 ○ 老朽化した建物の除却や建替え、耐震化を促進するとともに、東京都の都市計画道路整備事業と連携した沿道まちづくりを推進することにより、木造住宅密集地域の焼失率がほぼ0となるよう不燃領域率70%以上を目指します。 ○ 地域の理解を得ながらハード整備を進めるため、まちづくり協議会の活動を支援するとともに、関係権利者の協力を求め、地域と連携した道路や公園づくりに努めます。 ○ 建物の倒壊による道路閉鎖等を防止するため、特定緊急輸送道路沿道建築物の所有者への働きかけ強化、耐震化支援により、沿道建物の耐震化100%を目指します。 ○ 区が管理する橋梁は、5年毎の健全度点検や早期の補修等により、被害を未然に防ぐ予防保全の施設管理を推進します。 	<p>① 密集事業地区内の不燃領域率【%】</p>	<p>③ 不燃化特区事業助成金件数【件】</p>	<p>○道路・公園などのハード整備や区民等で構成されるまちづくり協議会等の活動によって、区民の防災意識の気運醸成につながったか。</p> <p>○狭あい道路が拡幅され、緊急車両が通行可能となったことで、防災性、安全性が向上したか。</p> <p>○区内の橋梁の健全度が高まり、利用者や地域の安全性が確保されたか。</p>
		<p>② 狭あい道路拡幅整備率【%】</p>	<p>④ 拡幅整備工事延長【m】</p>	
	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や台風による被害を抑えるために、東京都と連携しつつ、透水性舗装の整備や雨水樹の適切な維持管理を実施します。 ○ 災害に対する適切な水防対応を行うため、神田川の水位警報装置を適切に管理するとともに、道路冠水に備えたシステムの構築に努めます。 	<p>① 雨水流出抑制対策量【万㎡】</p>	<p>③ 雨水樹清掃件数【箇所】</p>	<p>○透水性舗装の整備や河川監視システムを構築することで、区民の水害への安心感につながっているか。</p>
		<p>②</p>	<p>④</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
取組方針 (1)	成果指標	①	密集事業地区内の不燃領域率【%】	%	67.8	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0以上	継続	6-4-1 災害に強い都市空間の形成
	成果指標	②	狭あい道路拡幅整備率【%】	%	40.1	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	46.0	新規	
	活動指標	③	不燃化特区事業助成金件数【件】	件	100	231	239	—	—	—	—	継続	6-4-1 災害に強い都市空間の形成
	活動指標	④	拡幅整備工事延長【m】	m	2,909	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	雨水流出抑制対策量【万㎡】	万㎡	6.3	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	継続	6-4-5 総合治水対策の推進
	成果指標	②											
	活動指標	③	雨水樹清掃件数【箇所】	箇所	8,838	8,900	9,000	9,100	9,200	9,300	9,400	継続	6-4-5 総合治水対策の推進
	活動指標	④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	市街地の「燃えにくさ」を表す指標。建築物の不燃化や道路・公園などの空地の状況から算出する。	市街地の「燃えにくさ」を表す指標で、不燃領域率が70%を超えると市街地の焼失率がほぼ0となるため。		所管課データ	
	成果指標	②	(既整備工事済総延長÷区内狭あい道路総延長)×100で算出する。	狭あい道路の整備と解消を図る(整備率100%を目指す)ため		所管課データ	
	活動指標	③	不燃化特区指定区域内における建築建替え及び除却に対する助成件数	助成実績は、建物の不燃化・耐震化の進捗を示す活動指標であるため。		所管課データ	
	活動指標	④	1年間に整備した狭あい道路延長の合計	1年間に整備を期待する(整備可能な)値		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	区有施設及び民間施設で整備した累計数量	神田川及び石神井川流域に位置する関係区市において、時間75mm対応にするための雨水流出抑制対策量		所管課データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	通常及び台風前等の雨水樹清掃の年間処理件数	ゲリラ豪雨等の対応には、日頃からの雨水樹清掃が必要であるため		所管課データ	
	活動指標	④					

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)①	密集事業地区内の不燃領域率【%】	建物の不燃化や道路、公園などの空地の状況から算出した、市街地の「燃えにくさ」、つまり防災性が高まったことを示す指標であるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(1)②	狭あい道路拡幅整備率【%】	区条例に基づくオリジナルの施策であり、区道、私道を問わず、区全域にわたって狭あい道路の拡幅整備を行うもので、安全・安心のまちづくりに大きく寄与するため。

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓			✓	✓	%	67.8	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0%以上	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓			✓		%	40.1	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	46.0	適切
	活動指標 ③	○	✓	✓				✓	件	100	231	239	—	—	—	—	適切
	活動指標 ④	○	✓	✓					m	2,909	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	○	✓	✓				✓	万㎡	6.3	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	△		✓			✓	✓	箇所	8,838	8,900	9,000	9,100	9,200	9,300	9,400	適切
	活動指標 ④																

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	密集事業地区内の不燃領域率【%】	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	狭あい道路拡幅整備率【%】		

指標設定チェックシート

施策名	1-②	地域における区民参画・協働の推進
部課名	区民部 区民活動推進課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>○ 国籍を問わず多様な世代が地域活動の担い手として参画し、コミュニティが活性化し、地域における人々とのつながりや信頼関係が深まり、安全・安心、幸福度が高まっている。</p> <p>○ 公民の協働や地域団体の相互連携が進み、地域課題の解決に向けて共に協力し合っている。</p>	<p>(1) ○ 区が区民と共に地域課題を解決するためには、地域コミュニティの活性化が重要であり、ソーシャル・キャピタル(社会資本)である町会・自治会などの社会組織を強化するため、若年層や中間層の参画を促進し、デジタル化、SNS活用、イベント開催、町会の可視化など、ニーズに合わせた取り組みを実施していきます。</p> <p>○ 災害時に地域コミュニティの力が発揮できるよう、普段からの町会などのつながりを大切に、顔の見える付き合い、風通しのよい環境づくりに取り組みます。</p> <p>○ 町会、地域区民ひろば、NPOなど地域団体同士のネットワーク構築を推進し、さらに企業や大学など地域貢献に意欲のある人々や団体とのマッチング・連携を支援します。これにより地域活動を活性化し、協働による地域課題の解決に積極的に取り組みます。</p>	① 「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について、肯定的な回答する区民の割合【%】	① 町会セミナー参加町会の割合【%】	町会活動のSNS活用の取り組みにより、どのくらいの人が町会加入に興味を持ったか。
		②	② 東京都地域の底力発展事業助成を利用する町会数【件】	
	<p>(2) ○ 地域内で多様な人々のつながりを促進し、組織や集団に属さない個人を含め、地域活動に関わる人材を発掘し、より多くの区民が自らの立場で参加できるチャンネルを提供します。</p> <p>○ 地域活動に関心がある区民や団体に対して、活動の始め方や効果的な進め方についてのニーズに合わせた講座やイベントを開催し、地域活動への参加を促進します。また、事業費の補助を通じて、活動の発展と継続を支援します。</p>	<p>① 区とNPO等との協働事業の実施数【件】</p> <p>②</p>	③ 区民活動支援講座参加者数【人】	地域団体の相互連携の促進度
			④ 地域団体等交流イベント(社会貢献活動見本市等)の参加者数【人】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について、肯定的な回答する区民の割合	%	31.6	33.0	35.0	36.0	37.0	38.0	40.0	継続	1-1-1地域における区民参画・協働の推進
	成果指標	②											
	活動指標	③	町会セミナー参加町会の割合	%	32.6	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	新規	
	活動指標	④	東京都地域の底力発展事業助成利用町会	件	11	12	14	16	18	20	22	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	区とNPO等との協働事業の実施数	件	229	240	250	260	270	280	290	継続	1-1-1地域における区民参画・協働の推進
	成果指標	②											
	活動指標	③	区民活動支援講座参加者数【人】	人	147	150	160	170	180	190	200	新規	
	活動指標	④	地域団体等交流イベント(社会貢献活動見本市等)の参加者数【人】	人	677	800	800	800	800	800	800	新規	

指標	指標の算出方法			指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針 (1)	成果指標	①	「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について、肯定的な回答する区民の割合【%】	協働・参画に関する区の施策に対する区民の評価を客観的に把握できる指標のため。		協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標	②				
	活動指標	③	町会セミナー参加町会の割合	町会活動の活性化を示す指標であるため		所管課データ
	活動指標	④	東京都地域の底力発展事業助成利用町会	町会活動の活性化を示す指標であるため		所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	①	区とNPO等との協働事業の実施数【件】	区とNPO等との協働の成果を示す指標であるため。		所管課データ
	成果指標	②				
	活動指標	③	区民活動支援講座参加者数【人】	講座開催により地域団体の団体組織力向上や区民活動を支援した規模を示す指標であるため。		所管課データ
	活動指標	④	地域団体等交流イベント(社会貢献活動見本市等)の参加者数【人】	社会貢献活動団体の交流やマッチングを支援した規模を示す指標のため。		所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について、肯定的な回答する区民の割合【%】	・取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	区とNPO等との協働事業の実施数【件】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓		✓		✓	%	31.6	33.0	35.0	36.0	37.0	38.0	40.0	目標値が高すぎる
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	△		✓					%	32.6	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	目標値が高すぎる
	活動指標 ④	△		✓					件	11	12	14	16	18	20	22	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓		✓		✓	件	229	240	250	260	270	280	290	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	△		✓					人	147	150	160	170	180	190	200	適切
	活動指標 ④	△	✓		✓				人	677	800	800	800	800	800	800	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について、肯定的な回答する区民の割合	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	区とNPO等との協働事業の実施数【件】		

指標設定チェックシート

施策名	1-③	地域における活動・交流拠点の充実
部課名	区民部 区民活動推進課、地域区民ひろば課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
地域区民ひろばや地域活動交流センターなど地域活動の拠点において、様々な区民のニーズに沿った事業が展開され、区内で活躍する多様な地域人材や地域団体の連携及び交流が活発に行われている。	(1) ○ 企業やNPO、社会福祉法人等との連携を模索し、地域特性に応じた特色ある地域区民ひろばをつくります。 ○ デジタル化による入館から利用者情報、満足度までデータ化し、ニーズにあった事業の展開で、地域区民ひろばの新たな利用者層を増やし、多様な世代・属性を持つ区民や団体の交流をさらに促進させます。 ○ 健康と福祉による暮らしをサポートするほか、ジェンダー、子育て、外国人、コミュニティカフェ、スポーツ、アートなどの多彩なメニューを展開し、あらゆる人の居場所としての「新・地域区民ひろば」を実現します。 ○ 地域区民ひろばの改築・改修を契機に、ゾーニングやバリアフリー、オンライン機能の充実を図り、赤ちゃんから高齢者、障害者、外国人など多様な方が気軽に訪れることができる施設として整備していきます。	① 地域区民ひろばの登録者数【人】	③ 地域区民ひろばにおける事業実施回数【回】	地域区民ひろばの存在により、多様な世代の交流がどれだけ進み、地域コミュニティが形成されたかどうか。
		② 地域区民ひろばの来館者数【人】	④	
	(2) ○ 地域活動交流センターにおいて、対面の交流会に加え、SNSを活用した時間や場所にとられないコミュニケーションの場を設け、団体交流の促進を図ります。また、地域区民ひろばと連携し、区民活動支援の一層の充実を図ります。 ○ 区民集会所においても、対面での活動とともに、SNSを活用したりリモートによる活動も可能とするなど、新たな活動方法にも適応する環境を整備し、区民及び団体の活動の一層の支援に取り組みます。	① 「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 区民集会所利用率【38.5%】	地域活動の拠点の提供により、団体の活動や団体間の連携等が活発になったか。
		②	④ 地域活動交流センターにおける団体交流会等の実施数【回】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標 ①	地域区民ひろばの登録者数	人	21,609	22,000	23,000	24,000	25,000	26,000	27,000	新規	
	成果指標 ②	地域区民ひろばの来館者数	人	708,754	750,000	800,000	850,000	900,000	950,000	1,000,000	継続	1-1-2地域における活動・交流拠点の充実
	活動指標 ③	地域区民ひろばにおける事業実施回数	回	18,947	19,500	20,000	20,500	21,000	21,500	22,000	継続	1-1-2地域における活動・交流拠点の充実
	活動指標 ④											
取組方針 (2)	成果指標 ①	「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合	%	25.1	27.0	28.0	29.0	30.0	32.0	34.0	継続	1-1-2地域における活動・交流拠点の充実
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	区民集会室利用率 ※区民活動推進課所管分	%	42.2	44.0	45.0	46.0	47.0	48.0	50.0	新規	
	活動指標 ④	地域活動交流センターにおける団体交流会等の実施数	回	2	4	6	6	6	6	6	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針 (1)	成果指標 ①	地域区民ひろばの登録者数	地域区民ひろばを利用した実人数を適切に把握できる値であるため。		所管課データ
	成果指標 ②	地域区民ひろばの来館者数	地域区民ひろばにおける活動の成果を広く把握できる値であるため。		所管課データ
	活動指標 ③	地域区民ひろばで実施した事業数	地域区民ひろばにおける事業実施の活動量の指標であるため		所管課データ
	活動指標 ④				
取組方針 (2)	成果指標 ①	「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②				
	活動指標 ③	区民集会室利用率 (※区民活動推進課所管分)	集会室の利用割合を示す指標であるため		所管課データ
	活動指標 ④	地域活動交流センターにおける団体交流会等の実施数【回】	・地域活動交流センターの設置目的の一つでもある「団体交流」を支援する活動量の指標であるため		所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	地域区民ひろばの登録者数【人】	・登録数は区民ひろばを利用したことがある区民の数を把握するには一番適した値であり、これからの取組方針の進捗を計るには一番ふさわしい指標であると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)-①	「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	地域区民ひろばの登録者数	◎	✓	✓	✓	✓		人	21,609	22,000	23,000	24,000	25,000	26,000	27,000	適切
	成果指標 ②	地域区民ひろばの来館者数	○	✓	✓			✓	人	708,754	750,000	800,000	850,000	900,000	950,000	1,000,000	適切
	活動指標 ③	地域区民ひろばにおける事業実施回数	△		✓			✓	回	18,947	19,500	20,000	20,500	21,000	21,500	22,000	適切
	活動指標 ④																
取組方針(2)	成果指標 ①	「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合	◎	✓	✓		✓		%	25.1	27.0	28.0	29.0	30.0	32.0	34.0	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	区民集会室利用率 ※区民活動推進課所管分	△		✓				%	42.2	44.0	45.0	46.0	47.0	48.0	50.0	適切
	活動指標 ④	地域活動交流センターにおける団体交流会等の実施数	△		✓				回	2	4	6	6	6	6	6	目標値が低すぎる

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	地域区民ひろばの登録者数	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査)	「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合		

指標設定チェックシート②

施策名	1-④	良質で長く住み続けられる住環境の整備
部課名	都市整備部住宅課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
子育て世帯の定住化が進み、 多様な世帯、世代に応じた質の 高い住宅がバランスよく確保さ れ、誰もが住み慣れた地域で安 定して暮らし続けることができ る。	(3) ○ 緑化や省エネ対策など環境へ配慮した健康的 に暮らせる住宅・住環境の整備を推進するととも に、防災や防犯に関する住宅設備の充実と対策の 強化、地域コミュニティの形成による防災力・防犯 力の向上を推進し、安全・安心な住宅・住環境の整 備を促進します。 ○ NPO等が主催する子ども食堂やコミュニカ フェ、コワーキングスペースなど、居住機能を支え る居場所（サードプレイス）づくりを支援し、活発な 地域コミュニティの形成を促進することで快適な住 環境の整備を促進します。	① 【再掲(施策1-1)】密集事業地区内の 不燃領域率	③ 【再掲(施策1-1)】不燃化特区事 業助成金件数	
		② 「良質な住宅がバランスよく供給され、 地域に住み続けるための住宅制度が 充実している」について肯定的な回答 をする区民の割合【%】	④ 地域貢献型空き家利活用事業におけ る補助件数【累計】	
	/	/	/	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「良質な住宅がバランスよく供給され、地域に住み続けるための住宅制度が充実している」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	17.5	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	20.5	継続	6-2-2良質な住宅ストックの形成
	成果指標	②	【再掲(施策1-1)】密集事業地区内の不燃領域率	%	67.8	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0%以上	継続	6-4-1 災害に強い都市空間の形成
	活動指標	③	地域貢献型空き家利活用事業における補助件数【累計】	件	5	7	9	11	13	15	17	継続	6-2-2良質な住宅ストックの形成
	活動指標	④	【再掲(施策1-1)】不燃化特区事業助成金件数【件】	件	100	231	239	—	—	—	—	継続	6-4-1 災害に強い都市空間の形成

指標			指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針 (1)	成果指標	①	区民意識調査の同質問に「そう思う」と回答する区民の割合	良質な住宅や、地域での生活を支える住宅制度が整備されていることを示す指標であるため。	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標	②	市街地の「燃えにくさ」を表す指標。建築物の不燃化や道路・公園などの空き地の状況から算出する。	市街地の「燃えにくさ」を表す指標で、不燃領域率が70%を超えると市街地の焼失率がほぼ0となるため。	所管課データ
	活動指標	③	区の地域貢献型および共同居住型空き家利活用事業における補助件数【累計】	空き家等が地域貢献施設に有効活用されていることを示す指標であるため。	所管課データ
	活動指標	④	不燃化特区指定区域内における建築建替え及び除却に対する助成件数	助成実績は、建物の不燃化・耐震化の進捗を示す活動指標であるため。	所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	①			
	成果指標	②			
	活動指標	③			
	活動指標	④			

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
3				

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ① 「現在住んでいる地域に住み続けたい」と思う区民の割合	◎	✓	✓		✓	✓	%	83.2	84.0	84.5	85.0	85.5	86.0	86.5	適切	
	成果指標 ② セーフティネット専用住宅の登録件数	△	✓					戸	32	35	39	43	47	50	53	目標値が低すぎる	
	活動指標 ③ 家賃助成件数【累計】	○	✓	✓				✓	件	752	820	890	960	1,030	1,100	1,170	適切
	活動指標 ④ セーフティネット専用住宅における家賃低廉化補助件数【累計】	△		✓				✓	件	18	22	26	30	34	38	42	適切
取組方針(2)	成果指標 ① ファミリー世帯の構成割合【%】	◎	✓	✓	✓	✓		%	19.1	19.5	19.7	20.0	20.3	20.6	21.0	適切	
	成果指標 ② 長期修繕計画を作成しているマンションの割合	○	✓	✓				%	61.1%	61.2%	61.4%	61.5%	61.7%	61.8%	61.9%	目標値が低すぎる	
	活動指標 ③ 地域貢献型／共同居住型空き家利活用事業における補助件数【累計】	△		✓				✓	件	8	11	14	17	20	23	26	適切
	活動指標 ④ 分譲マンションに対する訪問調査件数【累計】	△		✓				✓	件	984	1,034	1,084	1,134	1,184	1,234	1,284	適切
取組方針(3)	成果指標 ① 「良質な住宅がバランスよく供給され、地域に住み続けるための住宅制度が充実している」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	△	✓			✓	✓	%	17.5	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	20.5	適切	
	成果指標 ② 【再掲(施策1-1)】密集事業地区内の不燃領域率	◎	✓	✓			✓	%	67.8	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0%以上	適切
	活動指標 ③ 地域貢献型空き家利活用事業における補助件数【累計】	△		✓				✓	件	5	7	9	11	13	15	17	適切
	活動指標 ④ 【再掲(施策1-1)】不燃化特区事業助成金件数【件】	○	✓	✓				✓	件	100	231	239	-	-	-	-	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「現在住んでいる地域に住み続けたい」と思う区民の割合	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	ファミリー世帯の構成割合【%】		

指標設定チェックシート

施策名	1-5	治安対策の推進による地域防犯力の向上
部課名	総務部 防災危機管理課 治安対策担当	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／数値化できない評価の視点		
区民や町会等の各種団体、事業者、警察その他関係機関との連携が強化され、官民が一体となって防犯活動に取り組み、犯罪のない誰もが安心して暮らせるまちを実現している。	(1) ○ 防犯対策・犯罪の手口について、多様な媒体を活用した情報発信を行うほか、防犯講話・各種イベントを通じた区民との情報共有を図り、虐待、痴漢、性被害等から子ども・女性を守る、高齢者を犯罪被害にあわせないなど、犯罪被害予防対策を周知し、地域の自助共助の気運を高め、地域防犯力の向上を図ります。 ○ 区内全域を巡回する青色防犯灯付きパトロール車の365日運行による警戒や、区・警察・地域団体等、官民が一体となって実施する繁華街等における客引き対策・路上喫煙対策・違法看板対策等の地域美化活動を含む環境浄化・防犯パトロールを推進し、より一層の防犯活動強化を図ることで、誰もが安全で安心して暮らせるまちを実現します。	①	区内の刑法犯認知件数【件】	③	防犯対策等の情報発信件数【回】	<ul style="list-style-type: none"> ・青パト・繁華街警備隊の委託事業者から報告のある区民等からの激励事例 ・青パト隊・繁華街警備隊による特異取扱い及び好事例 ・新たに環境浄化・防犯パトロールに参加したコミュニティの事例 ・治安対策担当課員が平時に繁華街を歩いた際、取締りを警戒して客引き行為をやめる抑止力 ・青パト・繁華街警備隊による区内の治安情勢に順応した広報
		②	「治安が良く、安心して暮らせる」の問いについて肯定的な回答をする割合【%】	④	環境浄化パトロール実施回数 豊島区客引き行為等の防止に関する条例に基づく取締り件数【回】	
	(2) ○ 地域防犯パトロールでは、若者をはじめとした幅広い年齢層と地元企業などと防犯活動参加を促し、地域の主体的な取組による防犯環境の支援を行うとともに、パトロール資器材の無償貸与を継続して行います。 ○ 犯罪の予防や事件捜査などで活用されている街頭防犯カメラの設置・更新及び維持管理経費等に対する助成を行い、地域の主体的な取り組みによる防犯環境の支援による地域防犯力の向上を図ります。 ○ 特殊詐欺は、若者が安易に加害者として関わるおそれがあるため、犯罪に加担しないことを含めた広報啓発をするとともに、高齢者等に対して区で無償貸与している自動通話録音機の設置を促進するなど、警察と協力して特殊詐欺の根絶	①	区内の刑法犯認知件数【件】	③	補助金を活用した街頭防犯カメラの設置台数【件】	<ul style="list-style-type: none"> ・警察等による既設街頭防犯カメラの活用事例 ・既設カメラに貼付している「防犯カメラ作動中」ステッカーの犯罪抑止効果 ・防犯カメラ助成制度について、各種媒体を利用した周知を図ったか
		②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名		単位	新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値			
取組方針 (1)	成果指標 ①	区内の刑法犯認知件数	件	3,405	3,300	3,200	3,100	3,000	2,900	2,800	継続	6-5-1 治安対策の推進
	成果指標 ②	「治安が良く、安心して暮らせる」の問いについて肯定的な回答をする割合	%	33.4%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%	新規	
	活動指標 ③	防犯対策等の情報発信件数	回	58	60	60	60	60	60	60	新規	
	活動指標 ④	環境浄化パトロールの実施回数	回	104	135	135	135	135	135	135	継続	6-5-1 治安対策の推進
取組方針 (2)	成果指標 ①	区内の刑法犯認知件数	件	3,405	3,300	3,200	3,100	3,000	2,900	2,800	継続	6-5-1 治安対策の推進
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	補助金を活用した街頭防犯カメラの設置台数	件	102	100	100	100	100	100	100	新規	
	活動指標 ④											

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針 (1)	成果指標 ①	警視庁が公開している数値を参照	区内の治安情勢を示す指標であるため		警視庁
	成果指標 ②	「治安が良く、安心して暮らせる」の問いについて肯定的な回答をする割合	区民の体感治安・施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査
	活動指標 ③	防犯対策等の情報発信件数	区民との情報共有を図り、犯罪被害予防対策の推進状況を示す指標であるため		所管課データ
	活動指標 ④	警察や地域団体と連携して実施したパトロールのうち、治安対策担当職員が参加したパトロールの実施回数	地域防犯力の向上、官民一体となった治安対策の推進状況を示す指標であるため		所管課データ
取組方針 (2)	成果指標 ①	警視庁が公開している数値を参照	区内の治安情勢を示す指標であるため		警視庁
	成果指標 ②				
	活動指標 ③	年度内に都・区補助金を活用して設置した街頭防犯カメラの設置台数	地域防犯力の向上、自助共助に関する気運の向上を示す指標であるため		所管課データ
	活動指標 ④				

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	区内の刑法犯認知件数【件】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(1)-②	「治安が良く、安心して暮らせる」の問いについて肯定的な回答をする割合【%】	・両指標を掲載することによって、区内の治安情勢に係る客観的評価と区民の体感治安という主観的評価をもって成果を表すことができるため。

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	○	✓	✓				件	3,405	3,300	3,200	3,100	3,000	2,900	2,800	適切	
	成果指標 ②	○	✓	✓		✓		%	33.4%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%	適切	
	活動指標 ③	△		✓					回	58	60	60	60	60	60	60	適切
	活動指標 ④	△		✓		✓		✓	回	104	135	135	135	135	135	135	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	○	✓	✓				件	3,405	3,300	3,200	3,100	3,000	2,900	2,800	適切	
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	△		✓				件	102	100	100	100	100	100	100	100	適切
	活動指標 ④																

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	区内の刑法犯認知件数	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査)	「治安が良く、安心して暮らせる」の問いについて肯定的な回答をする割合		

指標設定チェックシート

施策名	2-①-1	妊娠期からの切れ目のない子育て支援の充実
部課名	健康部 健康推進課 長崎健康相談所 / 子ども家庭部 子育て支援課 子ども家庭支援センター	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
妊娠期から子育て期の必要な時に気軽に相談でき、誰もが安心して子どもを産み育てられる。	(1) <ul style="list-style-type: none"> ○ 母子保健と児童福祉とが一体的に支援する機能を有することも家庭センターが、それぞれの専門性を活かして、必要な支援を早期発見し、総合的な支援を実施することで地域の中で安心して子育てできる環境づくりに取り組んでいきます。 ○ 全ての妊婦を対象とした面接や赤ちゃんのいる家庭への訪問、産後ケア、見守り訪問等により、子育てにおけるリスクを早期に把握します。 ○ 健康面、精神面のフォローや、生活環境などについて継続的に支援が必要な家庭に伴走型支援を行うとともに、関係機関や関係団体と見守り続けることにより、孤独・孤立化を防ぎます。 ○ 外国籍世帯が適切な支援を受けられるように、NPOや支援団体等と連携した多言語による情報発信や相談対応を強化していきます。 ○ 妊娠・出産を控えた母親・父親同士が集うイベントや講演会の開催など、つながる機会を創出し、父親も支援を受けやすくなるよう、男性視点による情報の発信や子育て情報を収集・交換できる場を提供していきます。 ○ 子育て世帯への情報提供や手続きは、デジタル化により利便性を高めるとともに、SNS等を活用した積極的な情報発信、伝わりやすい効果的な広報活動を進めます。 ○ こども家庭センターの機能拡充のために、東部子ども家庭センターの再整備の検討を進めます。 	① 「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」と思う区民の割合【%】	④ ゆりかご面接数【件】	・豊島区の妊娠期からの切れ目のない子育て支援を理由に転入した世帯数
		② 父親向けの講習会等の参加者数	⑤ 父親向けの講習会等の開催数	
		③ サポートプラン作成数【件】	⑥ 家庭訪問件数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

			新基本計画期間(2025-2029)										
指標名			単位	2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
取組方針 (1)	成果指標	①	「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」と思う区民の割合	%	20.4	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0	26.0	継続	4-2-1地域の子育て支援の充実
	成果指標	②	父親向けの講習会等の参加人数	人	150	160	160	160	170	170	170	新規	
	成果指標	③	サポートプラン作成数	件	—	50	60	70	80	90	100	新規	
	活動指標	④	ゆりかご面接数	件	2,132	2,140	2,140	2,140	2,150	2,150	2,150	新規	
	活動指標	⑤	父親向けの講習会等の開催回数	回	15	16	16	16	17	17	17	新規	
	成果指標	⑥	家庭訪問件数	件	4,091	4,100	4,100	4,120	4,120	4,140	4,140	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
成果指標	①	区民意識調査において、同質問に「どちらかというと思う」と回答した区民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査
成果指標	②	出産前・出産後の各種講座の中で、父親向けの講座に出席した人数	特に父親の子育てに関する理解を深めることは重要であることから、父親が何人出席したかについては重要な指標である。		所管課データ
成果指標	③	こども家庭センター(健康推進課、長崎健康相談所及び子ども家庭支援センター)で訪問及び相談対応を実施し、支援が必要と決定しサポートプランを作成した件数	こども家庭センターとしての成果を図るうえでサポートプラン作成数は最も成果指標にふさわしいため		所管課データ
活動指標	④	妊娠届出時の面接(ゆりかご面接)の実施数	切れ目のない支援の始点として重要な指標であるため		所管課データ
活動指標	⑤	出産前・出産後の各種講座の中で、父親向けの講座を何回開催したかについて成果を定める。	父親の子育てに関する知識を深める各講座を何回開催したかについては、講師の手配や準備等を行う観点から活動指標として重要な指標である。		所管課データ
成果指標	⑥	こども家庭センター(健康推進課、長崎健康相談所及び子ども家庭支援センター)で訪問及び相談対応を行った件数	出産・子育て期の妊婦に寄り添って対応する活動指標は、孤独・孤立を防ぐ観点から重要な指標であるため。		所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)ー①	「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」と思う区民の割合【%】	<ul style="list-style-type: none"> ・施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため ・成果を図る指標としてふさわしく、経済的支援及び相談支援を実践し、「切れ目のない子育て支援」を実現するための不可欠な指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー②	健康推進課、長崎健康相談所及び子ども家庭支援センターで訪問及び相談対応を実施し、支援が必要と決定し、サポートプランを策定した件数	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓		✓		✓	%	20.4	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0	26.0	適切
	成果指標 ②	△		✓		✓			人	150	160	160	160	170	170	170	適切
	活動指標 ③	○	✓	✓		✓			件	—	50	60	70	80	90	100	適切
	活動指標 ④	△		✓	✓	✓			件	2,132	2,140	2,140	2,140	2,150	2,150	2,150	適切
	活動指標 ⑤	△		✓		✓			回	15	16	16	16	17	17	17	適切
	活動指標 ⑥	△		✓		✓			件	4,091	4,100	4,100	4,120	4,120	4,140	4,140	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」と思う区民の割合	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	サポートプラン作成数		

指標設定チェックシート

施策名	2-①-2	未就学児の子育て世帯への支援
部課名	子ども家庭部 子ども家庭支援センター 保育課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
子育て家庭が孤立することなく、安心して子育てしやすくなっている。	(1) <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの成長に伴って生じる様々な心配事や悩みについて、身近な施設で気軽に相談できるよう「地域子育て相談機関」を整備し、未就学期の家庭を早期に包括的に支援できる仕組み作りに取り組んでいきます。 ○ 支援にあたっては、家庭における課題を保護者等と共に明確化し、保護者が自ら課題に対処する能力と、将来の課題を予測・回避する能力を育成できるよう、関係機関や民間団体と連携しながら総合的に支援していきます。 	①	親子遊び広場事業の利用者数	③	親子遊び広場事業の相談件数	親子遊び広場事業を利用する方々が仲良くなり、横のつながりが生まれたか 子育てひろば事業やマイほいくえん事業による保護者同士のつながりが生まれたか
		②	マイほいくえん登録者数【人】	④	マイほいくえん実施園数【園】	
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て家庭の孤立防止と育児不安や負担の軽減を図るため、就労の有無等に関わらずに保育施設を利用できる定期預かり保育や一時保育の利用、マイほいくえんの登録を促進していきます。 ○ 配慮を必要とする子どもとその家庭については、こども家庭センターや児童発達支援センター、保育園・幼稚園等が連携し、それぞれの専門性を活かし、子どもの発達段階や特性に応じた重層的な支援を行っていきます。 ○ 育児休業から復帰する世帯は、生活の変化や夫婦間の役割分担の変化から生じる課題が多くなることから、職場復帰のための準備講座や講演会の開催、企業と連携したワーク・ライフ・バランスの推進など、円滑な職場復帰をバックアップします。 	①	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	③	子ども家庭支援センター相談件数【件】	訪問相談によって、満足度を得られたか
		②	子育て訪問からの来館者数【件】	④	子育て訪問実施数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	新基本計画期間(2025-2029)								後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
		2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値			
成果指標 ① 親子遊び広場事業の利用者数	人	26,899	26,900	27,000	27,100	27,200	27,300	27,400	継続	4-2-1地域の子育て支援の充実	
成果指標 ② マイほいくえん登録者数	人	309	315	321	328	334	341	348	新規		
活動指標 ③ 親子遊び広場事業の相談件数	件	3,166	3,170	3,180	3,190	3,200	3,210	3,220	継続	4-2-1地域の子育て支援の充実	
活動指標 ④ マイほいくえん実施園数【園】	園	66	67	67	68	68	69	69	新規		
成果指標 ① 「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合	%	17.7	18.7	19.7	20.7	21.7	22.7	22.7	新規		
成果指標 ② 子育て訪問からの来館者数	件	96	100	105	110	115	120	125	新規		
活動指標 ③ 子ども家庭支援センター相談件数	件	16,102	16,110	16,120	16,140	16,160	16,180	16,200	新規		
活動指標 ④ 子育て訪問実施数	件	4,091	4,100	4,120	4,140	4,160	4,180	4,200	新規		

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
成果指標 ① 東部・西部子ども家庭支援センターの親子遊び広場事業の利用者数		在宅で子育てする保護者を孤独・孤立から防ぐ観点から、親子遊び広場事業利用者数は成果に直結しているため	所管課データ
成果指標 ② 各年度3月31日時点のマイほいくえんの登録者数を集計する		マイほいくえん事業は在宅子育て家庭への支援事業であるため、施策の指標として適しているため	所管課データ
活動指標 ③ 親子遊び広場事業の相談件数		親子遊び広場事業利用者の相談対応した件数は、在宅子育て家庭へのアプローチを最も示す活動指標であるため	所管課データ
活動指標 ④ 各年度3月31日時点のマイほいくえんの実施園数を集計する		マイほいくえん事業は在宅子育て家庭への支援事業であるため、施策の指標として適しているため	所管課データ
成果指標 ① 「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合		施策に対する区民の評価を把握できる指標のため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
成果指標 ② 子育て訪問から来館につながった件数		子育て訪問相談から来館に至った件数は、在宅支援を実施するうえで重要な活動指標であるため	所管課データ
活動指標 ③ こども家庭センターにおいて相談を受けた件数		在宅での子育てを行うことで生じた悩み等について相談対応することで解消することは、支援において主たる成果に位置付けられるため。	所管課データ
活動指標 ④ 子ども家庭支援センターの訪問職員が子育て世帯の家へ訪問した件数		在宅子育ての家庭支援において、アウトリーチにより直接家へ訪問した件数は重要な活動内容であるため。	所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	東部・西部子ども家庭支援センターの親子遊び広場事業の利用者数	・1は在宅で子育てする際のリスクとして、孤独・孤立に陥りやすい点が挙げられる。それを防ぐためにも東部・西部こども家庭センターの親子遊び広場事業の利用者を増加させることは効果的であり、最も重要な指標であるため。 ・2は施策の取り組みの成果が、区民の実感として把握できる指標であるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)-①	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合(%)	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	親子遊び広場事業の利用者数	△	✓	✓	✓		✓	人	26,899	26,900	27,000	27,100	27,200	27,300	27,400	適切	
	成果指標 ②	マイほいくえん登録者数	◎	✓	✓	✓			人	309	315	321	328	334	341	348	適切	
	活動指標 ③	親子遊び広場事業の相談件数	△		✓	✓	✓		✓	件	3,166	3,170	3,180	3,190	3,200	3,210	3,220	適切
	活動指標 ④	マイほいくえん実施園数【園】	△		✓	✓	✓			園	66	67	67	68	68	69	69	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合	△	✓			✓		%	17.7	18.7	19.7	20.7	21.7	22.7	22.7	適切	
	成果指標 ②	子育て訪問からの来館者数	△		✓				件	96	100	105	110	115	120	125	適切	
	活動指標 ③	子ども家庭支援センター相談件数	○	✓	✓	✓				件	16,102	16,110	16,120	16,140	16,160	16,180	16,200	適切
	活動指標 ④	子育て訪問実施数	△		✓		✓			件	4,091	4,100	4,120	4,140	4,160	4,180	4,200	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	マイほいくえん登録者数	備考 指標1:区民意識調査では、対象者以外の回答も多く含まれる可能性があるため。 指標2:日常的にひろばに遊びに来る親子はセンター周辺に居住する親子に偏る可能性があるため、「子ども家庭支援センター相談件数」は、居住地区によらず真に在宅での子育ての悩み等について対応した数であるため。
指標2	活動指標	子ども家庭支援センター相談件数	

指標設定チェックシート

施策名	2-①-3	保育の質の向上・保育サービスの充実
部課名	子ども家庭部保育課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
一人ひとりを大切にされた質の高い保育により、多様な子どもたちが健やかに成長し、安心して子育てができる環境となっている。	(1) ○ 心身ともに健康に育ち、安全・安心の中で多様な経験ができる保育に向けて、文化体験プログラムを通じた幼児教育の推進、遊び場の拡大、特別保育の実施、人材の確保・育成、安全対策の強化、巡回指導・指導検査の充実などに取り組みます。 ○ 区立保育園では、子ども家庭支援センターや児童相談所等と連携し、障害児や医療的ケア児、外国籍、要支援家庭など特別な配慮が必要な子どもたちを受け入れ、保護者の支援に取り組むとともに、その知識や経験を私立保育園や地域型保育事業所と共有し、多様な子どもたちを支える体制を強化していきます。 ○ 区立保育園を中心にして、私立保育園や地域型保育事業所、認可外保育施設などとの連携を推進し、地域の保育施設が一体となった保育の質向上に取り組みます。	①	「地域の保育需要に応じた保育サービスが充実している」と思う区民の割合【%】	③ 巡回支援の訪問件数【件】	豊島区保育園連絡協議会（区立保育園を中心とした私立認可保育園、地域型保育事業との連携）により各園の連携を図ったことで、どれだけ保育の質が改善できたか。	
		②				④
	(2) ○ 区立保育園では、地域の保育需要に対応した定員調整を実施するとともに、私立保育園等と連携して、必要な保育定員の確保や定員の適正化に取り組みます。 ○ これまでの待機児童対策を維持しつつ、大規模マンション等の対策として、既存の保育施設において定員の確保に取り組むとともに、新たな認可保育所を整備するなど局地的な保育需要の増加に対応していきます。 ○ 既存の保育施設を活用して、国・東京都の子育て支援策や保育ニーズの変化に対応した施策を展開していきます。 ○ 今後求められる役割への対応や計画的な施設更新を進めていくため、中長期的な区立保育園の整備方針を検討していきます。	①	待機児童数【人】	③		待機児童ゼロを維持するために実施している各種施策がどれだけ区民の満足度に繋がっているか。
		②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	「地域の保育需要に応じた保育サービスが充実している」と思う区民の割合【%】	%	-	28.5	29.5	30.5	31.5	32.5	32.5	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	巡回支援の訪問件数	件	298	298	306	314	322	322	322	新規	
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	待機児童数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	継続	4-2-2 保育施設・保育サービスの充実
	成果指標	②											
	活動指標	③											
	活動指標	④	公立保育園の医療的ケア児の受入可能児童数	人	1	3	5	6	7	7	7	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	協働のまちづくりに関する区民意識調査について「地域の保育需要に応じた保育サービスが充実している」に肯定的な回答をする区民の割合	施策に対する区民の評価を把握できる指標のため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	私立認可保育園や地域型保育事業所等に訪問をした延べ回数を集計	保育施設への助言・指導のための訪問回数であり、保育の質の向上に密接に関係するため		所管課データ	
	活動指標	④					
取組方針 (2)	成果指標	①	保育園の入園申し込みと入園の状況から算出	保育の提供は保育サービスの基本となる指標であるため		所管課データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③					
	活動指標	④	医療的ケアの受入可能児童数を算出	保育サービスの充実に関わる指標であるため		所管課データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「地域の保育需要に応じた保育サービスが充実している」と思う区民の割合【%】	・1については、施策の取り組みの成果が、区民の実感として把握できる指標であるため。 ・2については、保育の提供は保育サービスの基本となるものである。左記指標は保育が必要な家庭に保育サービスを提供できているかを測る重要なものであるため選定した。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	待機児童数	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	△	✓						%	-	29	30	31	32	33	32.5	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	○	✓	✓		✓			件	298	298	306	314	322	322	322	適切
	活動指標 ④																
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓		✓	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③																
	活動指標 ④	○	✓	✓		✓			人	1	3	5	6	7	7	7	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	巡回支援・指導後改善率	備考 所管部局案「地域の保育需要に応じた保育サービスが充実している」と思う区民の割合 → 「巡回支援・指導後改善率」(新規提案) 区民意識調査の質問内容が適正と言えない。活動指標「巡回支援の訪問件数」は取組方針の内容から鑑みてある程度妥当だが、単純な件数ではなく、支援・指導後に実際に園がどれくらい改善したかの割合の方が、より施策の進捗度合いを図る指標として適正と思料。
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	待機児童数	

指標設定チェックシート

施策名	2-①-4	援助を必要とする子育て家庭への支援
部課名	子ども家庭部 子育て支援課 子ども家庭支援センター	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価			
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点			
援助を必要とする子育て家庭に適切な支援がなされ、子育ての喜びを感じられる。	(1) ○ 援助を必要とする子育て家庭を早期に発見し、適切な支援につなげるため、子ども家庭センターにおける見守り訪問などのアウトリーチを積極的に実施していきます。 ○ 多様な課題を抱える家庭を支援するために要保護児童対策地域協議会の関係機関や関係団体との連携を強化し、地域と民間団体が一体となった支援を実施します。 ○ 医療的ケア児や発達障害児、難病の子どもなど、様々な支援が必要な子どもを育てる家庭に対し、医療的ケア児等支援協議会や発達障害者支援ネットワーク会議などを通じて、保健、医療、福祉、子育て、保育、教育等の関係部署が連携し、相談体制の強化と支援の充実を図ります。 ○ 家事・育児に負担や不安を感じる世帯に対し、育児支援ヘルパーの派遣やショートステイを実施することで、不安感・負担感を軽減していきます。	①	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合(%)	③ 要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談を実施している保護者のつながりが生まれる ・関係機関や地域と連携し迅速に対応した結果、児童虐待が重篤化せず改善できた事例 		
		②	発達相談対応件数【件】			④	子育てエール(子育て世帯見守り訪問事業)のエスカレーション件数【件】
	(2) ○ 困難な状況に陥りやすい、ひとり親世帯や特定妊婦に対し、伴走型の自立支援により収入・生活の安定を図ります。 ○ DV被害や様々な事情により居所がない等の困難を抱える母子の緊急保護および相談支援の充実を図ります。	①	「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」と思う区民の割合	③		ひとり親自立支援プログラム等事業を利用した相談者の件数	支援により家族全員が安定した生活が送れるようになった事例
		②		④		緊急一時保護件数	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合(%)	%	17.7	20.0	22.0	24.0	26.0	28.0	30		
	成果指標	②	発達相談対応件数【件】	件	1,937	1,945	1,953	1,961	1,969	1,977	1,985	新規	
	活動指標	③	要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	件	1,245	1,250	1,255	1,260	1,265	1,270	1,270	新規	
	活動指標	④	子育てエール(子育て世帯見守り訪問事業)のエスカレーション件数【件】	件								新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」と思う区民の割合	%	8.2	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	ひとり親自立支援プログラム等事業を利用した相談者の件数	件	46	50	55	60	65	70	75	新規	
	活動指標	④	緊急一時保護件数	人	42	44	45	45	45	45	45	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	発達相談対応件数【件】	医療機関や民間団体と連携しながら支援を行っている指標となるため		所管データ	
	活動指標	③	要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	要保護児童対策地域協議会で取り扱った通告・相談件数		所管データ	
	活動指標	④	子育てエール(子育て世帯見守り訪問事業)のエスカレーション件数【件】	アウトリーチにより援助を必要とする家庭を把握し、適切な支援につなげたことを示す指標のため		所管データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」と思う区民の割合【%】	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	ひとり親自立支援プログラム等事業につながった相談者の件数	就労支援をはじめとするひとり親の施策で将来的にも安定した生活ができていることを示す指標のため		所管データ	
	活動指標	④	緊急一時保護件数	母子を含む女性の安全確保を行っていることを示す指標であるため		所管データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	1-①	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため
2	成果指標(区民意識調査)	2-①	「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」と思う区民の割合【%】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合(%)	△	✓					%	17.7	20.0	22.0	24.0	26.0	28.0	30	目標値が高すぎる
	成果指標 ②	発達相談対応件数【件】	○	✓	✓				件	1,937	1,945	1,953	1,961	1,969	1,977	1,985	適切
	活動指標 ③	要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	○	✓	✓				件	1,245	1,250	1,255	1,260	1,265	1,270	1,270	適切
	活動指標 ④	子育てエール(子育て世帯見守り訪問事業)のエスカレーション件数【件】	◎	✓	✓	✓	✓		件								今後設定予定
取組方針(2)	成果指標 ①	「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」と思う区民の割合	△	✓					%	8.2	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	目標値が高すぎる
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	ひとり親自立支援プログラム等事業を利用した相談者の件数	△		✓		✓		件	46	50	55	60	65	70	75	適切
	活動指標 ④	緊急一時保護件数	△		✓				人	42	44	45	45	45	45	45	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	子育てエール(子育て世帯見守り訪問事業)のエスカレーション件数【件】	備考 指標1:「子育てエール」は新規指標ながら豊島区らしさがあり、本施策の新しい取組でもあるため、より適当と思料。 指標2:厚生労働省の一時保護ガイドラインを参考に、「14日以内に緊急一時保護を実施できた割合」であれば、施策の目標を達成するために適正に行政活動が行われていることを示せるため。
指標2	成果指標(区民意識調査以外)	14日以内に緊急一時保護を実施できた割合	

指標設定チェックシート

施策名	'2-②-1	就学前の子どもに対する教育
部課名	教育部 庶務課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>○生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育が行われている。</p> <p>○幼児教育施設を問わず、すべての就学前の子どもが小学校へ円滑に接続している。</p>	<p>(1) ○ 幼児教育に関わる教員・保育士の資質向上のための合同研修等を実施し、すべての公立・私立の幼稚園・保育園で幼稚園教育要領・保育所指針に記載されている思考力の芽生え、豊かな感性と表現、健康な心と体など「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を目指した幼児教育を行います。</p> <p>○ 地域人材やNPO団体などと連携し、文化・芸術・音楽などの本物に触れる体験機会を増やすことで子どもたちの人格形成の基礎を育成します。</p> <p>○ 区内の幼児教育の拠点となる「幼児教育センター機能」を整備するとともに今後増加が見込まれる特別な支援が必要な子どもや外国籍の子どもに対して、質の高い教育が提供ができるよう、各幼児教育施設へ幼児教育アドバイザーを派遣し、個別指導計画の作成を行います。</p> <p>○ 幼児教育センター機能として、相談窓口を充実させ、家庭で保育する保護者の悩みに応じた支援を行います。</p>	① 子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み主体的に幼児教育施設や学校に通っていると思うかに肯定的な回答をした割合	③ 幼児アドバイザー派遣回数	<p>思考力の芽生え、豊かな感性と表現、健康な心と体など「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」目指した幼児教育の評価</p>
		② すくわくプログラム推進事業体験園回数	④ すくわくプログラム推進事業実施園数	
	<p>(2) ○ 子どもに関する情報交換や年間行事の共有などを行う保幼小連絡会を小学校学区単位で開催し、幼児教育に関わる教員・保育士と小学校教員の交流を行うとともに各施設間の連携強化を図ります。</p> <p>○ 就学後の1年生が安心して小学校生活を過ごせるように、幼児教育施設間連携の強化を行い、幼稚園、保育園の子ども同士との異年齢交流を行うだけでなく、小学校の授業や運動会へ参加促進をするなど、小学校児童との交流活動を充実させ、「小1プロブレム」等の解消をします。</p> <p>○ 幼稚園教諭・保育士・小学校教員合同によるアプローチスタートカリキュラム(就学前5歳と就学後6歳の指導計画)研修を実施し、幼児教育施設と小学校で切れ目ない教育を行います。</p>	① 学校・園は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしていると思うと回答した割合【%】	③ 保幼小連絡会の開催数	<p>保幼小連絡会の開催などにより、「小1プロブレム」等の解消及び園児が小学校により円滑に接続できたかの評価</p>
		②	④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			単位	新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
				2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値	
取組方針 (1)	成果指標	①	子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み主体的に幼児教育施設や学校に通っていると思うか。に肯定的な回答の割合。	%	-	-	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0	新規	
	成果指標	②	すくわくプログラム推進事業体験園児数	人	-	1,520	1,600	1,800	2,000	2,200	2,440	新規	
	活動指標	③	幼児教育アドバイザー派遣回数	回	-	-	3	4	5	6	8	新規	
	活動指標	④	すくわくプログラム推進事業実施園数	園	-	76	80	90	100	110	122		
取組方針 (2)	成果指標	①	学校・園は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしていると思うと回答した割合【%】	%	74.3	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0	継続	4-5-1人格形成の基礎を培う教育・保育の提供
	成果指標	②											
	活動指標	③	保幼小連絡会の開催数	回	-	3	11	22	22	22	22	新規	
	活動指標	④											

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)	出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み主体的に幼児教育施設や学校に通っていると思うかに肯定的な回答をした割合	質の高い幼児教育の実施が、区民に浸透しているかの指標となるため。	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標	②	すくわくプログラム推進事業体験園児数	幼児教育の質の向上を図るため、園児の興味・関心に応じた探究活動が実施されているかの指標のため。	所管課データ
	活動指標	③	幼児教育アドバイザー派遣回数	質の高い幼児教育を行うための取組状況を把握する指標のため。	所管課データ
	活動指標	④	すくわくプログラム推進事業実施園数	幼児教育の質の向上を図るため、園児の興味・関心に応じた探究活動が実施されているかの指標のため。	所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	①	学校・園は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしていると思うと回答した割合【%】	保幼小連携強化を通じて、小学校への円滑な接続が浸透しているかの指標となるため。	学校評価
	成果指標	②			
	活動指標	③	保幼小連絡会を開催している学校の数	保幼小連携強化の進捗状況を把握する指標のため。	所管課データ
	活動指標	④			

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み主体的に幼児教育施設や学校に通っていると思うかに肯定的な回答をした割合【%】	・取組み方針で記載した、思考力の芽生え、豊かな感性と表現、健康な心と体など「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を目指した幼児教育を行うことや保幼小連携の推進により円滑な小学校への接続を進めてきた成果として定量的に図れる指標となるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	学校・園は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしていると思うと回答した割合【%】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み主体的に幼児教育施設や学校に通っていると思うか。に肯定的な回答の割合。	△	✓		✓			%	-	-	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0	目標値が高すぎる	
	成果指標 ②	すくわくプログラム推進事業体 験園児数	△	✓		✓			人	-	1,520	1,600	1,800	2,000	2,200	2,440	適切	
	活動指標 ③	幼児教育アドバイザー派遣回数	○	✓	✓		✓			回	-	-	3	4	5	6	8	適切
	活動指標 ④	すくわくプログラム推進事業実施園数	△		✓		✓			園	-	76	80	90	100	110	122	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	学校・園は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしていると思うと回答した割合【%】	◎	✓	✓		✓	✓	%	74.3	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0	目標値が高すぎる	
	成果指標 ②																	
	活動指標 ③	保幼小連絡会の開催数	○	✓	✓		✓			回	-	3	11	22	22	22	22	適切
	活動指標 ④																	

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	学校・園は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしていると思うと回答した割合【%】	備考	所管部局案「子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み主体的に幼児教育施設や学校に通っていると思うか。に肯定的な回答の割合」→「保幼小連絡会の開催数」に変更提案。区民意識調査では対象者以外の回答が含まれるため、「保幼小連絡会の開催数」に変更提案。
指標2	活動指標	保幼小連絡会の開催数		

指標設定チェックシート

施策名	2-②-2	未来を切り拓くための力を育成する教育
部課名	教育部 指導課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>すべての子どもが、予測できない変化に対応するだけでなく、自ら変化を創り出すために必要な知識・能力を確実に身に付けている。豊かな体験を通して、心身ともに健やかに成長している。</p>	<p>(1)</p> <p>○ ICTを積極的に活用した繰り返しの学習で、基礎学力を定着させるようにし、教員は、それぞれの子どもが学習課題を主体的に解決する学習スタイルや、友達の意見に触れながら協働して探究を進める学習スタイルを確立します。</p> <p>○ 地域人材や大学等と連携し、子どもに本物を体験させたり、専門的な知識に触れさせたりして、子どもの気づきや発見を大切に授業を実践します。自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え判断して行動できる力を育成します。</p> <p>○ 小中連携教育として9年間を見通した指導を確立し、子どもたちの中学校進学への不安を軽減します。小・中学校間で子ども同士が交流する機会を設けて、子どもたちの社会性を高めます。</p>	<p>①</p> <p>全国学力調査における学校アンケート「習得・活用及び探究の指導方法の改善及び工夫」の実施率</p>	<p>③</p> <p>ICTを活用した授業力向上に関する研修講座</p>	<p>・一人一人の学びへの支援による成果</p> <p>・課題を解決する授業によって身に付けた力を活用した自力解決の成果</p>
		<p>②</p> <p>全国学力学習状況調査(中3)の平均正答率</p>	<p>④</p>	
	<p>(2)</p> <p>○ 子どもたちの変化をアンケート実施や相談で把握し、子どもたちが安心して学べる心理的な環境を組織的に整え、いじめ未然防止、いじめ解消率100%を目指します。</p> <p>○ 子どもの豊かな人間性を育てるために、自然体験、スキー教室などの宿泊行事を継続的に実施し、普段の生活では味わえない体験を行う機会を創出します。</p> <p>○ 運動・スポーツを楽しんでいる授業を実現し、定期健康診断、歯科健診、歯磨き指導等の健康教育と合わせて、子どもたち自らが、生活を振り返り、健康的な日常生活を送る意識を高めます。</p> <p>○ 地域人材を活用し、今後の進路実現に向けた意欲を高める取組や専門的なスポーツや芸術に関する指導を受けられる取組を実施します。</p>	<p>①</p> <p>区心理検査「自己肯定感」の設問における肯定的回答率(小6・中3)</p>	<p>③</p> <p>「次世代文化の担い手」育成事業実施校</p>	<p>・学校への地域からの信頼の度合い</p> <p>・子どもの特性に応じた地域人材等の授業内容の改善</p>
		<p>②</p> <p>区意識調査「運動肯定率」(小6・中3)</p>	<p>④</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名		単位	新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	全国学力調査における学校アンケート「習得・活用及び探究の指導方法の改善及び工夫」の実施率	%	小 95.4 中 87.5	小 96.0 中 89.0	小 96.5 中 90.0	小 97.0 中 92.5	小 98.0 中 95.0	小 99.0 中 97.5	小 100.0 中 100.0	継続	4-3-1「確かな学力」育成事業
	成果指標 ②	全国学力調査(中3:上段 国語、下段 数学)正答率	%	72.0 54.0	72.0 55.5	72.0 57.0	72.0 58.5	72.0 60.0	72.0 61.0	72.0 62.0	継続	4-3-1「確かな学力」育成事業
	活動指標 ④	ICTを活用した授業力向上に関する研修講座	回	205	210	216	222	228	234	240	継続	4-3-1「確かな学力」育成事業
	活動指標 ⑤											
取組方針(2)	成果指標 ①	区心理検査「自己肯定感」の設問における肯定的回答率(小6・中3)	%	小 69.8 中 74.2	小 72.5 中 76.5	小 75.0 中 78.5	小 77.5 中 80.5	小 80.0 中 82.0	小 82.5 中 83.5	小 85.0 中 85.0	継続	4-3-2「豊かな心」育成事業
	成果指標 ②	区意識調査「運動肯定率」(小6・中3)	%	小 80.2 中 78.5	小 81.0 中 79.0	小 82.0 中 80.0	小 83.5 中 81.0	小 84.0 中 82.0	小 85.0 中 83.0	小 85.0 中 84.0	継続	4-3-3健やかな体の育成
	活動指標 ③	「次世代文化の担い手」育成事業実施校	校	6	6	6	6	6	6	6	新規	
	活動指標 ④											

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針(1)	成果指標 ①	全国学力状況調査における学校アンケート「前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたが」「よく行った」「どちらかと言えば行った」と回答した人の割合	学校での「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の様子を示す指標であるため。		全国学力学習状況調査
	成果指標 ②	全国学力学習状況調査(中3)の平均正答率	学習到達度・理解度を示す指標であるため		全国学力学習状況調査
	活動指標 ③	所管課で実施する教科等の研修及び学校訪問の回数の合計	授業改善を支援する活動の量を示す指標であるため		所管課データ
	活動指標 ④	所管課で実施する教員研修のうち、オンラインを活用した研修の実施回数	ICTを活用した実績が分かる指標であるため		所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ①	区心理検査の「自分にはいいところがあると思うか」の質問において「ある」「自分なりにあると思う」と回答した児童・生徒の割合	児童生徒の人間関係を形成する力を示す指標であるため		区で実施する児童・生徒の意識・意向調査
	成果指標 ②	区意識調査の「運動が好きか」の質問において、「好き」「やや好き」と肯定的な回答をした児童・生徒の割合	運動に対する意欲を示す指標であるため		区で実施する児童・生徒の意識・意向調査
	活動指標 ③	芸術活動を手がける区内のNPO法人から芸術家を学校に派遣し、子どもたちに芸術活動の指導をする事業を授業に活用した学校数	専門的な芸術に関する指導を受けたことを示す指標であるため		所管課データ
	活動指標 ④				

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-1	全国学力調査における学校アンケート(習得・活用及び)探究の指導方法の改善及び工夫の実施率【%】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-1	区心理検査「自己肯定感」の設問における肯定的回答率【%】	・両指標を記載することによって、「主体的・対話的で深い学び」の視点と「心身の健やかな成長」の視点を持って成果を表すことができるため。

指標設定チェックシート

施策名	2-②-2	未来を切り拓くための力を育成する教育
部課名	教育部 指導課	

【1. 目指す5年後の姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す5年後の姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
すべての子ども・若者・家庭に向けた相談体制が整備され、状況に応じたきめ細かな支援が実現している	(3) ○各学校は、「学校いじめ防止対策基本方針を定期的に見直し、教職員・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー・保護者・地域と協働して子どもへの対応や支援をします。 ○日頃からいじめを許さない心を育て、児童・生徒が自ら考え、行動する取組を推進します。 ○児童・生徒に心理検査を実施し、いじめやストレスの状況を確実に把握し、早期に対応します。	① いじめの認知件数(3学期末)【件】	④ いじめ防止に関わる教育委員会主催研修回数【回】	・いじめの相談がしやすい環境になっている ・いじめが解消した保護者や子どもの安心感
		② いじめの解消率【%】	⑤ いじめに関する校内研修回数(1校当たり)【回】	
		③ 不登校児童数	⑥	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名		単位	新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値				
取組方針(3)	成果指標 ①	いじめの認知件数(3学期末)【件】	件	小 308 中 19	小 300 中 19	小 295 中 18	小 290 中 18	小 285 中 17	小 280 中 16	小275 中15	新規		
	成果指標 ②	いじめの解消率【%】	%	小 69.6 中 79.7	小 70 中 80	小 75 中 84	小 82 中 88	小 89 中 92	小 95 中 96	小100 中100	新規		
	成果指標 ③	不登校児童数	人	調整中							新規		
	活動指標 ④	いじめ防止に関わる教育委員会主催研修回数【回】	回	10	10	10	10	10	10	10	10	新規	
	活動指標 ⑤	いじめに関する校内研修回数(1校当たり)【回】	回	3	3	3	3	3	3	3	3	新規	
	活動指標 ⑥												

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針(3) 成果指標 ①	いじめの認知件数(3学期末)【件】	いじめを未然に防ぐとともに、友達との関係に悩む子どもを発見しケアするため	所管課データ
成果指標 ②	いじめの解消率【%】	いじめとして認知したあとは、その解消が絶対であるため	所管データ
成果指標 ③	年間30日以上欠席をした児童・生徒数	不登校の状況を示す指標であるため	豊島区不登校調査
活動指標 ④	いじめ防止に関わる教育委員会主催研修回数【回】	いじめの未然防止、早期発見・早期対応のために必要な指標であるため。	所管課データ
活動指標 ⑤	いじめに関する校内研修回数(1校当たり)【回】	学校全体でのいじめの未然防止、早期発見・早期対応のために必要な指標であるため	所管データ
活動指標 ⑥			

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1				
2				

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			設定の判定	①目指すま ちの姿や取 組方針を 適切に表し ている	②データや 算定方法 の信頼性が 高い	③豊島区 らしさを表し ている	④指標自 体がポジ ティブな印 象である	⑤国・都の 計画等で 目標の方 向性が示さ れている	⑥現計画と 継続する指 標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定 の判定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	全国学力調査における学校アンケート「習得・活用及び探究の指導方法の改善及び工夫」の実施率	◎	✓	✓		✓		✓	%	小 95.4 中 87.5	小 96.0 中 89.0	小 96.5 中 90.0	小 97.0 中 92.5	小 98.0 中 95.0	小 99.0 中 97.5	小 100.0 中 100.0	適切
	成果指標 ②	全国学力調査(中3:上段 国語、下段 数学)正答率	△		✓		✓		✓	%	72.0 54.0	72.0 55.5	72.0 57.0	72.0 58.5	72.0 60.0	72.0 61.0	72.0 62.0	適切
	活動指標 ③	ICTを活用した授業力向上に関する研修講座	△		✓		✓		✓	回	205	210	216	222	228	234	240	適切
	活動指標 ④																	
取組方針(2)	成果指標 ①	区心理検査「自己肯定感」の設問における肯定的回答率(小6・中3)	◎	✓	✓		✓		✓	%	小 69.8 中 74.2	小 72.5 中 76.5	小 75.0 中 78.5	小 77.5 中 80.5	小 80.0 中 82.0	小 82.5 中 83.5	小 85.0 中 85.0	目標値が高すぎる
	成果指標 ②	区意識調査「運動肯定率」(小6・中3)	◎	✓	✓		✓		✓	%	小 80.2 中 78.5	小 81.0 中 79.0	小 82.0 中 80.0	小 83.5 中 81.0	小 84.0 中 82.0	小 85.0 中 83.0	小 85.0 中 84.0	適切
	活動指標 ③	「次世代文化の担い手」育成事業実施校	△		✓	✓	✓			校	6	6	6	6	6	6	6	適切
	活動指標 ④																	
取組方針(3)	成果指標 ①	いじめの認知件数(3学期末)【件】	○	✓	✓					件	小 308 中 19	小 300 中 19	小 295 中 18	小 290 中 18	小 285 中 17	小 280 中 16	小 275 中 15	適切
	成果指標 ②	いじめの解消率【%】	○	✓	✓					%	小 69.6 中 79.7	小 70 中 80	小 75 中 84	小 82 中 88	小 89 中 92	小 95 中 96	小 100 中 100	適切
	成果指標 ③	不登校児童数	○	✓	✓					人	調整中						今後設定予定	
	活動指標 ③	いじめ防止に関わる教育委員会主催研修回数【回】	○	✓	✓					回	10	10	10	10	10	10	10	適切
	活動指標 ④	いじめに関する校内研修回数(1校当たり)【回】	○	✓	✓					回	3	3	3	3	s	3	3	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	全国学力調査における学校アンケート「習得・活用及び探究の指導方法の改善及び工夫」の実施率	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	区心理検査「自己肯定感」の設問における肯定的回答率(小6・中3)		

指標設定チェックシート

施策名	2-②-3	一人ひとりに寄り添った教育
部課名	教育部 指導課 ・教育センター	

【1. 目指す5年後の姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す5年後の姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
すべての子ども・若者・家庭に向けた相談体制が整備され、状況に応じたきめ細かな支援が実現している	(1) ○ 不登校対策委員会において、不登校対策総合計画を策定し、不登校対策の在り方を常に改善していきます。 ○ スクールカウンセラーによる教育相談、スクールソーシャルワーカーによる家庭支援、全中学校に配置する不登校対策支援員による学習支援など、学校と連携して対応することで、不登校傾向を早期に発見し、多面的な支援を行います。また、児童相談所等との関係機関との連携を強化することで、支援体制の充実を図ります。 ○ 不登校の要因に応じた、教育センター内での適応指導教室（柚子の木教室）や全中学校の校内別室支援、ICTを活用したオンライン指導、仮想空間において悩み相談、学習支援を行い、学校復帰や社会的自立を支援します。また、NPOやフリースクール等の関係機関と連携し、多様な学びの環境を確保します。	①	SSWの支援による課題の改善・解消率【%】	③	SSWIによる家庭や学校への支援回数【回】	・不登校の未然防止につながった子どもの数、保護者や子どもの安心感
		②	適応指導教室在籍中学3年生の進路決定率【%】	④	不登校対策支援員が校内別室で支援を行った延べ生徒人数【人】	
	(2) ○ 特別支援教育推進計画に基づき、国籍や障害のあるなしに関わらず、すべての子どもが安心して学ぶことができる教育環境を整備します。 ○ 教育センターと児童発達センターの機能を一体化し、幼児期からの切れ目のない支援を実現します。 ○ 子どもの成長や発達に伴って生じる様々な問題や悩みについて、児童生徒・保護者が安心して相談できるよう、就学相談や教育相談などの相談体制を強化し、適切な支援につなげられるようにします。 ○ 特別支援教育指導員や学級運営補助員などが、障害をもつ児童生徒に対してきめ細かく対応することで、安心して学校に通うことができます。 ○ 日本語が苦手な外国籍の児童生徒に対して、巡回指導や通級指導を行い、学校生活に必要な日本語を習得させることで、学ぶ意欲を高めます。	①	教育相談利用者数【人】	④	教育相談の延べ件数【件】	・子育て相談しやすい環境になっている ・保護者や子どもの安心感 ・安定した学級運営
		②	日本語指導教室の修了者数【人】	④	特別支援教育指導員の年間配置日数【日】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
取組方針(1)	成果指標	①	SSWの支援による課題の改善・解消率【%】	%	47.8 100	49 100	50 100	51 100	52 100	53 100	54 100	新規	
	成果指標	②	適応指導教室在籍中学3年生の進路決定率【%】	%	100	100	100	100	100	100	100	新規	
	活動指標	③	SSWによる家庭や学校への支援回数【回】	日	2,340	2,370	2,400	2,430	2,460	2,490	2,520	新規	
	活動指標	④	不登校対策支援員が校内別室で支援を行った延べ生徒人数【人】	人	—	1,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	新規	
取組方針(2)	成果指標	①	教育相談利用者数【人】	人	495	498	500	503	505	508	510	新規	
	成果指標	②	日本語指導教室の修了者数【人】	人	29	30	31	32	33	34	35	新規	
	活動指標	③	教育相談の延べ件数【件】	件	8,578	8,598	8,619	8,639	8,659	8,680	8,700	新規	
	活動指標	④	特別支援教育指導員の年間配置日数【日】	日	3,180	3,040	3,264	3,468	3,672	3,876	4,080	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針(1)	成果指標	①	SSWの支援による課題の改善・解消率【%】	支援を行えたことを示す指標であるため		協働のまちづくりに関する区 民意識調査	
	成果指標	②	適応指導教室在籍中学3年生の進路決定率【%】	学校復帰や社会的自立を促した指標であるため		所管データ	
	活動指標	③	SSWによる家庭や学校への支援回数【回】	支援を行えたことを示す指標であるため		所管データ	
	活動指標	④	不登校対策支援員が校内別室で支援を行った延べ生徒人数【人】	不登校生徒の支援を行ったことを示す指標であるため		所管データ	
取組方針(2)	成果指標	①	教育相談利用者数【人】	より多くの相談者に対応した成果指標であるため		所管課データ	
	成果指標	②	日本語指導教室の修了者数【人】	学校生活に適應できる日本語能力を習得した指標であるため		所管データ	
	活動指標	③	教育相談の延べ件数【件】	一人一人に対して丁寧に対応した重要な指標であるため。		所管課データ	
	活動指標	④	特別支援教育指導員の年間配置日数【日】	特別な配慮を必要とする児童生徒が安心して学べるように支援した指標であるため		所管データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類		取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	1-①	SSWの支援による課題の改善・解消率【%】	<ul style="list-style-type: none"> ・1 SSWが不登校や課題のある児童生徒等の支援を行った成果を示すものであり、施策に対する教職員の努力を把握できる指標のため ・2 発達障害等に関する相談に対応した人数であり、より多くの区民のニーズに応えた指標となるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	2-①	教育相談利用者数【人】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すま ちの姿や取 組方針を 適切に表し ている	②データや 算定方法 の信頼性 が高い	③豊島区 らしさを表 している	④指標自 体がポジ ティブな印 象である	⑤国・都の 計画等で 目標の方 向性が示さ れている	⑥現計画と 継続する指 標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定 の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	SSWの支援による課題の改善・解消率【%】	○	✓	✓	✓		%	47.8 100	49 100	50 100	51 100	52 100	53 100	54 100	適切	
	成果指標 ②	適応指導教室在籍中学3年生の進路決定率【%】	△		✓			%	100	100	100	100	100	100	100	適切	
	活動指標 ③	SSWによる家庭や学校への支援回数【回】	△		✓			日	2,340	2,370	2,400	2,430	2,460	2,490	2,520	目標値が高すぎる	
	活動指標 ④	不登校対策支援員が校内別室で支援を行った延べ生徒人数【人】	△		✓			人	—	1,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	目標値が高すぎる	
取組方針(2)	成果指標 ①	教育相談利用者数【人】	○	✓	✓	✓		人	495	498	500	503	505	508	510	適切	
	成果指標 ②	日本語指導教室の修了者数【人】	△		✓	✓		人	29	30	31	32	33	34	35	適切	
	活動指標 ③	教育相談の延べ件数【件】	○	✓	✓			件	8,578	8,598	8,619	8,639	8,659	8,680	8,700	目標値が高すぎる	
	活動指標 ④	特別支援教育指導員の年間配置日数【日】	△		✓			日	3,180	3,040	3,264	3,468	3,672	3,876	4,080	適切	

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	SSWの支援による課題の改善・解消率【%】	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	教育相談利用者数【人】		

指標設定チェックシート

施策名	2-②-4	子どもが安心していきいきと過ごせる居場所づくり
部課名	教育部 放課後対策課	

【1. 目指す5年後の姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す5年後の姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
子どもの放課後が充実し、すべての子どもが安心して自由に過ごせる居場所で自己発揮している。	(1) <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもスキップの施設の整備や環境の充実を図るとともに、業務のDX化等を進め、児童一人ひとりに向き合う時間を確保し、保育の質を向上させます。 ○ すべての子どもたちが安心して憩い、文化・芸術・スポーツ等様々な体験をすることができる環境を確保するため、地域や企業、大学と連携し、子どもスキップや放課後子ども教室、中高生センタージャンプのプログラムの充実に取り組みます。 ○ 登校時間までの児童の見守りを行うなど、小学校進学を機に子どもの預け先がなくなる「小1の壁」を解消するとともに、障害児を含むすべての子どもたちが安全安心に過ごせる場所を確保します。 ○ 常設施設だけでなく、子どもスキップや区民ひろば等でも開催するプレーパーク事業を充実させ、子どもたちの遊びや学びの機会を確保します。 	① 文化・芸術・スポーツ等のプログラム参加人数【人】	③ 文化・芸術・スポーツ等のプログラム実施回数【回】	<ul style="list-style-type: none"> ・「小1の壁」をどの程度解消できたか ・学童保育の質の向上 ・放課後時間の質の向上により、児童にどのような変容が生じたか
		② 放課後子ども教室参加延べ人数【人】	④ 放課後子ども教室実施回数【回】	
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ○ 「にしまる一む」等、NPOや地域の協力のもと、家庭や学校以外で悩みを相談出来たり、気軽に話ができる居場所を確保します。 ○ 地域や大学と連携し、「としま地域未来塾」を開催するなど、学習習熟度に不安を持つ生徒や不登校・外国人生徒等すべての子どもたちの学習習慣の定着と学力向上を支援します。 ○ 地域区民ひろばや区民集会室などの区の施設を活用し、学習支援ボランティアの活動を支援することで、子どもたちが家庭の事情に左右されることなく学ぶことができる学習の機会と場を創出していきます。 ○ 地域の外部指導者や「チームとしま」をはじめとする企業等と連携し、子どもたちが生涯にわたって様々な文化やスポーツに親むことができるよう、中学校部活動の地域連携・地域移行を推進します。 	① 休日に活動がない、もしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合【%】	③ としま地域未来塾参加延べ人数【人】	(子どもから大人への過渡期にある中高生時代のサポートは、将来、社会生活にも大きく影響するものであることから、以下の視点を踏まえた評価も加える必要がある) <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさを発揮できているか ・充実感・幸福感を得ているか ・地域との繋がりで豊かな社会性が育まれているか
		② 自分の好きなことに打ち込んでいると感じる小中学生割合【%】	④ 地域・NPO・企業等と協働している子ども若者支援事業の数【事業数】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値			
取組方針(1)	成果指標	① 文化・芸術・スポーツ等のプログラム参加人数	人	0	90	180	360	450	540	660	新規	
	成果指標	② 放課後子ども教室参加延べ人数	人	16,323	19,500	21,580	23,660	25,740	27,820	30,000	新規	
	活動指標	③ 文化・芸術・スポーツ等のプログラム実施回数	回	0	3	6	12	15	18	22	新規	
	活動指標	④ 放課後子ども教室実施回数	回	1,255	1,500	1,660	1,820	1,980	2,140	2,300	継続	4-4-3地域教育との連携
取組方針(2)	成果指標	① 休日に活動がない、もしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合	%		40.0	50.0	65.0	70.0	75.0	80.0	新規	
	成果指標	② 自分の好きなことに打ち込めていると感じる小中学生割合	%	92.7	93.9	94.0	96.0	98.0	98.0	100.0	新規	
	活動指標	③ としま地域未来塾参加延べ人数	人	455	600	650	700	750	800	850	新規	
	活動指標	④ 地域・NPO・企業等と協働している子ども若者支援事業の数(事業数)	件		20	25	30	35	40	45	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針(1)	成果指標	① 文化・芸術・スポーツ等のプログラムに参加した児童数	放課後の過ごし方の選択肢が増えた児童数を示す指標であるため		所管課データ
	成果指標	② 放課後子ども教室に参加した児童数	放課後の過ごし方の選択肢が増えた児童数を示す指標であるため		所管課データ
	活動指標	③ 文化・芸術・スポーツ等のプログラムの実施回数	児童の放課後の過ごし方の選択肢を増やす活動量を示す指標であるため		所管課データ
	活動指標	④ 放課後子ども教室の実施回数	児童の放課後の過ごし方の選択肢を増やす活動量を示す指標であるため		所管課データ
取組方針(2)	成果指標	① 休日に活動がない、もしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合	部活動地域移行の推進がわかる指標であるため。		所管課データ
	成果指標	② 勉強・スポーツ・趣味など頑張っていることがあると回答した小中学生の割合	充実した活動ができているかをわかる指標であるため		指導課 アイチェック
	活動指標	③ としま地域未来塾に参加した中学生の数	地域で活動支援を受けられている生徒の増加がわかる指標であるため。		所管課データ
	活動指標	④ 協働に関する調査のうち子ども若者支援について抽出した数	子ども支援の事業に地域等が協働していることがわかる指標であるため		区民活動推進課 協働に関する調査

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-②	放課後子ども教室に参加した児童数【人】	・1児童の放課後時間の質の向上を示す指標であるため ・2については、部活動地域移行の推進を把握できる指標であるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	休日に活動がない、もしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合【%】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すま ちの姿や取 組方針を 適切に表し ている	②データや 算定方法 の信頼性が 高い	③豊島区 らしさを表し ている	④指標自 体がポジ ティブな印 象である	⑤国・都の 計画等で 目標の方 向性が示さ れている	⑥現計画と 継続する指 標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定 の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	文化・芸術・スポーツ等のプログラム参加人数	○	✓	✓	✓			人	0	90	180	360	450	540	660	適切
	成果指標 ②	放課後子ども教室参加延べ人数	○	✓	✓	✓			人	16,323	19,500	21,580	23,660	25,740	27,820	30,000	適切
	活動指標 ③	文化・芸術・スポーツ等のプログラム実施回数	△		✓	✓			回	0	3	6	12	15	18	22	適切
	活動指標 ④	放課後子ども教室実施回数	△		✓	✓		✓	回	1,255	1,500	1,660	1,820	1,980	2,140	2,300	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	休日に活動がない、もしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合	△		✓				%		40.0	50.0	65.0	70.0	75.0	80.0	適切
	成果指標 ②	自分の好きなことに打ち込んでいると感じる小中学生割合	○	✓	✓	✓			%	92.7	93.9	94.0	96.0	98.0	98.0	100.0	適切
	活動指標 ③	としま地域未来塾参加延べ人数	△		✓	✓	✓		人	455	600	650	700	750	800	850	適切
	活動指標 ④	地域・NPO・企業等と協働している子ども若者支援事業の数(事業数)	△		✓	✓	✓		件		20	25	30	35	40	45	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	放課後子ども教室に参加した児童数【人】	備考	所管部局案「休日に活動がない、もしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合」→「自分の好きなことに打ち込んでいると感じる小中学生割合」に変更提案。後者は子どもたち自身の感覚を直に問う意識調査であり、施策内容の進捗度合いを図る指標としてより適切と思料。
指標2	活動指標	自分の好きなことに打ち込んでいると感じる小中学生割合		

指標設定チェックシート

施策名	2-②-5	子どもの学びと成長を支える教育環境の整備
部課名	教育部 庶務課・学務課・学校施設課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>◇計画的な学校改築や改修により、時代のニーズに即した質の高い教育が可能な環境が整っている。</p> <p>◇教員が心身ともに健康でやりがいを持って生き生きと子どもたちと向き合っている。</p>	<p>(1) ○ 学校施設の老朽化や設備面における課題を解決するため、計画的な学校改築を推進し、最新の設備を整えた、安全安心な学習環境を確保します。</p> <p>○ 改築に際しては、エコスクール化など環境面での充実を図るとともに、防災機能の強化や地域コミュニティの活動拠点としての整備など、子どもだけでなく、地域にとっても、安全安心な学校づくりを進めていきます。</p> <p>○ 改築を進めるためには一定の期間を要するため、改築の時期が遅くなる学校については、予防保全に基づく大規模改修を着実に行うとともに、学習情報センターの整備やバリアフリー化など、子どもたちの安全確保と学習環境の改善に取り組めます。</p> <p>○ 一人一台タブレットパソコンの計画的な更新とともに、ネットワーク機器やプロジェクター等の基盤整備を進め、学習環境の質の向上を図ります。</p>	<p>① 改築済(工事中含む)の小中学校校数</p>	<p>③ 改築事業(考える会、設計、工事等)の実施校数</p>	<p>・安全性や快適性が確保された学習環境を整備できているか。</p> <p>・子ども達が時代のニーズに則して、積極的に学習できる環境を整備できているか。</p>	
		<p>② 大規模改修工事等の実施校数</p>	<p>④ 学校備品(台帳登録)の平均老朽化年数</p>		
	<p>(2) ○ 管理職が出退勤システムのデータを活用して教員一人ひとりの在校時間を把握し、健康状態の確認や仕事の進め方等に関する指導・助言を行います。また、働き方改革の好事例を他校に紹介し長時間労働の縮減につなげます。</p> <p>○ 教員の業務効率化を推進するため、教材作成等を行う学習支援システムと成績処理等を行う校務支援システムの更なる向上を図るなど、業務のDX化を推進します。</p> <p>○ 教員が抱える悩みや様々な問題に対して、LINEを活用した相談窓口の設置や臨床心理士等が教員と面談を行うアウトリーチ型相談事業を実施し、メンタルヘルス対策の充実を図ります。</p> <p>○ 学校の教育力の向上を図るため、教員一人ひとりのキャリアに応じた研修等を充実させるとともに、教員業務をサポートする人材を地域や民間事業者との協働により効果的に活用します。</p>	<p>① 時間外勤務が月45時間を超える教員の割合</p>	<p>④ 働き方改革の取組み好事例校として紹介した学校数(累計)</p>		<p>⑤ 教職員ストレスチェックの受検率</p>
		<p>② 休日に活動がないもしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合</p>	<p>⑤ 教職員ストレスチェックの受検率</p>		
		<p>③ 病気休職者数・離職率</p>	<p>⑥ 教職員ストレスチェックの受検率</p>		

【施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
		実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	改築済(工事中含む)の小中学校数	校	10	11	11	11	11	13	14	新規
	成果指標 ②	学校備品(台帳登録)の平均老朽化年数	年	16.6	16.5	16.4	16.3	16.2	16.1	16.0	新規
	活動指標 ③	改築事業(考える会、設計、工事等)の実施校数	校	1	1	4	4	4	4	4	新規
	活動指標 ④	大規模改修工事等の実施校数	校	9	9	10	10	10	10	10	新規
取組方針(2)	成果指標 ①	時間外勤務が月45時間を超える教員の割合	%	40.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	0.0	新規
	成果指標 ②	休日に活動がないもしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合	%		40.0	50.0	65.0	70.0	75.0	80.0	新規
	成果指標 ③	病気休職者数・離職率	人%	調整中							新規
	活動指標 ④	働き方改革の取組み好事例校として紹介した学校数(累計)	校	3	4	6	7	8	9	10	新規
	活動指標 ⑤	教職員ストレスチェックの受検率	%	67.0	70.0	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0	新規

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針(1)	成果指標 ①	平成13年度以降に実施した改築校数(工事中含む)	学校改築の進捗度合いを定量的に評価できる指標のため		所管課データ
	成果指標 ②	備品台帳に登録された学校備品(約2万6千件)の平均経過年数	学校部品の老朽化率を測る客観的な指標のため		財務会計システム
	活動指標 ③	改築事業(考える会、設計、工事)実施中の学校施設数	学校改築への取り組み状況を定量的に評価できる指標のため		所管課データ
	活動指標 ④	大規模改修工事等(別棟整備工事を含む)の実施校数	老朽化対策のための工事への取り組み状況を定量的に評価できる指標のため		所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ①	システムにより、1か月当たり45時間超えの教員の割合を算出	教員のワークライフバランスを図る指標であるため ※都の「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」の成果指標となっている。		所管課データ ※都に提出
	成果指標 ②	休日の部活動を行わないまたは教員以外が実施している部活数の割合を算出	教員が顧問を請け負うことによる負担を軽減できているか測る指標であるため		所管課データ
	成果指標 ③	休職員内申・退職員内申が提出された教職員の割合を算出	教員の働きやすさを評価できる指標のため		所管課データ
	活動指標 ④	働き方改革取組みの好事例校として、区立小・中学校に共有した学校数(累計)	働き方改革に向けた学校内の取組みを推進する指標であるため		所管課データ
	活動指標 ⑤	心理的な負担を把握するための検査(ストレスチェック)を受検した教職員の割合	メンタルヘルス対策の取組み状況を測る指標であるため		所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	改築済(工事中含む)の小中学校数	・改築の進捗度合いは教育環境の整備として最も重要な指標のため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	時間外勤務が月45時間を超える教員の割合	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			設定の判定	①目指すま ちの姿や取 組方針を 適切に表し ている	②データや 算定方法 の信頼性が 高い	③豊島区 らしさを表し ている	④指標自 体がポジ ティブな印 象である	⑤国・都 の計画等 で目標の 方向性が示 されている	⑥現計画と 継続する指 標である	単 位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定 の判定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針 (1)	成果 指標	①	改築済(工事中含む)の小中 学校数	○	✓	✓	✓			校	10	11	11	11	11	13	14	適切
	成果 指標	②	学校備品(台帳登録)の平均 老朽化年数	○	✓	✓				年	16.6	16.5	16.4	16.3	16.2	16.1	16.0	適切
	活動 指標	③	改築事業(考える会、設計、工 事等)の実施校数	△		✓				校	1	1	4	4	4	4	4	適切
	活動 指標	④	大規模改修工事等の実施校 数	△		✓		✓		校	9	9	10	10	10	10	10	適切
取組方針 (2)	成果 指標	①	時間外勤務が月45時間を超え る教員の割合	△		✓				%	40.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	0.0	適切
	成果 指標	②	休日に活動がないもしくは活 動を教員以外の指導者が行っ ている部活動の割合	○	✓	✓				%		40.0	50.0	65.0	70.0	75.0	80.0	適切
	成果 指標	③	病気休職者数・離職率	○	✓	✓				人	調整中							今後設定予定
	活動 指標	④	働き方改革の取組み好事例 校として紹介した学校数(累 計)	○	✓	✓		✓		校	3	4	6	7	8	9	10	適切
	活動 指標	⑤	教職員ストレスチェックの受検 率	△	✓	✓				%	67.0	70.0	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0	目標値が低すぎる

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	改築済(工事中含む)の小中学校数	備考 所管部局案「休日に活動がないもしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合」 →「働き方改革の取組み好事例校として紹介した学校数(累計)」 後者の方がポジティブなイメージがあり、取組方針の内容を直接的に表しているため、より適正 と史料。
指標2	活動指標	働き方改革の取組み好事例校として紹介した学校数(累計)	

指標設定チェックシート

施策名	2-②-6	学校と家庭・地域が連携した教育活動の推進
部課名	教育部 庶務課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
学校との信頼関係のもと保護者や地域住民等が積極的に学校運営に参画し、地域全体で子どもを見守り、育てる教育活動が展開できている。	(1) <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心な学校づくりやSDGsの活動を通じて築いた地域と学校の繋がりを生かし、学校と保護者や地域の方がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映する仕組みである「コミュニティ・スクール」を全校に導入することで、学校・PTA・地域・保護者が連携し地域全体で子どもたちの健やかな成長を育む体制を構築していきます。 ○ 地域と学校を繋ぐ地域コーディネーターを配置し、地域における人材の積極的な活用や大学・企業・NPO等との連携をすることで、子どもたちの学びや体験の場を充実させていきます。 	① 「学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育している」の回答割合【%】	③ 区立小中学校全30校のうちコミュニティ・スクール設置校数【校】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域、企業とのつながりが生まれたか。 ・地域や企業と連携することで、子どもたちが多様な経験、体験をすることができたか。
		②	④ 地域学校協働本部(=地域コーディネーターの配置)の設置校数【校】	
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちと地域の人たちとの交流の場を創出し、家庭や学校だけでは学ぶことが難しい体験活動を通して、地域との関わり大切さや社会性を育み、これからの地域社会の担い手を育成していきます。 ○ 子どもたちが長崎獅子舞などの地域に根づいた歴史・文化や東京手描友禅などの時代を超えて受け継がれてきた伝統工芸等にふれる機会を創出し、郷土文化について学び、郷土を愛する心を育みます。 	① 児童・生徒の地域への愛着(%)	③ 地域人材を活用した放課後子ども教室の実施回数	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材等との協働による各種の取り組みによって、子供たちの地域の歴史や文化に対する理解が深まっているか ・地域人材等との協働による各種の取り組みによって、子供たちの地域への愛着が深まっているか
		①	③ 家庭教育講座の実施数【回】	
	(3) <ul style="list-style-type: none"> ○ 親子のコミュニケーションを豊かにするために、家庭教育に関する情報発信を充実させるとともに、各種研修会の開催やPTA活動の支援等を通して、家庭と学校、地域が相互に協力し、地域全体で子どもを育てる体制を整えます。 ○ よりよい親子関係づくりや、地域の役割をともに考えるきっかけの場として、家庭教育に関するワークショップ・講演会等を開催し、保護者や地域の方に参加頂くことで、家庭教育力の向上を図ります。 ○ 保護者や地域の方々と教育施策に関する意見交換の機会を積極的に創出し、学校、家庭、地域が丸となって子どもたちの健やかな成長を支える体制を整えていきます。 	① 家庭教育講座を開催したことで、保護者同士のつながりができたと回答する学校の数	③ 家庭教育講座の実施数【回】	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育事業への参加をきっかけに、横のつながりが生まれたか ・家庭・学校・地域が連携することで、地域で子どもを育む機運が高まっているか
		①	③	

指標		指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針 (1)	成果指標	① 保護者・地域の方を対象とした学校評価アンケートにおいて、「学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育している」「そう思う」「ほぼそう思う」と回答した人の割合	学校の取組を保護者、地域関係者が評価している指標であるため	学校評価
	成果指標	②		
	活動指標	③ 教育委員会規則によって学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が設置されている学校数	学校、保護者・地域住民等が連携・協働する仕組みが構築されている指標のため	所管課データ
	活動指標	④ 地域学校協働本部(=地域コーディネーターの配置)の設置した学校数	学校、保護者・地域住民等が連携・協働する仕組みが構築されている指標のため	所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	① 児童・生徒が、「地域への愛着」について肯定的な回答をする割合	施策を進めた成果として想定される「地域への愛着」を定量的に測定できる指標であるため。	主管課データ(i-check)
	成果指標	②		
	活動指標	③ 文化財など地域の歴史文化に関する講座等の実施数	施策に関する取組実績を定量的に示すことができるため	主管課データ
	活動指標	④		
取組方針 (3)	成果指標	① 家庭教育講座の実施数教育講座実施校に実施するアンケートにおいて、保護者同士の繋がりができたと回答する学校数	施策に関する講座を実施した効果を把握できる指標であるため	主管課データ
	成果指標	②		
	活動指標	③ 家庭教育講座の実施数	施策に関連する講座を実際にPTAが開催した実績を表せるため	主管課データ
	活動指標	④		

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー①	「学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育している」の回答割合【%】	1. 取組み方針で、コミュニティ・スクールを導入し学校と保護者、地域が連携していくことを記載しており、学校や地域、家庭との協力を定量的に測定できる指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー①	児童・生徒の地域への愛着(%)	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すま ちの姿や取 組方針を 適切に表し ている	②データや 算定方法 の信頼性が 高い	③豊島区ら しさを表して いる	④指標自 体がポジ ティブな印 象である	⑤国・都の 計画等で 目標の方 向性が示さ れている	⑥現計画と 継続する指 標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定 の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓		✓	%	87.5	90.0	92.0	94.0	96.0	98.0	100.0	目標値が高すぎる	
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	△		✓		✓		✓	校	5	8	13	30	30	30	30	適切
	活動指標 ④	△		✓		✓			校	-	-	13	30	30	30	30	適切
取組方針 (2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓		✓	%	小6: 92.1 中3: 90.8	小6: 80.5 中3: 80.5	小6: 81.0 中3: 81.0	小6: 82.0 中3: 82.0	小6: 83.0 中3: 83.0	小6: 84.0 中3: 84.0	小6: 85.0 中3: 85.0	目標値が低すぎる	
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	△		✓		✓			回	2	3	4	5	5	5	5	適切
	活動指標 ④																
取組方針 (3)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			校			9	9	10	10	11	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	○	✓	✓		✓			回	13	17	17	17	17	17	17	適切
	活動指標 ④																

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	「学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育している」に肯定的な回答した割合	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	児童・生徒の地域への愛着		

指標設定チェックシート

施策名	2-③-1	子ども・若者の社会参画・活動の場の創出
部課名	子ども家庭部 子ども若者課 / 教育部 放課後対策課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>○子どもの権利を尊重し、成長段階に応じた意見表明・参画の機会が確保されている。</p> <p>○子ども・若者の居場所が確保され、活動の場が充実している。</p>	<p>(1) ○こども基本法や子どもの権利条例の趣旨について理解を深めるために、子どもの成長段階に応じたPRや地域・学校と連携した周知・啓発活動を進めます。</p> <p>○子どもの権利侵害の早期発見・早期改善を図るため、子どもの権利相談室やアシスとしまにおいてアウトリーチを実施するなど、その機能の拡充を図ります。</p> <p>○小・中学校における児童会・生徒会・委員会・部活動や中高生センタージャンプ等において、子どもの主体的な活動を支援し、子どもの意見が反映される取組みを進めます。</p> <p>○子どもレターや子ども会議において、区の施策に対する子どもの意見を聴き、区の施策に反映させるように努めるとともに、意見に対する取組み内容を子どもたちにフィードバックすることで、区政への参画を実現します。</p>	<p>① 「豊島区子どもの権利に関する条例について知っている」と回答した割合【%】</p>	<p>③ 子どもの権利に関する出張講座【回】</p>	<p>子どもの権利侵害が少なくなっているか。参加人数だけではなく、意見表明しない利用者のニーズをくみ取る意識 少数意見にも耳を傾ける努力</p>	
		<p>② 中高生センタージャンプ及び子どもスキャップ「利用者会議」参加のべ人数【人】</p>	<p>④ 中高生センタージャンプ及び子どもスキャップ「利用者会議」開催回数</p>		
	<p>(2) ○子ども・若者が置かれた様々な状況に寄り添い、自立した生活を送れるよう、地域や企業・NPO団体等と連携し、新たな居場所の創出に取り組めます。</p> <p>○区内で居場所を提供する団体で構成される居場所会議や若年女性支援のプロジェクトチームであるすずらんスマイルプロジェクトのネットワークを活用した若者支援の強化・充実を図ります。</p> <p>○地域・大学・企業等と連携し、中高生が安心して憩い、文化・芸術・スポーツ等様々な体験をすることができる、中高生センタージャンプのプログラムの充実を図ります。</p> <p>○中高生の居場所を拡充するため、既存施設の活用や区民ひろばとの連携を検討します。</p>	<p>① 居場所会議登録団体数</p>	<p>③ 居場所会議登録団体数</p>	<p>④ SNSを活用した中高生センタージャンプの情報発信回数【回】</p>	<p>居場所での活動を通じて、子ども・若者にどのような変容が生じたか</p>
		<p>② 中高生センタージャンプ利用者数【人】</p>			

【施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標	①	「豊島区子どもの権利に関する条例について知っている」と回答した割合	%							新規		
	成果指標	②	中高生センタージャンプ及び子どもスキップ「利用者会議」参加延べ人数	人	6,364	6,375	6,390	6,405	6,420	6,435	6,450	継続	4-1-1子どもの社会参加・参画の促進(前回は開催回数)
	活動指標	③	子どもの権利に関する出張講座	回	7	9	11	13	15	17	19	継続	
	活動指標	④	中高生センタージャンプ及び子どもスキップ「利用者会議」開催回数	回	288	288	288	288	288	288	288	新規	
取組方針(2)	成果指標	①											
	成果指標	②	中高生センタージャンプ利用者数(中高生)	人	25,040	25,100	25,150	25,200	252,050	25,300	35,350	新規	
	活動指標	③	居場所会議登録団体数	団体	12	12	12	12	13	13	13	新規	
	活動指標	④	SNSを活用した中高生センタージャンプの情報発信回数	回	209	225	240	255	270	285	300	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針(1)	成果指標	①	区民意識調査で「知っている」と回答した割合【%】	施策に対する区民の評価を把握できる指標のため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	中高生センタージャンプ及び子どもスキップにて実施する利用者会議に参加した延べ人数	子どもの意見表明機会である利用者会議の運営状況を把握できる指標のため		所管課データ	
	活動指標	③	子どもの権利に関する出張講座の開催回数(回)	活動状況を把握できる指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	中高生センタージャンプ及び子どもスキップにて実施する利用者会議の開催回数	子どもの意見表明機会である利用者会議の運営状況を把握できる指標のため		所管課データ	
取組方針(2)	成果指標	①				協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	中高生センタージャンプ利用者数	中高生センターが中高生の居場所となっているかを把握できる指標のため		所管課データ	
	活動指標	③	居場所会議登録団体数	居場所の創出の活動量を示す指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	SNS(Instagram)を活用した中高生センタージャンプの情報発信回数	中高生の居場所についての情報発信の活動量を示す指標のため		所管課データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「豊島区子どもの権利に関する条例について知っている」と回答した割合	・1については、施策の取り組みの成果が、区民の実感として把握できる指標であるため。 ・2については、実際の活動状況を把握できる指標であるため。
2	活動指標	(1)-②	「利用者会議」参加延べ人数	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すま ちの姿や取 組方針を 適切に表し ている	②データや 算定方法 の信頼性が 高い	③豊島区 らしさを表し ている	④指標自 体がポジ ティブな印 象である	⑤国・都の 計画等で 目標の方 向性が示さ れている	⑥現計画と 継続する指 標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定 の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓			%								今後設定予定
	成果指標 ②	○	✓	✓	✓	✓			人	6,364	6,375	6,390	6,405	6,420	6,435	6,450	適切
	活動指標 ③	△		✓		✓			回	7	9	11	13	15	17	19	適切
	活動指標 ④	△		✓	✓	✓			回	288	288	288	288	288	288	288	適切
取組方針(2)	成果指標 ①																
	成果指標 ②	○	✓	✓		✓			人	25,040	25,100	25,150	25,200	252,050	25,300	35,350	適切
	活動指標 ③	△		✓		✓			団体	12	12	12	12	13	13	13	適切
	活動指標 ④	△		✓		✓			回	209	225	240	255	270	285	300	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「豊島区子どもの権利に関する条例について知っている」と回答した割合	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	中高生センタージャンプ及び子どもスキップ「利用者会議」参加延べ人数		

指標設定チェックシート

施策名	2-③-2	多様な子ども・若者への支援
部課名	子ども家庭部 子ども若者課 児童相談課 子ども家庭支援センター	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す5年後の姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
多様な子ども・若者へのきめ細かな支援が行き届き、すべての子ども・若者が夢や希望を持って生き生きと生活できている。	(1) ○ 子どもの相談啓発キャラクターの活用やタブレット、SNS等多様な相談窓口を開設し、子ども・若者の相談へのハードルを下げ、必要な支援の早期発見に努めます。 ○ 関係機関、支援団体、地域住民が一体となったネットワークを強化し、支援が必要な様々な課題の早期発見、早期支援につなげます。 ○ 医療的ケア児や発達障害児、難病の子どもなど、様々な支援が必要な子どもとその家族に対し、保健、医療、福祉、子育て、保育、教育等のすべての担当課が関係機関と連携し、相談体制や支援の充実を図ります。 ○ 児童発達支援センターにおける専門相談の体制を強化するとともに、千川中学校複合施設移転後は、教育センターの教育相談・就学相談との機能連携を強化します。	①	ヤングケアラー支援家庭児童数【人】	③	ヤングケアラー相談対応延べ件数【件】	・専門相談を実施している保護者のつながりが生まれる ・関係機関や地域と連携し迅速に対応した結果、児童虐待が重篤化せず改善できた事例
		②	発達相談から専門相談につながった割合【%】	④	発達相談件数【件】	
	(2) ○ 要保護児童対策地域協議会の関係機関や関係団体との連携を強化し、児童虐待や養育に困難を抱える家庭で育つ児童の早期発見と早期支援を行うとともに、研修や区民向け講演会、街頭キャンペーン等により児童虐待の予防や暴力防止の普及啓発を推進します。 ○ 一時保護や立ち入り調査さらには親権停止の家庭裁判所への申し立てなど、児童相談所に与えられた法的権限を最大限に活用して、児童の最善の利益を守る取組みを推進します。 ○ 子どもの最善の利益の確保のため、家庭での養育が困難又は適当でない場合は家庭養育優先の原則に基づいた里親による養育を推進します。	①	「子ども、若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	③	要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	
		②	里親の登録数【家庭】	④	里親普及啓発活動の実施回数【回】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	ヤングケアラー支援家庭児童数【人】	人	61	65	70	75	80	85	90	新規	
	成果指標	②	発達相談から専門相談につながった割合【%】	%	31.7	40.0	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	継続	4-1-2 困難を有する子ども・若者やその家庭への支援
	活動指標	③	ヤングケアラー相談対応延べ件数【件】	件	3,097	3,200	3,300	3,400	3,500	3,600	3,700	新規	
	活動指標	④	発達相談件数【件】	件	7,010	7,050	7,080	7,100	7,120	7,150	7,180	継続	4-1-2 困難を有する子ども・若者やその家庭への支援
取組方針 (2)	成果指標	①	「子ども、若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	%								新規	
	成果指標	②	里親の登録家庭数【家庭】	家庭	22	25	28	32	36	40	44	新規	
	活動指標	③	要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	件	1,245	1,250	1,255	1,260	1,265	1,270	1,270	新規	
	活動指標	④	里親普及啓発活動(相談会・出前講座・養育体験発表会等)の実施回数【回】	回	14	16	18	20	22	23	24	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	ヤングケアラー支援を実施した児童数	実際に、子どもへの直接的な支援を実施した件数は成果として重要であるため。		所管データ	
	成果指標	②	発達相談から専門相談につながった割合	一般の発達相談から専門相談へつながることは、児童発達支援センターとしての成果を示す指標であるため		所管データ	
	活動指標	③	ヤングケアラーに係る相談に対応した延べ件数	ヤングケアラーからの相談対応は、啓発活動に直結した活動指標であるため。		所管データ	
	活動指標	④	発達相談対応件数	発達相談は一般的な発達に対する相談であり、成果につなげるためにも重要な活動であるため。		所管データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	「子ども、若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	里親の登録家庭数【家庭】	地域における家庭的養護の充実度を示す指標のため		所管データ	
	活動指標	③	要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	要保護児童対策地域協議会で取り扱った通告・相談件数		所管データ	
	活動指標	④	里親普及啓発活動の実施回数【回】	里親登録のための活動量を示す指標であるため		所管データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類		取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	1-①	「子ども、若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合(%)	<ul style="list-style-type: none"> ・1 施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため ・2 区の家計養育を担う家庭数の充実状況を把握できる指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	1-②	里親の登録家庭数【家庭】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すま ちの姿や取 組方針を 適切に表し ている	②データや 算定方法 の信頼性が 高い	③豊島区 らしさを表し ている	④指標自 体がポジ ティブな印 象である	⑤国・都の 計画等で 目標の方 向性が示さ れている	⑥現計画と 継続する指 標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定 の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	ヤングケアラー支援家庭児童数【人】	○	✓	✓				人	61	65	70	75	80	85	90	適切
	成果指標 ②	発達相談から専門相談につながった割合【%】	◎	✓	✓		✓		%	31.7	40.0	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	適切
	活動指標 ③	ヤングケアラー相談対応延べ件数【件】	△		✓				件	3,097	3,200	3,300	3,400	3,500	3,600	3,700	適切
	活動指標 ④	発達相談件数【件】	△		✓		✓	✓	件	7,010	7,050	7,080	7,100	7,120	7,150	7,180	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	「子ども、若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	△	✓			✓		%								今後設定予定
	成果指標 ②	里親の登録家庭数【家庭】	○	✓	✓		✓		家庭	22	25	28	32	36	40	44	適切
	活動指標 ③	要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	○	✓	✓		✓		件	1,245	1,250	1,255	1,260	1,265	1,270	1,270	適切
	活動指標 ④	里親普及啓発活動(相談会・出前講座・養育体験発表会等)の実施回数【回】	○	✓	✓		✓		回	14	16	18	20	22	23	24	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	発達相談から専門相談につながった割合【%】	備考 指標①: 区民意識調査の質問内容が不適正。発達相談から専門相談につながった割合の方がより多様な子どもへの支援の実態を示すと考えられるため変更。 指標②: 里親の登録家庭数については、審議会で預かり数にすべきとの議論があったが、区児童相談所として登録数に注力しているため、登録数を指標とする
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	里親の登録家庭数【家庭】	

指標設定チェックシート

施策名	3-①-1	どんな悩みごとでも受け止める相談体制の強化
部課名	福祉部 福祉総務課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
支援を要する区民が適切な相談支援につながるができる。	(1) ○ 区関係施設を含めたすべての福祉相談窓口で、どんな悩みごとでも包括的に受け止め、適切な窓口につなげる相談支援体制を整えていきます。 ○ 各分野の専門的な支援の仕組みを活かしながら、地域ケア会議や在宅医療連携推進会議、発達障害者支援ネットワーク会議等、多職種・多機関による会議体の充実を図り、きめ細かな相談支援を行います。 ○ 単独の組織・分野では対応が困難な課題に対し、行政(包括的相談支援事業)や民間支援機関の相互連携による、一体的・重層的な相談支援体制を強化し、一人ひとりの状況に応じて適切な支援につなぎます。	① 福祉包括化推進部会の支援検討件数【件】	③ 福祉包括化推進部会の実施回数【件】	・支援検討方針に基づくプランが継続的だった場合、何を持って終結とするのかといった視点。
		② 高齢者総合相談センターの認知度【%】	④ 高齢者総合相談センターの相談件数【件】	
	(2) ○ 必要としている相談窓口や支援機関の情報が行き届くよう、身近な地域の相談先となる民生委員・児童委員や区民ひろばに配置しているコミュニティソーシャルワーカー(CSW)、区内社会福祉法人が共同で運営する「福祉なんでも相談窓口」の各種相談活動を区民に発信し、地域における相談機会の充実を図ります。 ○ 地域福祉推進の担い手である民生委員・児童委員の充足率を高めるとともに、その活動を支援し、区民にとって最も身近な相談先の充実を図ります。 ○ 「支援を必要とする人」や「支援が必要であるにもかかわらず、自ら支援を求めない、求めることができない人」に対して、継続的・積極的なアウトリーチ活動を行い、要支援者の早期発見に取り組みます。	① 福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる【%】	④ 高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当への相談件数【件】	・相談内容ごとの質の濃淡。
		② コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)【件】	③ コミュニティソーシャルワーク事業の暮らしの何でも相談会の実施回数【回】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	福祉包括化推進部会の支援検討件数	件	11	40	40	40	40	40	40	継続	3-1-2重層的・包括的なケア 基盤の充実
	成果指標	②	高齢者総合相談センターの認知度	%	54.1	57.0	60.0	63.0	65.0	66.0	67.0	継続	3-1-2重層的・包括的なケア 基盤の充実
	活動指標	③	福祉包括化推進部会の実施回数	回	10	12	12	12	12	12	12	新規	
	活動指標	④	高齢者総合相談センターの相談件数	件	44,006	46,000	48,000	50,000	50,500	51,000	51,500	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる	%	-	34.3	34.8	35.2	35.7	36.1	36.6	新規	
	成果指標	②	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)	件	10,158	11,500	12,400	13,300	14,200	15,100	16,000	継続	3-1-1福祉コミュニティの形成
	活動指標	③	高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当への相談件数	件	14,069	18,000	21,000	23,000	23,500	24,000	24,000	新規	
	活動指標	④	コミュニティソーシャルワーク事業の暮らしの何でも相談会の実施回数	回	344	350	350	350	350	350	350	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	福祉包括化推進部会における支援方針検討会議での事例検討件数【件】	分野横断的な組織において、支援方針を作成したという成果を図る指標であるため		所管課データ	
	成果指標	②	65歳以上で要介護認定を受けていない方の高齢者総合相談センターの認知度【%】	高齢者が何かあったときに相談のできるサービスの認知度を測る指標のため		介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	
	活動指標	③	分野横断的な組織である福祉包括化推進部会の実施回数【回】	施策の目標である分野横断的な相談支援体制を確立するための会議体の活動指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	高齢者総合相談センターの相談件数【件】	成果指標である高齢者総合相談センターの活動をはかることに有効な指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる【%】	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		基本計画改定に伴う区民意識調査	
	成果指標	②	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)【件】	分野・属性を問わない区民からの、あらゆる相談に対応した件数であるため		所管課データ	
	活動指標	③	当該年度に高齢者総合相談センターに併設された見守り支援事業担当への相談件数【件】	定期的な訪問活動等による相談事業も実施しており、アウトリーチの状況を測る指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	コミュニティソーシャルワーク事業の暮らしの何でも相談会の実施回数【回】	コミュニティソーシャルワーカーの活動状況を把握する指標のため		所管課データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(2)-①	福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる【%】	・施策の進捗を図るにふさわしく、両取組方針の進捗の結果が最も広く反映されると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-②	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)【件】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	福祉包括化推進部会の支援検討件数	△		✓		✓		件	11	40	40	40	40	40	40	適切
	成果指標 ②	高齢者総合相談センターの認知度	△		✓		✓		%	54.1	57.0	60.0	63.0	65.0	66.0	67.0	適切
	活動指標 ③	福祉包括化推進部会の実施回数	△		✓		✓		回	10	12	12	12	12	12	12	適切
	活動指標 ④	高齢者総合相談センターの相談件数	○	✓	✓				件	44,006	46,000	48,000	50,000	50,500	51,000	51,500	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる	○	✓	✓		✓		%	-	34.3	34.8	35.2	35.7	36.1	36.6	適切
	成果指標 ②	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)	◎	✓	✓		✓		件	10,158	11,500	12,400	13,300	14,200	15,100	16,000	適切
	活動指標 ③	高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当への相談件数	△		✓				件	14,069	18,000	21,000	23,000	23,500	24,000	24,000	適切
	活動指標 ④	コミュニティソーシャルワーク事業の暮らしの何でも相談会の実施回数	△		✓		✓		回	344	350	350	350	350	350	350	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる	備考	「高齢者総合相談センターの相談件数」「コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数」を統合した指標を設定。高齢者だけでは不十分であり、CSWIは全世代対象とはいうもののパイの大きい高齢者をカバーできていないため、統合した方がより施策の対象者全体に近い範囲をカバーする指標となる。
指標2	活動指標	「高齢者総合相談センターの相談件数」「コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数」を統合した回数(新規提案)		

指標設定チェックシート

施策名	3-①-2	住み慣れた地域で暮らし続けられる支援体制の強化
部課名	福祉部 福祉総務課 自立促進担当課 高齢者福祉課 障害福祉課 介護保険課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
ライフステージの段階に応じて、それぞれの状況や能力によって必要な支援を受けることができ、いつまでも住み慣れた地域で生活できる。	(1) ○ 加齢や障害により判断能力が低下する以前から、終活あんしんセンターや、地域福祉権利擁護事業を活用し、金銭管理や契約行為等日常生活にかかる将来の不安や困りごとに対して、区民の意思に沿った支援を行っていきます。 ○ 判断能力の低下が進行した場合は、生活のあらゆる場面での権利侵害を防ぎ、自らの意思決定を尊重するため、成年後見制度のさらなる利用促進を図ります。 ○ 中核機関(社会福祉協議会)を中心に弁護士・司法書士、社会福祉士等の専門職や関係機関との連携を強化し、区民一人ひとりの状況に応じた権利擁護支援を推進していきます。また、区民後見人の育成・活躍支援を行い、成年後見制度の普及啓発とともに、多様な担い手による支援体制の充実を図ります。	①	成年後見制度の利用者数【人】 ※東京家庭裁判所の統計に基づく概数	③	福祉サービスの利用や成年後見制度に関する相談数【件】 (福祉サービス権利擁護支援室サポートとしま受付分)	○サポートとしまへの相談が成年後見制度の利用に寄与したかどうか。
		②	終活情報登録事業累計登録数	④	終活あんしんセンター相談件数	
	(2) ○ 高齢になっても住み慣れた地域で生活し続けるため、日常的な見守りの他、介護が必要な場合には、介護・医療や各種生活支援サービス等の包括的な支援を行います。また、居宅生活が困難になった場合に必要となる高齢者福祉施設の整備を進めます。 ○ 障害児・者の生活を支えるために、日常生活用具給付事業、移動支援事業、医療的ケア児(者)支援事業等、必要な施策を充実させるとともに、親なき後も引き続き地域で生活できるよう、障害者グループホーム等の整備を進め、地域生活支援拠点コーディネーターによる支援を行います。 ○ 専門の相談員の配置を行うなど住まいの支援を強化し、高齢者などの住宅確保困難者に対する入居前から終結期までの一貫した支援体制を構築するとともに、幅広い分野の関係者・団体の連携により様々な課題解決を図ります。	①	高齢者や障害者、生活困窮者等が必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができると思う人の割合【%】※区民意識調査	③	住まいの相談支援件数	支援を受けることで、住み続けたい地域に実際に住み続けられたかどうか。
		②	各種障害サービス利用者延べ件数	④	在宅で障害サービスを利用している実人数	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	成年後見制度の利用者数 ※東京家庭裁判所の統計に基づく概数	人	580	590	600	610	620	630	640	新規	
	成果指標	②	終活情報登録事業累計登録数	人	43	50	60	70	80	90	100	新規	
	活動指標	③	福祉サービスの利用や成年後見制度に関する相談(福祉サービス権利擁護支援室サポートとしま受付分)	件	4,539	4,600	4,700	4,800	4,900	5,000	5,100	新規	
	活動指標	④	終活あんしんセンター相談件数	件	755	780	800	825	850	875	900	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	高齢者や障害者、生活困窮者等が必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができていると思う人の割合※区民意識調査	%	19.6	20.1	20.6	21.1	21.6	22.1	22.6	新規	
	成果指標	②	障害福祉サービス利用者延べ人数	人	32,566	34,975	37,563	40,342	43,327	46,533	49,976	新規	
	活動指標	③	住まいの相談支援件数	件	150	150	200	250	300	350	390	新規	
	活動指標	④	在宅で障害サービスを利用している実人数	人	2,168	2,328	2,500	2,685	2,883	3,096	3,325	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	年末時点で東京家裁が管理している本人数を集計したもの。(東京家裁の統計に基づく概数)	成年後見制度の普及度合いを測る指標であるため。		東京家裁「区市町村別成年後見制度の利用者数(東京都)」	
	成果指標	②	終活情報登録事業の登録者の累計数	終活あんしんセンターでの相談の結果、利用につながる事業の一つであるため		所管課データ	
	活動指標	③	福祉サービス権利擁護支援室サポートとしまが受けた福祉サービスの利用や成年後見制度に関する相談件数	施策に対する区民の関心度を把握できる指標であるため		所管課データ(豊島区の社会福祉)	
	活動指標	④	終活あんしんセンターにおける相談件数	区民の終活に関する関心、課題等を把握できる指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	高齢者や障害者、生活困窮者等が必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができていると思う人の割合	住み慣れた地域に安心して住み続けられると考える区民の数を把握できる指標であるため		区民意識調査	
	成果指標	②	障害福祉サービス利用者延べ人数	各種サービス利用することにより在宅生活を継続できる指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	住まいの相談支援件数	住み慣れた地域に住み続けるための、住まいの相談支援数を測る指標であるため		入居相談窓口における住まいの相談支援件数	
	活動指標	④	在宅で障害サービスを利用している実人数	障害サービスを受けて住み慣れた地域で暮らしている区民の数を把握できる指標であるため		所管課データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー②	成年後見制度の利用者数【人】 ※東京家庭裁判所の統計に基づく概数	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の意見を直接確認でき、取り組みについての成果を図るにふさわしいため ・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)ー①	高齢者や障害者、生活困窮者等が必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができていると思う人の割合【%】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			人	580	590	600	610	620	630	640	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓		✓			人	43	50	60	70	80	90	100	適切
	活動指標 ③	△		✓					件	4,539	4,600	4,700	4,800	4,900	5,000	5,100	適切
	活動指標 ④	△		✓			✓		件	755	780	800	825	850	875	900	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			%	19.6	20.1	20.6	21.1	21.6	22.1	22.6	適切
	成果指標 ②	△		✓		✓			人	32,566	34,975	37,563	40,342	43,327	46,533	49,976	適切
	活動指標 ③	△		✓		✓			件	150	150	200	250	300	350	390	適切
	活動指標 ④	△		✓		✓			人	2,168	2,328	2,500	2,685	2,883	3,096	3,325	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	成年後見制度の利用者数 ※東京家庭裁判所の統計に基づく概数	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査)	高齢者や障害者、生活困窮者等が必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができると思う人の割合		

指標設定チェックシート

施策名	3-①-3	社会とのつながりや参加を支えるしくみづくり
部課名	福祉部 高齢者福祉課 障害者福祉課 自立促進担当課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価			
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点			
誰もが社会とのつながりや参加を通じて、自らの持つ力を発揮し、その人らしい生活をしている。	(1) ○地域住民や地域団体、民間、行政等の連携を活かし、孤独・孤立の視点を取り入れた取り組みを強化することにより、SOSの声をあげやすい社会を実現します。 ○その人の力を活かした社会とのつながり方をCSWや生活支援推進員、ひきこもり相談員等が支援し、地域のサロンなどの活動の場に参加していただけるよう支援します。 ○福祉・文化・スポーツ・まちづくり等あらゆる分野で居場所づくりなどのつながりが生まれる取り組みを公民連携で推進します。	①	「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある。」について肯定的な回答をする割合【%】	③ コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)【件】	他者との交流の質や内容		
		②	友人・知人と会う頻度がほとんどない方の割合【%】			④ 高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当への相談件数【件】	
	(2) ○人との関わりや体調などに不安を抱えるなど早期就労に課題を抱える方については、本人の希望を尊重した支援プランを作成し、就労意欲喚起のためのカウンセリングや就労に対する不安解消のための就労体験など個々の課題に応じた就労支援及び、家計相談等各事業の支援員同士が緊密に連携し質の高い支援を行います。 ○人材受け入れに柔軟な対応が可能な企業と連携し、相談者の希望と特性に応じた働き方が可能な企業への就労のあっせんを行います。 ○就労後は、関係機関と連携したチームアプローチなど対象者に寄り添ったきめ細かな支援を行い、就労継続のための支援を推進します。	①	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合(%)	③		くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援プラン数(件)	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率や支援プラン数だけでは、どれだけ丁寧な支援を行ったかは測れない ・地域で自立した生活を行っている方は、相談を行わない傾向があるため、数値が多いから自立生活が充実しているとは捉えられない
		②	くらし・しごと相談支援センターにおける就労支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合(%)	④		くらし・しごと相談支援センターにおける就労支援プラン数(件)	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

			新基本計画期間(2025-2029)									
指標名			単位	2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
取組方針 (1)	成果指標	①	%	-	32.0	34.0	36.0	38.0	40.0	42.0	新規	
	成果指標	②	%	13.4	13.0	12.5	12.0	11.5	11.0	10.5	新規	
	活動指標	③	回	10,158	11,500	12,400	13,300	14,200	15,100	16,000	新規	
	活動指標	④	件	23,473	23,600	23,800	24,000	24,000	24,000	24,000	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	%	67.8	72.0	75.0	77.0	78.0	78.5	79.0	新規	
	成果指標	②	%	69.4	73.0	76.0	78.0	79.0	79.5	80.0	新規	
	活動指標	③	件	84	87	90	93	96	98	100	新規	
	活動指標	④	件	153	158	163	168	173	178	180	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)	出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人のつながりがある。」について肯定的な回答をする割合【%】	人と人のつながりがあるかどうか測れる指標であるため	区民意識調査
	成果指標	②	65歳以上で要介護認定を受けていない方のうち、友人・知人と会う頻度が「ほとんどない」と回答した割合	居場所づくり等の効果と関連する指標のため	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
	活動指標	③	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)	コミュニティソーシャルワーカーのアウトリーチ等の活動により、人と人のつながりが生まれるため	コミュニティソーシャルワーク事業実績報告
	活動指標	④	当該年度に高齢者総合相談センターに併設された見守り支援事業担当への相談件数	定期的な訪問活動等による相談事業も実施しており、アウトリーチの状況を測る指標のため	所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	①	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合	すぐの就労が難しい人や就労に関して配慮を必要とする人の支援として就労準備支援を実施しているため	くらし・しごと相談支援センター実績
	成果指標	②	くらし・しごと相談支援センターにおける就労支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合	就労準備支援により、一般就労を目指すまでに意欲が喚起されるなどしたものが、就労支援へ移行するため	くらし・しごと相談支援センター実績
	活動指標	③	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援プラン数	すぐの就労が難しい人や就労に関して配慮を必要とする人の支援として就労準備支援を実施しているため	くらし・しごと相談支援センター実績
	活動指標	④	くらし・しごと相談支援センターにおける就労支援プラン数	就労準備支援により、一般就労を目指すまでに意欲が喚起されるなどしたものが、就労支援へ移行するため	くらし・しごと相談支援センター実績

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人のつながりがある。」について肯定的な回答をする割合【%】	・人と人のつながりがあるかどうか測れる指標であるため ・課題を抱える対象者の社会参加を含む就職率を測る指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			%	-	32.0	34.0	36.0	38.0	40.0	42.0	目標値が高すぎる
	成果指標 ②	○	✓	✓					%	13.4	13.0	12.5	12.0	11.5	11.0	10.5	適切
	活動指標 ③	△		✓					回	10,158	11,500	12,400	13,300	14,200	15,100	16,000	適切
	活動指標 ④	△		✓					件	23,473	23,600	23,800	24,000	24,000	24,000	24,000	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			%	67.8	72.0	75.0	77.0	78.0	78.5	79.0	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓		✓			%	69.4	73.0	76.0	78.0	79.0	79.5	80.0	適切
	活動指標 ③	△		✓		✓			件	84	87	90	93	96	98	100	適切
	活動指標 ④	△		✓		✓			件	153	158	163	168	173	178	180	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある。」について肯定的な回答をする割合	備考	「くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合」と「くらし・しごと相談支援センターにおける就労支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合」は近似しているため、指標と統合し、施策のより広い範囲をカバーしうる指標として設定。
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援・就労支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合		

指標設定チェックシート

施策名	3-①-4	いきいきと生活し続けるための活動への支援
部課名	福祉部 高齢者福祉課 障害福祉課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>○年齢に関わらず心身の健康づくりのための活動に主体的に取り組むことができ、地域で活躍している。</p> <p>○障害に応じて、自己表現できる楽しみや活動の場がある。</p>	<p>(1) ○高齢者クラブを始めとした地域のつながりの他、興味関心に応じて参加ができる、介護予防を目的とした住民主体の「通いの場」の活動を促進していきます。</p> <p>○フレイル対策事業を介護予防センターや区民ひろば等を活用し区内全域で展開する他、専門職によるアウトリーチにより、地域における介護予防活動がより効果的に行われるよう支援します。</p> <p>○プレフレイル、フレイル状態にある高齢者を早期に把握し、「少し前の自分に戻る」ための取組みができるよう、総合事業の充実を図ります。また、健診のハイリスク者への保健指導を介護予防事業等と一体的に実施することにより、重症化予防を図ります。</p> <p>○シルバー人材センターや民間企業、住民団体等の多様な主体との協働により、高齢者の健康で生きがいのある生活を支援していきます。</p>	① 高齢者、障害者等が社会参加し、交流しながらいきいきと生活を送っていると回答した人の割合	③ 介護予防センターへの来館者数	<p>・通いの場の活動内容が多様化</p> <p>・介護予防事業を通じて、外出や社会参加への意欲が高まった事例</p>
		② フレイルについての認知度	④ フレイルチェックの実施数	
	<p>(2) ○まちかど美術展やときめき想造展などの文化芸術活動を通して、障害者の製作の喜びや意欲の向上を図るとともに、ジャンルを超えた障害者アートに区民が身近に触れる機会を増やすことで、障害者理解の推進を図ります。</p> <p>○障害に応じて、からだを動かしたり、スポーツの楽しさを味わうことが出来、仲間と集うことの喜びを体験できるような機会やイベントなど活動の場を提供します。</p> <p>○地域活動支援センターや福祉的就労の場での余暇活動や創作活動等を通じて、公民連携により社会参加を支援します。</p>	① 「ときめき想創展」等企画の作品出展数	③ 文化・芸術事業の実施回数	<p>個人の自己表現の属性や満足度</p>
		② 障害者スポーツのつどい等イベント参加人数	④ 障害者スポーツのつどい等イベント実施回数	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	高齢者や障害者等が社会参加し、交流しながらいきいきとした生活を送っていると思っ ている割合	%	14.0	15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	20.0	新規	
	成果指標	②	フレイルについての認知度	%	38.6	42.0	46.0	50.0	51.0	52.0	53.0	新規	
	活動指標	③	介護予防センターへの来館者数	人	37,800	39,000	39,000	40,000	40,500	41,000	41,500	新規	
	活動指標	④	フレイルチェックの参加者数	人	746	900	1,100	1,200	1,220	1,230	1,250	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「ときめき創造展」等企画の作品出展数	作品	169	180	190	200	210	220	230	新規	
	成果指標	②	障害者スポーツのつどい等イベント参加人数	人	438	450	475	500	525	550	575	新規	
	活動指標	③	アート教室等文化・芸術事業の実施回数	回	4	4	5	5	6	6	7	新規	
	活動指標	④	障害者スポーツのつどい等イベント実施回数	回	4	5	6	7	8	9	10	新規	

指標	指標の算出方法			指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針 (1)	成果指標	①	高齢者、障害者等が社会参加し、交流しながらいきいきと生活を送っていると回答した人の割合	社会参加の結果、生活の質の向上が図れていることを図る指標であるため。	区民意識調査
	成果指標	②	フレイルの認知について「どのような状態か知っている」と回答した割合。	区民が主体的にフレイル対策に取り組む上で、どのくらい普及しているかを図る指標であるため。	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
	活動指標	③	高田介護予防センター、東池袋フレイル対策センターでの介護予防事業に参加した人数	社会参加、運動、栄養の複数の要素が組み込まれた通いの場の構築に資する取組を表す指標のため	所管課データ
	活動指標	④	フレイルチェックに参加した高齢者数	区民がさまざまな介護予防活動に参加する上で、自身の状態を把握するための事業であるため。	所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	①	「ときめき創造展」等企画の作品出展数	アート教室等で制作した作品を出展することが、社会参加の成果となるため	所管課データ
	成果指標	②	障害者スポーツのつどい等イベント参加人数	個人でも集団でも、イベントへの参加がスポーツ・運動に親しむ機会となっているため	所管課データ
	活動指標	③	アート教室等文化・芸術事業の実施回数	アート教室等開催回数が、社会参加に繋がる指標であるため	所管課データ
	活動指標	④	障害者スポーツのつどい等イベント実施回数	スポーツ活動に参加する機会をつくるのが社会参加に繋がる指標であるため	所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)ー①	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っていると思っ ている割合	・区民意識も含めて事業効果を表す指標であるから ・文化・芸術活動としての成果指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー①	「ときめき創造展」等企画の作品出展数	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	○	✓	✓			✓		%	14.0	15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	20.0	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓			✓		%	38.6	42.0	46.0	50.0	51.0	52.0	53.0	適切
	活動指標 ③	△		✓			✓		人	37,800	39,000	39,000	40,000	40,500	41,000	41,500	適切
	活動指標 ④	△		✓			✓		人	746	900	1,100	1,200	1,220	1,230	1,250	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	△		✓			✓		作品	169	180	190	200	210	220	230	適切
	成果指標 ②	△		✓			✓		人	438	450	475	500	525	550	575	適切
	活動指標 ③	△		✓			✓		回	4	4	5	5	6	6	7	適切
	活動指標 ④	△		✓			✓		回	4	5	6	7	8	9	10	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	高齢者や障害者等が社会参加し、交流しながらいきいきとした生活を送っていると思っている割合	備考	「「ときめき創造展」等企画の作品出展数」、「障害スポーツつどい等イベント参加人数」は、それぞれ適切ではあるが、施策全体の効果を表す指標としては小さい。その二つを統合し「スポーツ・文化イベント(あるいは事業)の参加者人数」とすることができれば、より範囲が広がるため。
指標2	成果指標(区民意識調査以外)	障害者スポーツや文化イベントの参加人数(新規提案)		

指標設定チェックシート

施策名	3-①-5	暮らしやすく、社会につながる環境の整備
部課名	福祉部 福祉総務課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
誰もがいつでも必要な情報を得ることができ、外出しやすい環境が整っている。	(1) ○ 全ての人が安全で安心して外出できるユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進めるため、移動等に困難を有する人の視点や意見を踏まえ、利便性の高いバリアフリートイレの設置、歩道や公園出入口の段差解消への取組を行うほか、手助けが必要な場面で、当事者の「困りごと」に区民が気づき、適切に行動し対応することできるよう、ハード・ソフトの両面からまちのバリアフリー化に取り組んでいきます。 ○ 身体障害や知的障害などがあることで、飲食店の入店や芸術鑑賞ができないなどの社会的バリアを取り除くため、行政や事業者が障害のある方との建設的な対話により、共に合理的な配慮に取り組む、社会とつながりやすい環境整備を進めていきます。	①	「日常生活を送る範囲で、まちのバリアフリーに満足している」について肯定的な回答をする割合【%】	③	池袋駅地区バリアフリー基本構想推進協議会における人的対応・こころのバリアフリー取組紹介事例数【件】	民間事業者の所有施設のバリアフリー化の進捗具合
		②	池袋駅地区バリアフリー基本構想特定事業計画における着手率【%】	④	池袋駅地区バリアフリー基本構想特定事業計画実施施設管理者数【件】	
	(2) ○ 日常生活の情報や災害時などの緊急情報について、迅速かつ正確な情報収集を可能とするため、音声や文字化、多言語化や点字・手話など、障害特性や外国人等に配慮した対応のほか、公共施設等の情報を提供する、バリアフリーマップの更新などの取組を推進していきます。 ○ 高齢者や障害者が、よりリアルタイムな情報を取得するためには、スマートフォンやタブレットを使いこなせることが有効です。地域に身近な区民ひろば等を活用し、使い方教室、個別相談等を実施するなど、情報格差解消の取組を進めます。	①	65歳以上で要介護認定を受けていない方のスマートフォンの所持率【%】	③	コミュニティソーシャルワーク事業におけるスマホ相談会の開催回数【回】	高齢者のスマートフォン活用への意欲の増進
		②	ことばの道案内のアクセシブル件数【件】	④	視覚障害者の公共施設誘導に必要な道案内のルート作成件数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「日常生活を送る範囲で、まちのバリアフリーに満足している」について肯定的な回答をする割合	%	—	22.0	23.5	25.0	26.5	28.0	30.0	新規	
	成果指標	②	池袋駅地区バリアフリー基本構想特定事業計画における着手率	%	75.2	75.6	76.0	76.4	76.8	77.2	77.6	新規	
	活動指標	③	池袋駅地区バリアフリー基本構想推進協議会における人的対応・こころのバリアフリー取組紹介事例数	件	27	27	27	27	27	27	27	新規	
	活動指標	④	池袋駅地区バリアフリー基本構想特定事業計画実施施設管理者数	件	28	28	28	28	28	28	28	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	65歳以上で要介護認定を受けていない方のスマートフォン所持率	%	78.0	78.5	79.0	79.5	80.0	80.5	81.0	新規	
	成果指標	②	ことばの道案内のアクセス件数	件	6,303	6,400	6,450	6,500	6,550	6,600	6,650	新規	
	活動指標	③	コミュニティソーシャルワーク事業におけるスマホ相談会の開催回数	回	11	11	11	11	11	11	11	新規	
	活動指標	④	視覚障害者の公共施設誘導に必要な道案内のルート作成件数	件	199	202	205	208	211	214	217	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)	出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	「日常生活を送る範囲で、まちのバリアフリーに満足している」について肯定的な回答をする割合【%】	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため	基本計画改定に伴う区民意識調査
	成果指標	②	池袋駅地区バリアフリー基本構想特定事業計画における全事業のうち、実施(完了・継続実施・実施中)している割合【%】	民間事業者の所有施設のバリアフリー化を把握する指標であるため	所管課データ
	活動指標	③	池袋駅地区バリアフリー基本構想推進協議会における人的対応・こころのバリアフリー取組紹介事例数【件】	区および関係機関が施策目標を進める活動の指標であるため	所管課データ
	活動指標	④	池袋駅地区バリアフリー基本構想において特定事業計画を実施する施設管理者数【件】	区・民間事業者を含めたバリアフリー化を推進する事業者を示す指標であるため	所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	①	65歳以上で要介護認定を受けていない方のスマートフォンの所持率【%】	デジタル機器により情報を取得できるかを表す指標のため	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書
	成果指標	②	ことばの道案内のアクセス件数	視覚障害のある方の、公共施設にアクセスしているかの指標となるため	所管課データ
	活動指標	③	コミュニティソーシャルワーク事業におけるスマホ相談会の開催回数【回】	デジタルデバイドの解消に向けた活動の指標となるため	所管課データ
	活動指標	④	視覚障害者の公共施設誘導に必要な道案内のルート作成件数【件】	視覚障害のある方の公共施設誘導に必要なルート数が外出を促す指標となるため	所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)ー①	「日常生活を送る範囲で、まちのバリアフリーに満足している」について肯定的な回答をする割合【%】	・両指標を記載することによって、まちのバリアフリーと情報バリアフリーの双方の指標を表すことが出来るため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー①	65歳以上で要介護認定を受けていない方のスマートフォンの所持率【%】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			%	—	22.0	23.5	25.0	26.5	28.0	30.0	適切
	成果指標 ②	△		✓		✓			%	75.2	75.6	76.0	76.4	76.8	77.2	77.6	適切
	活動指標 ③	△		✓		✓			件	27	27	27	27	27	27	27	適切
	活動指標 ④	△		✓		✓			件	28	28	28	28	28	28	28	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	△		✓					%	78.0	78.5	79.0	79.5	80.0	80.5	81.0	適切
	成果指標 ②	△		✓		✓			件	6,303	6,400	6,450	6,500	6,550	6,600	6,650	適切
	活動指標 ③	○	✓	✓		✓			回	11	11	11	11	11	11	11	適切
	活動指標 ④	△		✓		✓			件	199	202	205	208	211	214	217	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「日常生活を送る範囲で、まちのバリアフリーに満足している」について肯定的な回答をする割合	備考	「65歳以上で要介護認定を受けていない方のスマートフォンの所持率」は対象が限定的になってしまうため、全世代対象のコミュニティソーシャルワーク事業相談会におけるスマホ相談会開催回数の方が、施策の効果を表せるため
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	コミュニティソーシャルワーク事業におけるスマホ相談会の開催回数		

指標設定チェックシート

施策名	3-①-6	ともに支え合い、思いやりあふれる地域づくりの推進
部課名	福祉部 福祉総務課 高齢者福祉課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
人と人が理解し、支え合いながら暮らせるまちとなっている。	(1) ○ 区民ひろばに配置するコミュニティソーシャルワーカー(CSW)が中心となり、地域のネットワークの構築、様々な地域団体活動の活性化を図るとともに、誰でも食堂やサロン活動等新たな支え合い活動の立ち上げ支援、担い手の育成を行っていきます。 ○ 興味関心に応じて、支援が必要な人への関わり方についての知識を身につける各種サポーター養成講座等の機会を提供することで、地域において様々な関わり方で活躍できる担い手の育成に取り組んでいきます。 ○ 高齢者、ひきこもり、外国人等対象者別の支え合い地域づくり活動を支援していくとともに、特定の世代や属性にこだわらずに地域で活動したい人や団体をつなぎ、支分野を超えた支援者同士のネットワーク構築を進めます。	①	コミュニティソーシャルワーク事業の地域団体等支援・連携件数【件】	③	「ぶらっと」の開催回数	地域での支え合いに関する意識醸成が図られたか
		②	地域資源情報の把握数【件】	④	ささえあいの仕組み作り協議会開催数	
	(2) ○ 認知症に対する地域の理解を深めるため、認知症サポーター養成講座の開催により、見守り支援を行う認知症サポーターを養成し、民間と協働しながら認知症 カフェを開催するなど、認知症の人に優しいまちづくりに取り組みます。 ○ ひきこもりや外国人、ヤングケアラーなど、様々な困難を抱える方について、講演会の開催等を通じて区民の理解を促進していくとともに、支援の様々な取組みの周知を行っていきます。 ○ 声かけや補助の方法、疑似体験など、障害者に対する簡単なサポート方法を学べる区民向け講座を区民ひろばや企業・学校等に出向いて開催するほか、YouTubeで配信し、障害者への理解促進及び交流を図ります。	①	認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる【%】	③	認知症サポーター養成累計人数【人】	区民だけでなく、社会全体で高齢者や障害者等への理解促進が図れたか
		②	障害者サポート講座、発達障害講座等累計人数【人】	④	障害者サポート講座、発達障害講座等開催回数【人】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標 ①	コミュニティソーシャルワーク事業の地域団体等支援・連携件数	件	2,777	2,800	2,900	3,000	3,100	3,200	3,300	新規	
	成果指標 ②	地域資源情報の把握数	件	905	940	980	1,000	1,050	1,100	1,150	新規	
	活動指標 ③	「ぶらっと」の開催回数	回	34	48	48	48	48	48	48	新規	
	活動指標 ④	ささえあいの仕組み作り協議会開催数	回	28	31	34	37	40	43	46	新規	
取組方針 (2)	成果指標 ①	認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる【%】	%	-	35.0	37.0	40.0	42.0	44.0	45.0	新規	
	成果指標 ②	障害者サポート講座、発達障害講座等受講者累計人数	人	2,097	2,414	2,714	3,014	3,314	3,614	3,914	継続	3-1-1福祉コミュニティの形成
	活動指標 ③	認知症サポーター養成講座受講者累計人数(累計)	人	18,003	18,200	18,400	18,600	18,800	19,000	19,200	継続	3-1-1福祉コミュニティの形成
	活動指標 ④	障害者サポート講座、発達障害講座等開催回数	回	4	5	6	6	7	7	8	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針 (1)	成果指標 ①	コミュニティソーシャルワーカーが対応する地域団体等への支援、団体との連携の件数		コミュニティソーシャルワーカーの活動状況を把握する指標のため		所管課データ
	成果指標 ②	生活支援体制整備事業にて把握した地域資源情報数		地域資源(社会資源)を活性化させていくための基礎となる情報量を表す指標のため		所管課データ
	活動指標 ③	地域住民や活動者、ボランティア団体、企業、NPO等、地域のさまざまな人達が気軽に自分の活動や意見を話し、お互いを知り、つながる場「ぶらっと」の年間開催回数。		コミュニティソーシャルワーカーの活動状況を把握する指標のため		所管課データ
	活動指標 ④	ささえあいの仕組み作り協議会を開催した回数		官民連携により、地域課題の共有、解決に向けて協議した量を表す指標のため		所管課データ
取組方針 (2)	成果指標 ①	認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいると回答した人の割合		認知症の人や障害者等への区民の理解促進について、区民の意識を測る指標であるため。		協働のまちづくりに関する区民意識調査(新規)
	成果指標 ②	障害者サポート講座や発達障害講座等の障害者理解促進のための講座に参加した累計の人数		参加者の増加は、区民の障害者に対する関心の高さや理解を示す指標になるため		所管課データ
	活動指標 ③	認知症サポーター養成講座に参加した累計の人数		認知症を理解・応援する人の増加が、支え合いの充実度を表す指標であるため		所管課データ
	活動指標 ④	障害者サポート講座や発達障害講座等を開催した回数		障害者サポート講座の開催により、障害者等の理解促進やサポート方法を学ぶための機会を示す指標になるため		所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)一① コミュニティソーシャルワーカーが対応する地域団体等への支援、団体との連携の件数	・共生社会の実現を進める指標として、障害者等への理解や意識の高さを示す指標であるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)一② 認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいると回答した人の割合	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	コミュニティソーシャルワーク事業の地域団体等支援・連携件数	○	✓	✓		✓		件	2,777	2,800	2,900	3,000	3,100	3,200	3,300	適切
	成果指標 ②	地域資源情報の把握数	△		✓		✓		件	905	940	980	1,000	1,050	1,100	1,150	適切
	活動指標 ③	「ぶらっと」の開催回数	△		✓		✓		回	34	48	48	48	48	48	48	適切
	活動指標 ④	ささえあいの仕組み作り協議会開催数	△		✓		✓		回	28	31	34	37	40	43	46	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる【%】	○	✓	✓		✓		%	-	35.0	37.0	40.0	42.0	44.0	45.0	適切
	成果指標 ②	障害者サポート講座、発達障害講座等受講者累計人数	△		✓		✓	✓	人	2,097	2,414	2,714	3,014	3,314	3,614	3,914	適切
	活動指標 ③	認知症サポーター養成講座受講者累計人数(累計)	△		✓		✓	✓	人	18,003	18,200	18,400	18,600	18,800	19,000	19,200	適切
	活動指標 ④	障害者サポート講座、発達障害講座等開催回数	△		✓		✓		回	4	5	6	6	7	7	8	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	コミュニティソーシャルワーク事業の地域団体等支援・連携件数	備考	総合判定、目標値設定の判定のとおり、所管部局案に同じ
指標②	成果指標(区民意識調査)	認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる【%】		

指標設定チェックシート

施策名	3-①-7	福祉人材の確保・支援と福祉サービスの質の向上
部課名	福祉部 高齢者福祉課 障害福祉課 介護保険課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
人材の確保によりサービスの 安定的な供給が図られ、 支援を必要とする人が適切で 良質なケアを受けることができ ている。	(1) <ul style="list-style-type: none"> ○ ハローワークや、「としま福祉事業協同組合」をはじめ、事業所と連携した就労フェアや就職相談会を実施するなど福祉人材の確保に努めます。 ○ 国籍や年齢を問わず、経験値や職層に合わせた様々な研修を実施します。また、介護に関する各種資格取得費用助成等の事業所支援や福祉人材の養成と定着に向けた取組みを充実します。 ○ サービス提供者、相談支援従事者等の業務軽減のため、介護ロボットやAI、ICTなどの活用について、普及促進に取り組みます。 ○ 将来に渡って福祉人材の安定的な参入を促進するため、中高生等の若年層を対象に福祉現場の体験や仕事の魅力を発信するなど、積極的な普及啓発を図ります。 	① 「支援を必要とする人に適切で良質なサービスが提供されている」にどちらかというと思うに回答する割合【%】	③ 介護職員の資格取得費用助成件数【件】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業所で働く職員の知識が向上し、サービスの質の向上につながっているか。 ○ 就職相談会に参加した人や、パンフレットをみた若者が、将来的に福祉の職に就職することになったか。 ○ 各種助成制度を利用することで、福祉人材の採用や定着が進んだか。
		② 介護に関する入門的研修の受講者アンケートで、「介護分野で働くことの不安が全てまたは少しは払拭された」と回答する割合【%】	④ 介護に関する入門的研修の修了者の人数【人】	
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者や障害者に対する不適切な対応や虐待を未然に防止するため、区民への普及啓発を図るとともに、事業者への研修や指導を実施します。 ○ 事業者に対しては、各種基準に沿った適正な運用、並びに利用者の自立支援に資する質の高いサービス提供がなされるよう、計画的な指導・支援を実施します。 ○ 利用者からの苦情に対しては、公平性を確保するため社会福祉協議会等の第三者機関が適正に対応します。また、区民が相談しやすいよう相談窓口を周知します。 ○ 養護者の介護負担を軽減するため、養護者向けの講座の開催や当事者間の相談及び情報交換ができる家族会等の活動を支援します。 	① 介護サービス及び障害福祉サービス指摘事項改善件数【件】	③ 介護事業所運営指導、障害福祉サービス事業者指導検査 実施件数【件】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導を受けた事業所が、より適正で質の高いサービスの提供ができるようになっていくか。
		② 高齢者・障害者虐待に関する相談受理件数【件】	④ 高齢者・障害者虐待防止対策講演会の年間参加者数【人】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「支援を必要とする人に適切で良質なサービスが提供されている」にどちらかというと思うに回答する割合	%	—	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0	30.0	新規	
	成果指標	②	「介護分野で働くことの不安が全てまたは少しは払拭された」と回答する割合	%	81.5	83.0	85.0	87.0	90.0	93.0	95.0	新規	
	活動指標	③	介護職員の資格取得費用助成件数	件	34	40	45	50	55	60	63	新規	
	活動指標	④	介護に関する入門的研修の修了者の人数	人	55	65	70	75	80	85	90	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	介護サービス及び障害福祉サービス指摘事項改善件数	件	288	291	291	304	304	317	317	新規	
	成果指標	②	高齢者・障害者虐待に関する相談受理件数	件	102	110	110	100	100	90	90	新規	
	活動指標	③	介護事業所運営指導、障害福祉サービス事業者指導検査 実施件数	件	73	80	80	85	85	90	90	新規	(障害のみ)3-1-3福祉サービスの質の向上と権利擁護の推進
	活動指標	④	高齢者・障害者虐待防止対策講演会の年間参加者数	人	193	200	200	210	210	220	220	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	協働のまちづくりに関する 区民意識調査による回答の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する 区民意識調査	
	成果指標	②	介護に関する入門的研修受講者へのアンケートによる回答の割合	研修受講により不安を払拭することで、介護の職場で働く意欲の向上につながる指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	介護職員の資格取得費用助成を行った件数	介護人材の資格取得を助成し、質を向上させるための活動指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	介護に関する入門的研修を受講し修了証を交付した人数	介護人材の増加を目指すための活動指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	指導後の介護サービス及び障害福祉サービス指摘事項改善報告の件数	指導の結果、介護サービス及び障害福祉サービスの質の改善を図った結果の指標であるため		所管課データ	
	成果指標	②	高齢者・障害者虐待に関する相談受理件数	事業者や養護者から対象者へ適切な介護が提供されていることを判断する指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	介護事業所運営指導、障害福祉サービス事業者指導検査 実施件数	適正化を図るための指導を行う活動指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	高齢者・障害者虐待防止対策講演会の年間参加者数	虐待の防止の取り組みに対する理解を示す指標であるため		所管課データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「支援を必要とする人に適切で良質なサービスが提供されている」にどちらかというと思うに回答する割合
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-②	高齢者・障害者虐待に関する相談受理件数

・区民の意見を直接確認でき、取り組みについての成果を図るにふさわしいため
 ・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	△	✓			✓			%	—	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0	30.0	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓		✓			%	81.5	83.0	85.0	87.0	90.0	93.0	95.0	適切
	活動指標 ③	△		✓		✓			件	34	40	45	50	55	60	63	適切
	活動指標 ④	△		✓		✓			人	55	65	70	75	80	85	90	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			件	288	291	291	304	304	317	317	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓					件	102	110	110	100	100	90	90	目標値が低すぎる
	活動指標 ③	○		✓		✓			件	73	80	80	85	85	90	90	適切
	活動指標 ④	○		✓		✓			人	193	200	200	210	210	220	220	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	「介護分野で働くことの不安が全てまたは少しは払拭された」と回答する割合	備考	「人材確保」の施策であるので、施策内容をストレートに表現している。虐待件数は重要指標ではあるが、そのまま計画掲載するにはネガティブな印象のため、指摘改善件数を指標とした。
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	介護サービス及び障害福祉サービス指摘事項改善件数		

指標設定チェックシート

施策名	3-②-1	健康に関する気づきの推進
部課名	健康部 地域保健課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す5年後の姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
すべての区民が自らの健康を意識し、健やかで心豊かな活力ある社会の実現	(1) ○ 区民が、自らの健康状態を認識し、生活習慣の改善などの行動変容に結びつけられるよう、健康に対する前向きなチャレンジを後押しする事業を展開します。 ○ 特定健診等は、区内160以上の医療機関で受診できること、また忙しい壮年層の区民でも受診可能な、平日夜間や土日、休日でも健診を受診できる医療機関もあることを医師会や医療機関等と連携して周知し、定期的な健診受診が自らの健康増進の元となることを広報します。 ○ 日常生活のなかで健康について気軽に取り組めること等、有益な健康情報に触れる機会を増やすことで、区民が無理なく楽しみながら、健康についての知識を深められ、それぞれの健康増進実現に資するよう支援します。	①	特定健診受診率	③	受診勧奨電話をした特定健診未受診者のうち、その後受診した人の割合	健康寿命の延伸や疾病の発症・重症化予防が、対象者の生活満足度や幸福感に与える影響
		②	糖尿病高リスクグループの保健指導申込割合	④	糖尿病予防保健指導実施者の1年間でのHbA1c値改善・維持率	
	(2) ○ 壮年層の検診受診率向上対策のため、「5がん検診のチケット一斉発送」「未受診者への再勧奨通知発送」等を継続しつつ、対象に即した新たな勧奨方法に取り組みます。 ○ 小児・AYA世代、治療と仕事の両立等、ライフステージに応じた支援を行い、がんに関心しても、自分らしく生きられるような環境整備を推進します。 ○ 区民がたばこによる健康被害について学ぶことができるよう、様々な媒体を通じて啓発に取り組みます。 ○ 禁煙支援について、全ての喫煙者に禁煙外来治療費助成の対象を拡大することで区民の健康増進を図ります。	①	「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」と思う区民の割合	③	がんに関する知識の普及啓発事業の開催回数	区全体として健康的な生活習慣を重視する文化や意識がどれだけ高まったかの質的評価
		②	「週3回以上朝食を抜く」人の割合	④	「健康チャレンジポイントを付与する講座開催」に関する他課/他Gからの申請件数	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
		実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	特定健診受診率	%	35.0	37.0	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0	継続	3-3-1がん・生活習慣病対策等の推進
	成果指標 ②	糖尿病高リスクグループの保健指導申込割合	%	46.3	49.5	49.6	49.7	49.8	49.9	50.0	新規	
	活動指標 ③	受診勧奨電話をした特定健診未受診者のうち、その後受診した人の割合	%	54.2	54.5	54.8	55.1	55.4	55.7	56.0	新規	
	活動指標 ④	糖尿病予防保健指導実施者の1年間でのHbA1c値改善・維持率	%	83.2	83.7	83.9	84.1	84.3	84.5	84.7	新規	
取組方針(2)	成果指標 ①	「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」と思う区民の割合	%	55.3	59.5	60.0	60.5	61.0	61.5	62.0	継続	3-3-1がん・生活習慣病対策等の推進
	成果指標 ②	「週3回以上朝食を抜く」人の割合	%	男性:18.6% 女性:13.2%	男性:18.5% 女性:13.0%	男性:18.0% 女性:12.5%	男性:17.5% 女性:12.0%	男性:17.0% 女性:11.5%	男性:16.5% 女性:11.0%	男性:16.0% 女性:10.5%	新規	
	活動指標 ③	がんに関する知識の普及啓発事業の開催回数	回	2	2	2	2	2	2	2	新規	
	活動指標 ④	「健康チャレンジポイントを付与する講座開催」に関する、他課/他Gからの申請件数	G	7	8	8	9	9	10	10	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針(1)	成果指標 ①	特定健診受診率	区民の健康意識の向上や健康行動の実施状況を測る指標であるため		豊島区の保健衛生
	成果指標 ②	糖尿病高リスクグループの保健指導申込割合	内服治療を開始している糖尿病患者の生活習慣の改善や治療継続をサポートすることで、病状の悪化や透析を防止、QOLの高い生活の持続および医療コスト低減を測る指標であるため		(目標値)第三期データヘルス計画(実績)所管課データ
	活動指標 ③	受診勧奨電話をした特定健診未受診者のうち、その後受診した人の割合	受診勧奨電話によって特定健診受診率向上を図ることで、電話勧奨の効果の評価し、リソースの有効活用や行動変容の促進、より効果的なターゲティング手法の検討を行うための指標であるため		所管課データ
	活動指標 ④	糖尿病予防保健指導実施者の1年間でのHbA1c値改善・維持率	健康状態の改善を図り、糖尿病重症化予防や健康寿命の延伸を目指す指標であるため		(目標値)第三期データヘルス計画(実績)所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ①	「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」と思う区民の割合	全ての人が健康に関する知識を得る機会を増やし、適切な健康行動を取れる環境改善のための、全体的な健康水準を示す指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査報告書
	成果指標 ②	健康的な生活習慣の一つである「週3回以上朝食を抜く」人の割合	健康維持のためには健康的な生活習慣が重要であり、その中でも食事は健康に直接影響を与え、健康問題を予防する上での指標となるため		(目標値)第三期データヘルス計画(実績)所管課データ
	活動指標 ③	がん対策推進特別講演会、小児・AYA世代がん啓発チャリティーライブの開催回数	がんに関する正しい知識の普及啓発や、わかりやすい情報提供の機会を示す指標であるため		所管課データ
	活動指標 ④	「健康チャレンジポイントを付与する講座開催」に関する他課/他Gからの申請件数	健康増進プログラムの普及度を測定する指標であるため		所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	活動指標 (1)-③	受診勧奨電話をした特定健診未受診者のうち、その後受診した人の割合	・健康教育や二次予防推進活動の効果を測定し、事業の有効性を確認することができると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査) (2)-①	「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」と思う区民の割合	・早期発見と予防による医療コストの削減効果を示し、持続可能な健康政策の実現を目指すことができるため。

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ① 特定健診受診率	◎	✓	✓		✓	✓	%	35.0	37.0	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0	適切	
	成果指標 ② 糖尿病高リスクグループの保健指導申込割合	△		✓				%	46.3	49.5	49.6	49.7	49.8	49.9	50.0	適切	
	活動指標 ③ 受診勧奨電話をした特定健診未受診者のうち、その後受診した人の割合	△		✓					%	54.2	54.5	54.8	55.1	55.4	55.7	56.0	適切
	活動指標 ④ 糖尿病予防保健指導実施者の1年間でのHbA1c値改善・維持率	○	✓	✓					%	83.2	83.7	83.9	84.1	84.3	84.5	84.7	適切
取組方針(2)	成果指標 ① 「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」と思う区民の割合	○	✓	✓			✓	%	55.3	59.5	60.0	60.5	61.0	61.5	62.0	適切	
	成果指標 ② 「週3回以上朝食を抜く」人の割合	△		✓				%	男性:18.6% 女性:13.2%	男性:18.5% 女性:13.0%	男性:18.0% 女性:12.5%	男性:17.5% 女性:12.0%	男性:17.0% 女性:11.5%	男性:16.5% 女性:11.0%	男性:16.0% 女性:10.5%	適切	
	活動指標 ③ がんに関する知識の普及啓発事業の開催回数	○	✓	✓					回	2	2	2	2	2	2	2	目標値が低すぎる
	活動指標 ④ 「健康チャレンジポイントを付与する講座開催」に関する、他課/他Gからの申請件数	△			✓				G	7	8	8	9	9	10	10	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	特定健診受診率	備考	所管案: 受診勧奨電話をした特定健診未受診者のうち、その後受診した人の割合 ↓ 特定健診受診率は分かりやすく、対象幅も広い指標のため
指標②	成果指標(区民意識調査)	「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」と思う区民の割合		

指標設定チェックシート

施策名	3-②-2	こころと体の健康づくりの推進
部課名	健康部 健康推進課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
バランスの良い食生活や運動習慣などの健康的な生活習慣が定着し、ライフステージに応じた健康づくりが充実し、こころの健康への理解や支え合いがすすんでいる	(1) <ul style="list-style-type: none"> ○気軽に自分や家族の健康について相談・学習できる機会を増やすなど、若年期からの生涯を通じた健康づくり、女性特有の疾患、ホルモンバランスの変化やプレコンセプションケア等について新保健所の健康センター機能として拡充し、積極的に情報発信を行ない、子育て世代が参加しやすい保育付き講座を開催します。 ○年代や生活にあわせた適切な量と栄養が摂れる食生活、歯科疾患の予防と口腔機能維持などの歯と口腔の健康づくり、スポーツを楽しみながら運動を続けるなど、健康的な生活習慣を身につける取り組みをすすめ、健康寿命の延伸を目指します。 ○関連機関や民間企業、大学などと連携して健康づくりを推進し、情報発信や健診の外国語対応も強化していきます。 	① 「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」と思う区民の割合【%】	③ 女性のしなやか健康づくり事業参加人数【人】(骨太健診受診者・女性の健康相談・女性の健康教室・講座・セミナー利用者数)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性や若者が健康的にいきいきと生活できているか ・区民が運動や散歩を積極的に日常生活習慣に取り入れているか ・食生活を気にしたり、歯磨き習慣が身についているか
		② 区民の健康寿命【歳】	④ 生活習慣病予防事業参加人数【人】(生活習慣病予防健診受診者・歯科健康教育・メタボ予防教室)	
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ○メンタルヘルスに対する正しい知識とストレス対処方法などのセルフケアや周囲の方が見守る方法を周知するなど、こころの健康に対する理解の普及啓発に取り組みます。 ○メンタルヘルスの問題を抱える家族や同僚の悩みや変化に気づき、見守りができるゲートキーパーや心のサポーターを養成して、早期に発見・相談しやすい体制づくりに取り組み、こころのちを支え合う自殺・うつ予防対策を進めます。 	① 「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」と思う区民の割合【%】	③ こころの健康づくり事業参加人数【人】(精神保健福祉講演会・こころまつり・精神保健福祉ボランティア講座)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや心のサポーターが地域で活動できているか
		② 心のサポーター、ゲートキーパー養成数【人】	④ メンタルヘルス相談窓口リーフレットの配布数【部】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
		実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」と思う区民の割合	%	16.8	17.5	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	継続	3-3-2 ころと体の健康づくりの推進
	成果指標 ②	区民の健康寿命(65歳健康寿命)	歳	男性80.72 女性82.80 (2022)	男性80.82 女性82.83	男性80.92 女性82.85	男性81.02 女性82.87	男性81.12 女性82.89	男性81.22 女性82.91	男性81.25 女性82.93	新規	
	活動指標 ③	女性のしなやか健康づくり事業参加人数(骨太健診受診者・女性の健康相談・女性の健康教室・講座・セミナー利用者数)	人	1,206	1,220	1,235	1,250	1,265	1,280	1,300	新規	
	活動指標 ④	生活習慣病予防事業参加人数(生活習慣病予防健診受診者・歯科健康教育・メタボ予防教室)	人	346	355	360	365	370	375	380	新規	
取組方針(2)	成果指標 ①	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」と思う区民の割合	%	16.8	17.5	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	継続	3-3-2 ころと体の健康づくりの推進
	成果指標 ②	心のサポーター、ゲートキーパー養成数(累計)	人	3,603	3,743	3,883	4,023	4,163	4,303	4,443	新規	
	活動指標 ③	ころの健康づくり事業参加人数(精神保健福祉講演会・ころまつり・精神保健福祉ボランティア講座)	人	734	740	745	750	755	760	765	新規	
	活動指標 ④	メンタルヘルス相談窓口リーフレットの配布数	部	34,414	34,450	34,500	34,550	34,600	34,650	34,700	新規	

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針(1)	成果指標 ① 区民意識調査において、同質問に「どちらかというと思う」と回答した区民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ② 区民の健康寿命(65歳健康寿命「東京都保健所長会方式」65歳の方が要支援1以上の認定を受けるまでの自立期間を足した寿命)	施策によって区民の健康度がどう変化したかを把握できる指標であるため	東京都データ
	活動指標 ③ 女性のしなやか健康づくり事業参加人数(骨太健診受診者・女性の健康相談・女性の健康教室・講座・セミナー利用者数)	健康的な生活習慣づくりの行動をしている区民の数を示す指標であるため	所管課データ
	活動指標 ④ 生活習慣病予防事業参加人数(生活習慣病予防健診受診者・歯科健康教育・メタボ予防教室)	健康的な生活習慣づくりの行動をしている区民の数を示す指標であるため	所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ① 区民意識調査において、同質問に「どちらかというと思う」と回答した区民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ② 心のサポーター、ゲートキーパー養成講座参加人数の累計	地域の見守り体制の構築状況を示す指標であるため	所管課データ
	活動指標 ③ ころの健康づくり事業参加人数(精神保健福祉講演会・ころまつり・精神保健福祉ボランティア講座)	メンタルヘルスの正しい知識と理解を持つための行動をしている区民を示す指標であるため	所管課データ
	活動指標 ④ メンタルヘルスに関する相談窓口を掲載しているリーフレット等の配布数	メンタルヘルスの相談窓口情報を得る機会を提供する活動量を示す指標であるため	所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-① (2)-①	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」と思う区民の割合【%】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-②	区民の健康寿命	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」と思う区民の割合	◎	✓	✓		✓	%	16.8	17.5	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	適切	
	成果指標 ②	区民の健康寿命(65歳健康寿命)	◎	✓	✓		✓	✓	歳	男性80.72 女性82.80 (2022)	男性80.82 女性82.83	男性80.92 女性82.85	男性81.02 女性82.87	男性81.12 女性82.89	男性81.22 女性82.91	男性81.25 女性82.93	適切
	活動指標 ③	女性のしなやか健康づくり事業参加人数(骨太健診受診者・女性の健康相談・女性の健康教室・講座・セミナー利用者数)	○	✓	✓				人	1,206	1,220	1,235	1,250	1,265	1,280	1,300	適切
	活動指標 ④	生活習慣病予防事業参加人数(生活習慣病予防健診受診者・歯科健康教育・メタボ予防教室)	○	✓	✓				人	346	355	360	365	370	375	380	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」と思う区民の割合	◎	✓	✓		✓	%	16.8	17.5	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	適切	
	成果指標 ②	心のサポーター、ゲートキーパー養成数(累計)	○	✓	✓				人	3,603	3,743	3,883	4,023	4,163	4,303	4,443	適切
	活動指標 ③	こころの健康づくり事業参加人数(精神保健福祉講演会・こころまつり・精神保健福祉ボランティア講座)	○	✓	✓				人	734	740	745	750	755	760	765	適切
	活動指標 ④	メンタルヘルス相談窓口リーフレットの配布数	×						部	34,414	34,450	34,500	34,550	34,600	34,650	34,700	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」と思う区民の割合	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	区民の健康寿命(65歳健康寿命)		

指標設定チェックシート

施策名	3-②-3	健康危機管理の強化
部課名	健康部 生活衛生課、保健予防課、健康推進課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／数値化できない評価の視点	
<p>○感染症のまん延防止や食中毒予防の体制が強化され、安心して住み続けられる。</p> <p>○熱中症予防のための行動ができて、夏季も健康を保つことができる。</p>	<p>(1)</p> <p>○ 感染症流行に関するSNS等を活用した的確な情報発信、感染症予防の正しい知識の普及啓発、予防接種を推進し、様々な感染症のまん延を防止、区民の生命及び健康を保護します。</p> <p>○ 平常時から、必要な資材の整備・備蓄に努めるとともに、医師会等と連携して地域医療体制の整備や感染症対応訓練等を実施し、脅威となる感染症のパンデミック(世界的大流行)発生時に迅速な対応ができるように備えます。</p> <p>○ パンデミック発生時には、疫学調査の実施等により感染拡大防止を図るとともに、状況に応じた保健指導・療養支援を行い、安心して療養できる環境をつくり、区民の社会生活への影響を最小限にします。</p>	① 「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」と思う区民の割合【%】	③ 感染症対策研修、訓練実施回数	<p>感染症流行時に、段階に応じた対策がとれているか。感染者が安心して療養できているか。</p>	
		② 定期予防接種(A類)平均接種率【%】	④ 各種定期接種及び任意接種の予診票・接種証明書などの電子申請件数		
		<p>(2)</p> <p>○ 小規模や外国人の事業者でもHACCPに沿った衛生管理を実施できるよう導入と定着を支援するとともに、取組状況確認のため、監視指導を強化します。</p> <p>○ HACCPに沿った衛生管理の導入と定着支援のため、事業者に対しHACCPに沿った衛生管理に関する講習会を開催します。</p> <p>※HACCP…食品製造・加工工程の国際的な食品衛生管理基準・安全管理基準</p>	① 「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」と思う区民の割合【%】	③ 講習会実施回数	<p>講習会を受講した人がどの程度まで理解を深めることができたか。</p>
			② 食中毒発生件数【件】	④ 有症苦情の処理件数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値			
取組方針(1)	成果指標	① 「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」と思う区民の割合【%】	%	38.3	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0	継続	3-3-3健康危機管理の強化
	成果指標	② 定期予防接種(A類)平均接種率【%】	%	88.1	88.5	89.0	89.5	90.0	90.5	91.0	新規	
	活動指標	③ 感染症対策研修、訓練実施回数	回	1	2	2	2	3	3	3	新規	
	活動指標	④ 各種定期接種及び任意接種の予診票・接種証明書などの電子申請件数	件	0	300	390	507	583	671	872	新規	
取組方針(2)	成果指標	① 「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」と思う区民の割合【%】	%	38.3	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0	継続	3-3-3健康危機管理の強化
	成果指標	② 食中毒発件数	件	5	5	5	5	5	5	5	新規	
	活動指標	③ 講習会実施回数	回	31	32	33	34	35	36	37	新規	
	活動指標	④ 有症苦情の処理件数	件	63	46	45	44	43	42	41	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針(1)	成果指標	① 「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」というと「どちらかというと思う」と回答した人の割合	施策に対する区民の意識・不安の程度を把握できる指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標	② 定期予防接種(A類)平均接種率【%】	予防接種の接種状況を把握できる指標であるため	所管課データ
	活動指標	③ 施設職員向け研修、個人防護具の着脱・陰圧テントの立ち上げ等訓練の実施回数	正しい知識の普及啓発、初動対応訓練等の活動量を示す指標であるため	所管課データ
	活動指標	④ 各種定期接種及び任意接種の予診票・接種証明書などの電子申請件数	各種申請のアクセシビリティや接種率向上の指標となるため	所管課データ
取組方針(2)	成果指標	① 「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」というと「どちらかというと思う」と回答した人の割合	区民が健康・保健に関する生活環境について評価している指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標	② 食中毒発件数	飲食による衛生上の危害発生防止を評価できる指標であるため	豊島区の保健衛生
	活動指標	③ 食品等事業者及び消費者を対象にした講習会の実施回数	食中毒予防に関わる理解を深める機会を提供する活動量を示す指標であるため	豊島区の保健衛生
	活動指標	④ 有症苦情の処理件数	区民からの飲食を起因とする苦情を把握できる指標であるため	豊島区の保健衛生

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-① (2)-①	「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」と思う区民の割合	・取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を包括的に表しているため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-②	定期予防接種(A類)平均接種率【%】	

指標設定チェックシート

施策名	3-②-3	健康危機管理の強化
部課名	健康部 生活衛生課、保健予防課、健康推進課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価				定性的評価	
		成果指標		活動指標		数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>○感染症のまん延防止や食中毒予防の体制が強化され、安心して住み続けられる。</p> <p>○熱中症予防のための行動ができて、夏季も健康を保つことができる。</p>	(1)	<p>○ 区民ひろばなど区の施設を涼みどころとして開放するとともに、さまざまな媒体を活用した熱中症予防策の積極的な呼びかけ、一人暮らし高齢者への個別訪問による注意喚起を行うなど、夏季の健康管理や地域での見守りを推進します。</p>	①	熱中症救急搬送数【人】	③	熱中症予防策の情報発信【回】	<p>熱中症予防策の情報を得た人がどのくらい理解して、積極的に予防策をとっているか。</p>
			②		④		
	(2)		①		③		
			②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針 (3)	成果指標	①	熱中症救急搬送	人	156 (2022)	160	165	160	155	150	145	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	②	熱中症予防策の情報発信	回	11	15	17	20	22	25	27	新規	
	活動指標	④											
取組方針	成果指標	①											
	成果指標	②											
	活動指標	③											
	活動指標	④											

指標		指標の算出方法			指標の設定理由(施策目標との関係)			出典		
取組方針 (1)	成果指標	①	熱中症のため救急搬送された人数			熱中症の発生状況を把握できる指標であるため			救急活動の現況 (東京消防庁)	
	成果指標	②								
	活動指標	③	熱中症予防策について情報発信した回数(広報、HP、SNS、サイネージ等)			熱中症に対する予防策に注意喚起の活動量を示す指標であるため			所管課データ	
	活動指標	④								
取組方針 (2)	成果指標	①								
	成果指標	②								
	活動指標	③								
	活動指標	④								

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1				
2				

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すま ちの姿や取 組方針を 適切に表し ている	②データや 算定方法 の信頼性が 高い	③豊島区 らしさを表し ている	④指標自 体がポジ ティブな印 象である	⑤国・都の 計画等で 目標の方 向性が示さ れている	⑥現計画と 継続する指 標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定 の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓		✓		✓	%	38.3	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓		✓			%	88.1	88.5	89.0	89.5	90.0	90.5	91.0	適切
	活動指標 ③	△		✓		✓			回	1	2	2	2	3	3	3	適切
	活動指標 ④	△		✓					件	0	300	390	507	583	671	872	目標値が高すぎる
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓		✓		✓	%	38.3	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓					件	5	5	5	5	5	5	5	適切
	活動指標 ③	△		✓					回	31	32	33	34	35	36	37	適切
	活動指標 ④	△		✓					件	63	46	45	44	43	42	41	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「感染症や食中毒等に不安を感じることが少ない」と思う区民の割合【%】	備考	所管部局案を採用
指標2	成果指標(区民意識調査以外)	定期予防接種(A類)平均接種率【%】		

指標設定チェックシート

施策名	3-②-4	地域医療体制の充実
部課名	健康部 地域保健課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価			
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点			
<p>○多職種連携による在宅医療提供体制により、区民が住み慣れた地域で自分らしく健康に暮らし続けることができる。</p> <p>○大規模災害時においても、医療機能が確保され、医療救護活動が円滑に実施できる体制を構築する。</p>	<p>(1) ○ 高齢化の進展に伴う医療・介護ニーズの変化を的確に捉え、地域医療機関等と連携し、地域で医療と福祉を切れ目なく提供できる体制の確保を推進します。</p> <p>○ かかりつけ医制度の啓発及びICTを活用した地域医療機関とのさらなる連携強化により、希望する場所で適切な医療サービスを受けられる体制を構築します。さらに、在宅医療24時間診療体制の構築を進めます。</p> <p>○ 本区は一般診療所が多く、身近な医療資源は豊富です。地域の医療資源を有効に活用し、在宅医療を望む区民が安心して自宅で療養できるよう、在宅医療・介護ニーズに応える、かかりつけ医を増やします。また、区民に対し、希望すれば住み慣れた場所での療養も可能であることを周知していきます。</p>	①	「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられると思う」と思う区民の割合【%】	③	専門職向け研修の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ・病院ではなく在宅という選択肢があると啓発することができたか ・在宅医療を受けるために、かかりつけ医を持つことが大事である啓発できたか ・研修を通じて、多職種の顔の見える関係が構築されたか ・研修により、医療介護従事者のスキルが向上したか ・区にある医療資源の周知啓発ができたか 	
		②		④	区民公開講座の開催回数		
	<p>(2) ○ 災害発生により負傷した区民に迅速かつ適切な医療を提供するため、緊急医療救護所開設等の訓練を継続実施し、区内病院や医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護師会などの関係機関との連携を強化していきます。</p> <p>○ 訓練を実施する中で、資器材の不足や各種マニュアル等の更新の必要性といった課題が浮き彫りになることが想定されます。こうした課題に対して、豊島区災害医療検討会議(災害医療コーディネーター、上記関係機関、警察・消防、区職員などで構成する会議体)で改善策を検討し、それを実行に移していくことで、災害医療体制の更なる強化をしていきます。</p>	①	医療救護活動従事者登録数	③	災害医療訓練実施回数		<ul style="list-style-type: none"> ・訓練内容を理解し、発災時の行動に移すことができるか ・改善点を医療救護活動マニュアル等に反映できたか
		②		④	豊島区災害医療検討会議の開催回数		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	新基本計画期間(2025-2029)								後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
		2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられると思う」と思う区民の割合	%	49.2	49.4	49.6	49.8	50.0	50.2	50.4	継続	3-3-4地域医療体制の充実
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	専門職向け研修の開催回数	回	10	10	10	10	10	10	10	継続	3-3-4地域医療体制の充実
	活動指標 ④	区民公開講座の開催回数	回	4	4	4	4	4	4	4	継続	3-3-4地域医療体制の充実
取組方針(2)	成果指標 ①	医療救護活動従事者登録数	人	202	173	210	215	220	225	230	継続	3-3-3健康危機管理の強化
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	災害医療訓練実施回数	回	4	5	5	5	5	5	5	継続	3-3-3健康危機管理の強化
	活動指標 ④	豊島区災害医療検討会議の開催回数	回	0	1	2	2	2	2	2	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針(1)	成果指標 ①	区民意識調査の質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	区民が安心して地域医療を受けることができると感じる客観的指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②			
	活動指標 ③	介護支援専門員など在宅療養を担う専門職を対象とした在宅医療コーディネーター研修等の実施回数	研修開催回数は従事者のスキルアップを図る指標であるため	所管課データ
	活動指標 ④	在宅療養に関する区民向け講座の実施回数	在宅療養に関する知識を深める区民公開講座の実施状況の指標であるため	所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ①	発災時に緊急医療救護所等への従事を事前登録している医師・看護師・歯科医師・薬剤師等の医療従事者の人数	災害時等に従事できる医療従事者の人数を示す指標であるため。	所管課データ
	成果指標 ②			
	活動指標 ③	当該年度の訓練実施回数	災害時等の医療体制整備のための活動量を示す指標であるため。	所管課データ
	活動指標 ④	当該年度の会議開催件数	災害時等の医療体制整備のための活動量を示す指標であるため。	所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」と思う区民の割合【%】	・「身近な場所で」「安心して」といったキーワードを含んだ質問項目に対する調査回答であり、施策の成果を図るために最も適切であるため。 ・緊急医療救護所等において、迅速かつ適切に医療救護活動を行うには、多くの医療従事者が必要であり、事前に登録された医療従事者数を増やすことが地域医療体制の充実に寄与するため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	医療救護活動従事者登録数【人】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓		✓		✓	%	49.2	49.4	49.6	49.8	50.0	50.2	50.4	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	△		✓				✓	回	10	10	10	10	10	10	10	目標値が低すぎる
	活動指標 ④	△		✓				✓	回	4	4	4	4	4	4	4	目標値が低すぎる
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓		✓		✓	人	202	173	210	215	220	225	230	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	○	✓	✓				✓	回	4	5	5	5	5	5	5	適切
	活動指標 ④	○	✓	✓					回	0	1	2	2	2	2	2	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられると思う」と思う区民の割合	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	医療救護活動従事者登録数		

指標設定チェックシート

施策名	4-①	地域文化・伝統文化の継承と発展
部課名	文化商工部 文化デザイン課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
地域の文化資源が適切に保存され、持続的に活用されることで、区民が積極的に文化芸術活動に参加・鑑賞し、次々に文化の担い手が生まれることを目指します。また、誰もが伝統文化や地域文化に誇りと愛着を持てる社会を実現します。	(1) ○豊島区には、自由学園明日館や雑司が谷鬼子母神堂といった国指定重要文化財、雑司が谷旧宣教師館などの都指定有形文化財、鈴木信太郎記念館をはじめとする区指定有形文化財があります。これらの文化財の歴史的価値を守りつつ、体験型のイベントなど、現代に適した方法を通じて、その持続的な活用を推進します。 ○豊島区特有の資料については、新たな展示方法の検討、デジタル化の推進を通じて、広く情報を発信し、文化財の継承と積極的な活用を図ります。これにより、地域文化のさらなる発展に貢献し、文化の魅力を次世代へと引き継ぎます。	①	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館・昭和レトロ館の来館者数【人】	③	郷土資料館、雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館、昭和レトロ館で行われたワークショップ・イベントの参加者数【人】	評価基準1: 企画展の魅力と参加者の反応 ・参加者からのフィードバックやアンケート結果を収集し、満足度や興味を測定。
		②		④	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】	
	(2) ○長崎獅子舞や富士元囃子、伝統工芸、池袋モンパルナスなど、豊島区に根付く多様な地域文化を継承し、その魅力を広く発信していきます。 ○地域文化が次世代に継承されるよう、区民の誇りや愛着を高めるための取り組みを、地域住民や様々な団体との連携を通じて強化していきます。年齢、性別、国籍などに関係なく、幅広く地域の文化活動に参加してもらい、文化を愛する人々を増やすことで、地域の文化の担い手が育つ好循環を生み出します。	①	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」と思う区民の割合【%】	③	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】	
		②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
		実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館・昭和レトロ館の来館者数【人】	人	97,099	102,000	108,000	114,000	120,000	127,000	134,000	新規	
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	郷土資料館、雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館で行われたワークショップ・イベントの参加者数【名】	名	247	260	280	300	320	340	360	新規	
	活動指標 ④	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】	件	64.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	新規	
取組方針(2)	成果指標 ①	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」と思う区民の割合【%】	%	33.1	34.2	35.3	36.4	37.6	38.8	40.0	継続	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】	件	64.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	新規	
	活動指標 ④											

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針(1)	成果指標 ①	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館・昭和レトロ館の来館者数【人】	施設の来館者数は、地域文化資源への関心度や利用状況を直接反映するため、施設の魅力や情報発信の効果を評価する指標として適している。		所管課データ
	成果指標 ②				
	活動指標 ③	郷土資料館、雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館で行われたワークショップ・イベントの参加者数【人】	ワークショップやイベントの参加者数は、地域文化の体験機会の提供状況と区民の参加意欲を示し、文化活動への積極的な関与を評価できる。		所管課データ
	活動指標 ④	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】	SNSの投稿数は、情報発信の効果と区民や広範な視聴者層への関心度を把握できる。		所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ①	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」と思う区民の割合【%】	区民が地域の歴史的財産である文化財や文化資源に対して、どれだけ関心を持ち、保存や活用が適切に行われていると感じているかを測る指標として適している。		協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②				
	活動指標 ③	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】	SNSの投稿数は、情報発信の効果と区民や広範な視聴者層への関心度を把握できる。		所管課データ
	活動指標 ④				

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館・昭和レトロ館の来館者数【人】	・(1)-①は、来館者数の把握は、文化施設が区民等にとって魅力的であり、地域文化の保存・活用が効果的に行われていることを示す。また、来館者数のデータは具体的で測定しやすく、施策の成果を客観的に評価するための信頼性の高い指標である。
2	成果指標(区民意識調査)	(1)-②	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」と思う区民の割合【%】	・(1)-②は、区民が地域の歴史的財産である文化財や文化資源に対して、どれだけ関心を持ち、保存や活用が適切に行われていると感じているかを測る指標として適しており、過年度からの比較もできることから、信頼性の高い指標である。

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館・昭和レトロ館の来館者数【人】	◎	✓	✓		✓	人	97,099	102,000	108,000	114,000	120,000	127,000	134,000	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	郷土資料館、雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館で行われたワークショップ・イベントの参加者数【名】	○	✓		✓		名	247	260	280	300	320	340	360	適切
	活動指標 ④	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】	△	✓		✓		件	64.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	目標値が高すぎる
取組方針(2)	成果指標 ①	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」と思う区民の割合【%】	◎	✓	✓		✓	%	33.1	34.2	35.3	36.4	37.6	38.8	40.0	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】	△	✓		✓		件	64.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	目標値が高すぎる
	活動指標 ④															

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館・昭和レトロ館の来館者数【人】	備考	所管部局案を採用。
指標②	成果指標(区民意識調査)	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」と思う区民の割合【%】		

指標設定チェックシート

施策名	4-②	文化芸術への参加・創造の機会の創出
部課名	文化商工部 文化デザイン課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
区民が地域文化に誇りを持ち、愛着を深め、文化活動への参加が生活の一部となる。文化芸術に関わるすべての人々がいきいきと活動し、そこで生まれた地域文化が次世代に継承される。	(1) ○「としま文化の日」を中心に、公民連携を強化し、地域の文化施設を最大限に活用して魅力的な文化事業を展開します。また、近年の法改正等を踏まえ、障害者や子ども、外国人など、多様な背景を持つすべての人々が楽しめる、魅力的な文化鑑賞の機会を提供します。 ○VRやオンライン配信など、時代に合った最新技術を活用することで、文化事業に直接参加できない人々にも、気軽に文化に触れる機会を提供します。これにより、場所や時間の制約を超えて、誰もが文化を楽しめる環境を整えます。	①	「文化芸術に触れる機会が多くなった」と思う区民の割合【%】	③	区立劇場、ホールの年間来場者数【万人】	評価基準1: 文化施設の活用度 ・施設利用者からのフィードバックやアンケートを通じて、利用満足度を測定。 評価基準2: 「としま文化の日」の効果 ・「としま文化の日」に開催されたイベントの数と参加者数を評価。 ・イベントの質や魅力についての参加者からのフィードバックを収集。 評価基準3: 次世代の文化芸術の担い手の育成 ・若年層の文化芸術活動への参加状況を評価。 ・子どもや若者向けのプログラムやイベントの実施状況と、その参加者からの反応を調査。
		②		④	公民連携による文化事業の実施件数【件】	
	(2) ○これまで育んできたとしまの文化を継承しつつ、新たなジャンルの文化も積極的に受け入れ、その多様な魅力を広げていきます。特に、若い世代の自由な発想力や創造力を活かした事業を支援し、新たな文化を創造し続ける環境の構築に取り組めます。 ○これまで築いてきた「区民が区民の文化活動を応援し支える」精神を大切にしながら、地域全体で文化を育て、支え合い、豊島区の文化発展をさらに推進していきます。	①		③	障害者や子ども向けの文化体験プログラム開催回数【回】	
		②		④	教育機関との連携プロジェクト数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
		実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	「文化芸術に触れる機会が多くなった」と思う区民の割合【%】	%	34.6	37.0	39.0	42.0	45.0	47.0	50.0	継続	施策8-1-1
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	区立劇場、ホールの年間来場者数【万人】	万人	40.9	42.4	44.0	45.7	47.4	49.1	50.9	継続	施策8-1-1
	活動指標 ④	公民連携による文化事業の実施件数【件】	件	-	5	5	5	5	5	5	新規	
取組方針(2)	成果指標 ①											
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	障害者や子ども向けの文化体験プログラム開催回数【回】	回	-	-	-	-	-	-	-	新規	
	活動指標 ④	教育機関との連携プロジェクト数【件】	件	-	-	-	-	-	-	-	新規	

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針(1)	成果指標 ① 「文化芸術に触れる機会が多くなった」と思う区民の割合【%】	施策に対する区民の印象を把握できる指標であり、施策の実効性を評価できる。	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②		
	活動指標 ③ 区立劇場、ホールの年間来場者数【万人】	施設の年間来場者数は、文化施設の活用状況と地域住民の文化活動への参加度を評価できる。	所管課データ
	活動指標 ④ 公民連携による文化事業の実施件数【件】	官民の協力関係の強化(連携の広がり)と文化事業の多様性を測定することができる。	所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ①		
	成果指標 ②		
	活動指標 ③ 障害者や子ども向けの文化体験プログラム開催回数【回】	障害者や子どもが参加できる文化体験プログラムの開催は、誰もが文化に触れる機会を提供するための具体的な手段であり、文化活動へのアクセスのしやすさや機会提供の実績を評価できる。	所管課データ
	活動指標 ④ 教育機関との連携プロジェクト数【件】	教育機関との連携により、通常の文化事業では一歩すすんでいく子どもや学生層にも文化活動を広めることができる。これにより、文化事業の普及が一層促進され、その効果を評価することが可能である。	所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「文化芸術に触れる機会が多くなった」と思う区民の割合【%】	・(1)-①の成果指標は、区民が文化芸術に触れる機会が増えたと感じることは、施策が実際に区民の生活に影響を与えていることを反映すると考えられる。文化施設の利用状況やイベント参加率などの客観的な指標と組み合わせることで、施策の効果を総合的に把握する有用な指標となる。 ・(1)-①の活動指標は、施設の年間来場者数は、文化施設の活用状況と地域住民の文化活動への参加度を評価でき、機会提供の実績として有用な指標と評価できる。
2	活動指標	(1)-①	区立劇場、ホールの年間来場者数【万人】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	「文化芸術に触れる機会が多くなった」と思う区民の割合【%】	◎	✓	✓		✓	%	34.6	37.0	39.0	42.0	45.0	47.0	50.0	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	区立劇場、ホールの年間来場者数【万人】	◎	✓	✓		✓	万人	40.9	42.4	44.0	45.7	47.4	49.1	50.9	適切
	活動指標 ④	公民連携による文化事業の実施件数【件】	△	✓			✓	件	-	5	5	5	5	5	5	目標値が低すぎる
取組方針(2)	成果指標 ①															
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	障害者や子ども向けの文化体験プログラム開催回数【回】	△	✓			✓	回	-	-	-	-	-	-	-	今後設定予定
	活動指標 ④	教育機関との連携プロジェクト数【件】	△	✓			✓	件	-	-	-	-	-	-	-	今後設定予定

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「文化芸術に触れる機会が多くなった」と思う区民の割合【%】	備考	所管部局案を採用。 指標2は活動指標でなく、成果指標の扱いではないか。
指標2	成果指標(区民意識調査以外)	区立劇場、ホールの年間来場者数【万人】		

指標設定チェックシート

施策名	4-③	学習活動の支援を通じた生涯学習の推進
部課名	文化商工部 学習・スポーツ課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>○ いつでもどこでも自分に合った方法で学べる環境が整い、多様な学びの機会が広がっている。</p> <p>○ 学びの成果を次の活動に活かし、人と地域資源の循環(わ)が生まれることで、地域コミュニティが活性化し、新しいアイデアと活力に満ちた変化が実現している。</p>	(1)	○ 地域文化創造館や図書館を、障害の有無、年齢等にかかわらず、誰もがより利用しやすい生涯学習の場として整備します。	① 地域文化創造館の利用率【%】	③ としまコミュニティ大学講座実施回数【回】	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学校以外の学びに参加している事例
		○ 関係団体・大学・企業などとの連携・協働により、生涯学習施設をハブとした学びの循環を生み出します。	② 「地域文化創造館で実施している事業に参加したことがある」と回答した人の割合【%】	④	
	(2)	○ 最新のデジタル技術やリモート学習ツールを導入し、オンラインとオフラインの両方で学べる環境を整え、日本語を母語とする・しない等に関わらず、誰もが学ぶ機会を得られるよう取り組みます。	① 「学んだことを地域で生かして活動をしている」と思う区民の割合【%】	③ 学習成果の発表機会数【回】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でネットワークが形成され、区民主体による自発的な活動につながっている ・継続して活動を行っている人や団体の事例
		○ 子どもが学校以外で学びの体験に触れられる機会を整備することで、子どもたちの豊かな成長と学びを支援します。	②	④ 学習相談を受けた件数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	地域文化創造館の利用率	%	50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	62.0	新規	
	成果指標	②	「地域文化創造館で実施している事業に参加したことがある」と回答した人の割合	%	40.5	41.0	41.5	42.0	42.5	43.0	43.5	新規	
	活動指標	③	としまコミュニティ大学講座実施回数	回	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	新規	
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	「学んだことを地域で生かして活動をしている」と思う区民の割合	%	7.7	8.9	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	継続	8-2-1多様な学習活動の支援と学びの循環の創造
	成果指標	②											
	活動指標	③	学習成果の発表機会数	回	386	350	375	400	425	450	475	継続	8-2-1多様な学習活動の支援と学びの循環の創造
	活動指標	④	学習相談を受けた件数	件	117	130	140	150	160	170	180	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	地域文化創造館5館の利用率の平均値	生涯学習施設が学びの場として区民の方に認知され活用されているかを把握できる指標であるため		地域文化創造館事業報告書	
	成果指標	②	満足度調査の設問「地域文化創造館の事業に参加したことがあるか」に対し、「ある」と回答した人の割合	生涯学習施設が学びの場として区民の方に認知され活用されているかを把握できる指標であるため		地域文化創造館利用者満足度調査	
	活動指標	③	としまコミュニティ大学の講座実施回数	学びの場の機会を提供する活動量を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④					
取組方針 (2)	成果指標	①	「9 学んだことを地域で生かして活動をしている」の項目において、「どちらかというとそう思う」と回答した人の割合	学びの成果を次の活動に活かした学びの循環が生まれているかどうかを図る指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	としまコミュニティ大学や図書館での発表の場の開催回数	学習成果の発表機会を提供する活動量を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	学習相談を受けた件数	学習相談は区民の主体的な学びが行われているかを図る指標であるため		所管課データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー①	地域文化創造館の利用率	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー①	「学んだことを地域で生かして活動をしている」と思う区民の割合【%】	・両指標を記載することによって、学びの場への「参加」の視点と学びの成果の「展開」の視点をもって成果を表すことができるため。

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	△		✓		✓			%	50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	62.0	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓		✓			%	40.5	41.0	41.5	42.0	42.5	43.0	43.5	適切
	活動指標 ③	○	✓	✓		✓			回	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	適切
	活動指標 ④																
取組方針(2)	成果指標 ①	△	✓			✓		✓	%	7.7	8.9	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	目標値が低すぎる
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	○	✓	✓		✓			回	386	350	375	400	425	450	475	適切
	活動指標 ④	△	✓	✓					件	117	130	140	150	160	170	180	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「地域文化創造館で実施している事業に参加したことがある」と回答した人の割合	備考	所管部局の取組方針(2)で計画に掲載する指標に選んだ意識調査の回答は、実績値からして低い(7.7%)のと、最終目標値が9.0%であるため、地域文化創造館利用者満足度調査の地域文化創造館の実施事業参加の有無の結果(有:40.5%)に変更。
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	学習成果の発表機会数		

指標設定チェックシート

施策名	4-④	多様な役割をもつ新たな図書館の実現
部課名	文化商工部 図書館課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>○図書館が、本の貸出・閲覧の場としてだけでなく、居場所や交流の場を含め、誰もがそれぞれのスタイルで快適に利用できる文化振興、生涯学習及び地域コミュニティの拠点となっている。</p> <p>○図書館を通じて、子どもの読書活動や区民の学習活動が活発になっている。</p>	<p>(1) <地域の情報センター、読書活動・学習活動のハブとして図書館の整備> ○地域の文化・観光資源を生かした特色ある図書館づくり、蔵書の充実、他の図書館との連携強化、多様な講座・展示等を通じて、区民のくらしを豊かにし、地域の課題解決につながる情報発信をすすめます。 また、知の拠点として、地域文化の保存・継承を促進するほか、司書等図書館員の資質向上、地域文化創造館等との連携のもと、それぞれの探求心、向学心に応じた多様な学びを支援します。 ○電子図書館の充実、手続きのオンライン化、サービスのセルフ化等、地域の情報センターにふさわしいDX推進を図ります。 ○保育園、子どもスキップ、区民ひろば、小中学校及び学校図書館、大学その他企業、団体、ボランティア等幅広い主体と連携・協働し、年齢、障害の有無等を問わず、様々な機会、場所、方法で読書を楽しめる環境を確立します。</p>	① 年間図書貸出件数	③ レファレンス(調べもの支援)の実施回数	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の生活や地域の課題解決にどれだけ図書館が寄与しているか ・子どもの読書活動の推進に図書館がどれだけ寄与しているか ・視覚に障害がある人、日本語を母語としない人など、読書の課題を抱えている人の読書活動に図書館がどれだけ寄与しているか
		② 読み聞かせボランティアを派遣して開催したおはなし会の延べ参加人数	④ 点字図書館(ひかり文庫)の蔵書数	
	<p>(2) <居場所(サードプレイス)、交流の場、創造の場としての図書館の整備> ○施設の改築・改修にあわせて、家庭、学校、職場とは異なる、ほっとできる居場所(サードプレイス)としての空間づくりをすすめます。 ○「子どもと一緒にでも周囲に気兼ねなく利用したい」「読書や学習に専念したい」「カフェコーナーが欲しい」など、多様な利用者のニーズに応じた居心地のよい図書館環境を整備します。 ○図書館や本を通じて、多くの人がつながり、交流できるよう、ホールやグループ活動室など、ハード面の整備、イベントなどソフト面の充実を図ります。 ○図書館が国籍や母語を越えた発見や交流の場となるよう、多文化サービスを拡充します。 ○知識を得る場としてだけでなく、体験型講座、ワークショップ、グループ支援などを通じ、地域の発展とその担い手育成につながる、創造の場としての図書館づくりをすすめます。</p>	① 年間来館者数	③ 講座、イベントの開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の生活や地域の課題解決にどれだけ図書館が寄与しているか ・図書館が貸し出しや閲覧といった基本的な役割だけでなく、居場所や交流の場所としてそれだけ利用されているか ・図書館がまちの価値の向上にどれだけ寄与しているか
		② 利用者アンケートの総合評価のうち、「満足」「どちらかというと満足」と回答した人の割合	④ 館内の座席設置数	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	年間図書貸出件数	冊	2,092,784	2,120,000	2,160,000	2,200,000	2,240,000	2,270,000	2,300,000	新規	
	成果指標	②	読み聞かせボランティアを派遣して開催したおはなし会の延べ参加人数	人	2,241	3,000	3,500	4,000	4,500	5,000	5,500	継続	
	活動指標	③	レファレンス(調べもの支援)の実施回数	回	48,140	48,800	49,000	49,200	49,400	49,600	50,000	新規	
	活動指標	④	点字図書館(ひかり文庫)の蔵書(資料)数	点	6,752	6,760	6,770	6,780	6,790	6,800	6,800	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	年間図書館来館者数	人	1,512,313	1,600,000	1,650,000	1,750,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	新規	
	成果指標	②	利用者アンケートの総合評価のうち「満足」「どちらかというと満足」と回答した人の割合	%	95.5	95.8	96.1	96.3	96.5	96.7	97.0	新規	
	活動指標	③	講座、イベントの開催回数	回	742	750	760	770	780	790	800	新規	
	活動指標	④	館内の座席設置数(7館合計)	席	652	652.0	652.0	700.0	700.0	720.0	720	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	年間図書貸出件数	情報発信の成果を示す最適な指標であるため		所管課データ	
	成果指標	②	読み聞かせボランティアを派遣して開催したおはなし会の延べ参加人数	区民との協働による読書活動の成果を示す最適な指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	レファレンス(調べもの支援)の実施回数	調査研究の支援など情報センターとしての図書館の活動量を示す最適な指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	点字図書館(ひかり文庫)の蔵書数	読書に課題を抱える利用者へのサービスの充実度を示す最適な指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	年間来館者数	多くの区民が気軽に利用できることを目指す施策の成果を示す最適な指標であるため		所管課データ	
	成果指標	②	利用者アンケートの総合評価のうち「満足」「どちらかというと満足」除く)の回答割合	館内環境の改善や図書館サービス充実の成果を示す最適な指標であるため		図書館利用者アンケート(満足度調査)	
	活動指標	③	講座、イベントの開催回数	交流の場としての図書館を目指す施策の活動量を示す最適な指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	館内の座席設置数	館内環境の充実度を示す最適な指標であるため		所管課データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー①	年間図書貸出数	<ul style="list-style-type: none"> 各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。 両指標を記載することによって、図書館の基幹的役割、新たな役割双方を利用者の視点をもって科学的に表すことができるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー①	年間図書館来館者数	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	年間図書貸出件数	○	✓	✓		✓		冊	2,092,784	2,120,000	2,160,000	2,200,000	2,240,000	2,270,000	2,300,000	適切
	成果指標 ②	読み聞かせボランティアを派遣して開催したおはなし会の延べ参加人数	○	✓	✓		✓		人	2,241	3,000	3,500	4,000	4,500	5,000	5,500	適切
	活動指標 ③	レファレンス(調べもの支援)の実施回数	○	✓	✓				回	48,140	48,800	49,000	49,200	49,400	49,600	50,000	適切
	活動指標 ④	点字図書館(ひかり文庫)の蔵書(資料)数	△		✓		✓		点	6,752	6,760	6,770	6,780	6,790	6,800	6,800	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	年間図書館来館者数	○	✓	✓		✓		人	1,512,313	1,600,000	1,650,000	1,750,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	適切
	成果指標 ②	利用者アンケートの総合評価のうち「満足」「どちらかという満足」と回答した人の割合	△	✓	✓				%	95.5	95.8	96.1	96.3	96.5	96.7	97.0	適切
	活動指標 ③	講座、イベントの開催回数	△		✓		✓		回	742	750	760	770	780	790	800	適切
	活動指標 ④	館内の座席設置数(7館合計)	△	✓	✓				席	652	652.0	652.0	700.0	700.0	720.0	720	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	年間図書貸出件数	備考	所管部局案を採用。
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	年間図書館来館者数		

指標設定チェックシート

施策名	4-5	生涯を通じたスポーツ活動の推進
部課名	文化商工部 学習・スポーツ課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
区民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができる環境の整備、充実を図り、スポーツを通じて人と地域がいいきと輝いている。	(1) <ul style="list-style-type: none"> ○区民の誰もが気軽にスポーツに親しむことができるようスポーツ関連団体、民間事業者との連携を深めながら、大会、体験イベントなどの事業を幅広く展開することで、スポーツ参加機会の拡充を図り、生涯を通じたスポーツ活動を促進します。 ○トップアスリートとの交流などの機会を創出することで、次世代を担う子どもたちにスポーツの魅力を伝え、スポーツを通じた豊かな未来づくりのきっかけとします。 ○児童の体育施設使用料の免除など、スポーツ実施環境の基盤となる区立体育施設の利用促進や充実化を図るとともに、学校施設や公園などの区立施設を有効に活用していきます。子どもから大人まで幅広い世代が、普段の生活のなかにある身近な場所でスポーツに親しむことで、区民の体力の維持、向上につなげていきます。 	①	「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」と思う区民の割合【%】	③	区立体育施設利用者数【人】	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの力を活用した地域コミュニティの醸成、地域交流の促進。 ・スポーツ活動に関する意識、行動変容。
		②		④	スポーツ関連事業の実施回数【回】	
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ○パラスポーツの普及やインクルーシブスポーツ体験機会の充実、スポーツを支える人材の育成や支援を行うことで、スポーツによる地域交流が促進され、人と人との結びつきがより強固となった持続可能な社会の実現を目指します。 ○アーバンスポーツの普及、学校部活動の地域移行など、多様化するスポーツの姿や実施形式を的確に捉えていきます。また、孤立を防ぐサードプレイスとして様々な形でスポーツを楽しめる場を提供していきます。 ○生涯を通じて誰もが健康で活力に満ちた生活を営むため、子どもたちのマルチスポーツ体験などを促進し、運動習慣の定着を図ります。また、フレイル対策において最新技術を用いたスポーツを活用するなど、人と社会のつながりを築いていきます。 	①	「生涯スポーツ推進事業」への参加者数【人】	③	「生涯スポーツ推進事業」の実施事業数【事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツによる健康寿命の延伸、医療費や介護費用の抑制などの効果。 ・スポーツ活動に関する意識、行動変容。
		②		④	区立体育施設利用者数【人】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

			新基本計画期間(2025-2029)										
指標名			単位	2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
取組方針 (1)	成果指標	①	「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」と思う区民の割合	%	16.3	29.0	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0	継続	8-2-2スポーツ・レクリエーション活動の推進
	成果指標	②											
	活動指標	③	区立体育施設利用者数	人	1,204,801	1,400,000	1,450,000	1,500,000	1,520,000	1,540,000	1,560,000	継続	8-2-2スポーツ・レクリエーション活動の推進
	活動指標	④	スポーツ関連事業の実施回数	回	3	4	5	6	7	8	9	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「生涯スポーツ推進事業」への参加者数	人	3,568	4,000	4,500	5,000	5,250	5,500	5,750	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	「生涯スポーツ推進事業」の実施事業数	事業	21	22	23	24	25	26	27	新規	
	活動指標	④	区立体育施設利用者数	人	1,204,801	1,400,000	1,450,000	1,500,000	1,520,000	1,540,000	1,560,000	継続	8-2-2スポーツ・レクリエーション活動の推進

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区民意識調査において「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」の質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	区民がどれくらいスポーツに親んでいるかを測る指標であるため。		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	区立体育施設の利用者統計の合算数	スポーツの活動量を示す指標であるため。		所管課データ	
	活動指標	④	としまスポーまつり、目白ロードレース、民間事業者(東京ヴェルディ等)との連携事業の実施回数	スポーツに親しむことのできる機会が充実しているかを測る指標であるため。		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	「生涯スポーツ推進事業」各事業参加者の合算数	子どもから大人まで、生涯を通じてスポーツに親しむために必要な環境づくりができていないかを測る指標であるため。		所管課データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	「生涯スポーツ推進事業」の実施事業数の合算数	子どもから大人まで、生涯を通じてスポーツに親しむために必要な機会が充実しているかを測る指標であるため。		所管課データ	
	活動指標	④	区立体育施設の利用者統計の合算数	スポーツの活動量を示す指標であるため。		所管課データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)ー①	「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」と思う区民の割合【%】	・区民がどのくらいスポーツに親んでいるかを測ることが可能な指標であるため ・子どもから大人まで、生涯を通じてスポーツに親しむために必要な環境づくりができていないかを測る指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー①	「生涯スポーツ推進事業」への参加者数【人】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓			%	16.3	29.0	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	○	✓	✓			✓	人	1,204,801	1,400,000	1,450,000	1,500,000	1,520,000	1,540,000	1,560,000	適切
	活動指標 ④	○	✓	✓		✓		回	3	4	5	6	7	8	9	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓			人	3,568	4,000	4,500	5,000	5,250	5,500	5,750	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	○	✓	✓		✓		事業	21	22	23	24	25	26	27	適切
	活動指標 ④	○	✓	✓			✓	人	1,204,801	1,400,000	1,450,000	1,500,000	1,520,000	1,540,000	1,560,000	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」と思う区民の割合	備考	所管部局案を採用。
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	「生涯スポーツ推進事業」への参加者数		

指標設定チェックシート

施策名	5-1	中小企業の経営力強化と起業の促進
部課名	文化商工部 生活産業課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
<p>持続的な経営力を誇る企業を輩出するとともに、起業にチャレンジする人を行政・地域が一丸となってサポートする環境を整え、未来のとしまを担う企業が続々と誕生している。</p>	<p>(1) ○ としまビジネスサポートセンター連携機関の強みを活かして専門相談員を配置し、経営基盤の強化や販路拡大等に向けたワンストップ相談や専門機関の紹介、専門家相談料の補助など、相談機能の充実を図ります。 ○ 安定した経営、起業に向けて、事業者や起業希望者への融資のあっせんや利子の一部補助、区独自の中小企業支援補助金などの経済的支援を行うとともに、AIやDXなど生産性向上に向けたデジタル化推進を支援します。 ○ 中小企業の勤労者支援、働き方改革、事業承継支援、リスクリング、女性やシニア、外国人材の活用など多様な人材確保を支援し、地域産業への関心を高める次世代育成に向けた取組を推進します。</p>	①	融資あっせん件数【件】 ※コロナ融資を除く	③	ビジネスサポートセンター「融資相談」件数【件】	としまビジネスサポートセンター等への相談により経営課題が解消されたか。
		②		④	各種セミナー・勉強会の開催回数【回】	
	<p>(2) ○ デジタル社会の急速な進展に伴い発展が見込まれるデジタル産業など今後の日本の産業をけん引する成長分野への起業・スタートアップを支援します。 ○ 起業希望者に対して、経営ノウハウ獲得のための個別起業相談、各種セミナー・勉強会の開催、チャレンジ出店、民間のインキュベーション施設と連携した先輩起業家との交流会など準備段階に応じたきめ細かな支援を行います。 ○ 女性や学生やシニアなど様々な起業家への支援、起業家同士の交流の促進を図り、地域全体で多様な起業家を下支えし、豊島区に愛着を持つ地域密着型の起業家を増やしていきます。</p>	①	区内新設法人数【件】	③	起業支援者数＋特定創業証明書発行件数【件】	豊島区に愛着を持ち、地域と繋がりがあがる起業家が増えたか。
		②		④	豊島区開業支援事業補助金交付件数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	融資あっせん件数【件】※コロナ融資を除く	件	251	261	271	281	291	301	311	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	ビジネスサポートセンター「融資相談」件数【件】	件	3,458	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	新規	
	活動指標	④	各種セミナー・勉強会の開催回数	回	4	6	6	6	6	6	6	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	区内新設法人数	件	1,457	1,440	1,450	1,460	1,470	1,480	1,490	継続	7-1-1新たな価値を生み出すビジネス支援
	成果指標	②											
	活動指標	③	起業支援者数＋特定創業証明書発行件数	回	387	430	440	450	460	470	480	継続	7-1-1新たな価値を生み出すビジネス支援
	活動指標	④	豊島区開業支援事業補助金交付件数	件	50	50	50	50	50	50	50	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	融資あっせん件数【件】※コロナ融資を除く	区内事業者を対象に広く支援している制度であるため。		所管課データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	融資相談件数(電話・窓口)の積算	としまビジネスサポートセンターの活動量を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	各種セミナー・勉強会の開催回数の積算	としまビジネスサポートセンターの活動量を示す指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	区内新設法人数	区内で創業する事業者数を示す指標であるため。		所管課データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	起業支援者数と特定創業証明書発行件数の積算	起業、創業を支援した活動量を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	豊島区開業支援事業補助金交付件数の積算	起業、創業を支援した活動量を示す指標であるため		所管課データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー①	融資あっせん件数【件】 ※コロナ融資を除く	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。 ・指標2については後期計画に設定している指標であり、継続して数値を確認、分析できるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー①	区内新設法人数【件】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	融資あっせん件数【件】※コロナ融資を除く	◎	✓	✓		✓	件	251	261	271	281	291	301	311	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	ビジネスサポートセンター「融資相談」件数【件】	○	✓	✓		✓	件	3,458	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	適切
	活動指標 ④	各種セミナー・勉強会の開催回数	○	✓	✓		✓	回	4	6	6	6	6	6	6	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	区内新設法人数	◎	✓	✓		✓	件	1,457	1,440	1,450	1,460	1,470	1,480	1,490	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	起業支援者数+特定創業証明書発行件数	○	✓	✓		✓	回	387	430	440	450	460	470	480	適切
	活動指標 ④	豊島区開業支援事業補助金交付件数	△	✓	✓			件	50	50	50	50	50	50	50	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	融資あっせん件数【件】※コロナ融資を除く	備考	所管部局案を採用。
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	区内新設法人数		

指標設定チェックシート

施策名	5-2	持続可能な商店街に向けた活性化支援
部課名	文化商工部 生活産業課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
商店街が地域産業や地域コミュニティの核となり、産学官の分野を超えた多様多彩な個々の強みや地域の文化資源・観光資源を活かして、誰もが楽しめる賑わいや魅力のあるまちを創出・発信している	(1) <ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの地域が持つ豊かな文化や資源を活かした多彩なイベントを開催することにより、商店街が観光の目的地となり、来街者で賑わう商店街を目指し、地域経済を活性化します。 ○ 近隣商店街との共同開催や、地元の大学や高校、企業等と連携したイベントを実施することで、商店街がコミュニティの核となり、地域が一体となった賑わいあるまちづくりを進めます。 	①	商店街イベント事業来場者数	③	商店街イベント事業数	・商店街が観光の目的地となり、更に来街者が増えてより一層賑わう商店街となっているか
		②				
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページやSNS等のデジタルツールを活用して商店街の魅力を発信するとともに、商店会マップやデジタルコンテンツなどを活用することで来街者を呼び込み、回遊性を高める取組を支援します。 ○ 多言語対応やキャッシュレス決済を推進することで、インバウンド旅行者や来街者の利便性を高めるとともに商店街の販売促進を支援します。 ○ 商店街の空き店舗を活用した新たな事業者の誘致や、近隣の大学・学生等との連携促進により、新たな担い手の確保を進め、商店会の組織力向上と持続可能な商店街づくりを支援します。 	①	「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っていると思う」区民の割合	③	販売促進事業補助事業数	・デジタル化や人材育成により持続可能な商店街が形成されているか。
		②			④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標 ①	商店街イベント事業来場者数	万人	183	186	191	192	193	194	195	継続	7-1-2地域産業の活力創出
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	商店街イベント事業数	事業	52	63	65	67	69	71	73	継続	7-1-2地域産業の活力創出
	活動指標 ④											
取組方針 (2)	成果指標 ①	「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っていると思う」区民の割合	%	22.6	23.1	23.6	24.0	24.4	24.7	25.0	新規	
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	販売促進事業補助事業数	事業	3	3	3	3	3	3	3	継続	7-1-2地域産業の活力創出
	活動指標 ④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針 (1)	成果指標 ①	商店街イベント事業来場者		まちのにぎわいを測ることができる指標であるため		所管課データ
	成果指標 ②					
	活動指標 ③	商店街イベント事業数		事業に関する実績を把握するための数値であるため		所管課データ
	活動指標 ④					
取組方針 (2)	成果指標 ①	「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っていると思う」区民の割合		施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②					
	活動指標 ③	販売促進事業補助事業数		事業に関する実績を把握するための数値であるため		所管課データ
	活動指標 ④					

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)―①	商店街イベント事業来場者	賑わいの創出や、多様な来街者が快適に商店街を利用するための施策を反映する指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)―①	「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っていると思う」区民の割合	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	商店街イベント事業来場者数	◎	✓	✓		✓	万人	183	186	191	192	193	194	195	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	商店街イベント事業数	○	✓	✓		✓	事業	52	63	65	67	69	71	73	適切
	活動指標 ④															
取組方針(2)	成果指標 ①	「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っていると思う」区民の割合	○	✓	✓		✓	%	22.6	23.1	23.6	24.0	24.4	24.7	25.0	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	販売促進事業補助事業数	△	✓	✓			事業	3	3	3	3	3	3	3	適切
	活動指標 ④															

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	商店街イベント事業来場者数	備考	所管部局案を採用。
指標②	成果指標(区民意識調査)	「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っていると思う」区民の割合		

指標設定チェックシート

施策名	5-③	観光資源の活用による地域経済の活性化
部課名	文化商工部文化観光課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
区内各地の多彩な観光資源を活かし、国内外から多くの人々を惹きつけ、地域経済に好循環をもたらし、区民も来街者も主役となって賑わいにあふれている。	【区内各地の観光資源を活かした誘客促進】 ○区内各地には、様々な劇場を活用した舞台芸術や、東京フラフェスタや東京大塚阿波踊りといった地域主体のイベント、ナイトタイムエコノミー、ソメイヨシノ、歴史的な街並み、各地域に受け継がれている伝統芸能、商店街、個性豊かな飲食店など、多様な観光施設やコンテンツがあります。これらの観光資源を、文化あふれる都市として地域と共に磨き上げ、まちの賑わい創出につなげていきます。 ○本区には、マンガ・アニメの原点「トキワ荘」を再現した、トキワ荘マンガミュージアムがあり、各地でマンガ・アニメ・コスプレ文化による様々な事業が行われています。これらを豊島区特有のブランドとして定着させ、国内外からの来街者の増加を促進します。	① 訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合【%】	③ IKEBUSアトカルツア一年間参加者数【人】	・区内各地の観光資源が活用され、区内への来街者数の増加につながっているか。
		② トキワ荘マンガミュージアム及び関連施設年間来館者数【人】	④ トキワ荘マンガミュージアムでの特別企画展の年間実施回数【回】	
	【地域経済に好循環をもたらす観光消費額の拡大】 ○観光施策のソフト面と、まちづくりやIKEBUSなどのハード面の双方を、効果的に推進することで、まちの回遊性を向上させ、来街者の区内滞在時間を延ばし、観光消費額の拡大につなげていきます。 ○産業と観光の融合により、魅力ある各商店街や区内の銘品、伝統工芸品などを来街者へ効果的にPRすることで、地域経済に好循環をもたらしていきます。 ○姉妹友好都市である埼玉県秩父市や山形県遊佐町、長野県箕輪町をはじめ、全国の交流都市との連携を強化し、各イベントにおける物産展など相互に恩恵を享受する事業を展開することで、本区と交流都市それぞれの活性化につなげていきます。	① 「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」と思う区民の割合【%】	③ 交流都市と連携して実施した事業の数【回】	・区内各地の観光消費の拡大され、地域経済の活性化につながっているか
		② 豊島区の延べ宿泊者数【人】	④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合	%	24.1	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	新規	
	成果指標	②	トキワ荘マンガミュージアム及び関連施設年間来館者数	人	123,447	125,000	130,000	135,000	140,000	145,000	150,000	継続	7-2-1観光資源の発掘と活用
	活動指標	③	IKEBUSアトカルツア一年間参加者数	人	609	650	700	750	800	850	900	新規	
	活動指標	④	トキワ荘マンガミュージアムでの特別企画展の年間実施回数	回	3	3	3	3	3	3	3	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」と思う区民の割合	%	29.8	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	新規	
	成果指標	②	豊島区の延べ宿泊者数	人	-	4,000,000	4,100,000	4,200,000	4,300,000	4,400,000	4,500,000	継続	7-2-1観光資源の発掘と活用
	活動指標	③	交流都市と連携して実施した事業の数	回	22	23	24	25	26	27	28	新規	
	活動指標	④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合【%】	外国人観光客について池袋への誘客促進効果を測る指標のため		国・地域別外国人旅行者行動特性調査(東京都)	
	成果指標	②	トキワ荘マンガミュージアムの年間来館者数【人】	マンガ・アニメを活用したまちづくりの成果を示す指標のため		所管課データ	
	活動指標	③	IKEBUSアトカルツア一年間参加者数【人】	地域資源を活用した観光事業展開を測る指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	トキワ荘マンガミュージアムでの特別企画展の年間実施回数【回】	トキワ荘を活用した事業展開を測る指標のため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」と思う区民の割合【%】	多様な観光コンテンツが活用され、区民が誇れる観光施策となっているかを示す指標のため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	豊島区の延べ宿泊者数【人】	国内外からの観光客数を示す指標のため		RESAS地域経済分析システム	
	活動指標	③	交流都市と連携して実施した事業の数【回】	交流都市との事業実施状況を示す指標のため		所管課データ	
	活動指標	④					

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合【%】	両指標によって、来街者の誘客促進につながり、区民が観光によるメリットを感じているかを測ることができるため
2	成果指標(区民意識調査)	(2)-①	「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」と思う区民の割合【%】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合	◎	✓	✓		✓	%	24	25	25	26	26	27	27.0	適切
	成果指標 ②	トキワ荘マンガミュージアム及び関連施設年間来館者数	◎	✓	✓		✓	人	123,447.0	125,000.0	130,000.0	135,000.0	140,000.0	145,000.0	150,000.0	適切
	活動指標 ③	IKEBUSアトカルツア一年間参加者数	○	✓	✓	✓	✓	人	609	650	700	750	800	850	900	適切
	活動指標 ④	トキワ荘マンガミュージアムでの特別企画展の年間実施回数	○	✓	✓		✓	回	3	3	3	3	3	3	3	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」と思う区民の割合	◎	✓	✓		✓	%	29.8	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	適切
	成果指標 ②	豊島区の延べ宿泊者数	○	✓	✓			人	-	4,000,000.0	4,100,000.0	4,200,000.0	4,300,000.0	4,400,000.0	4,500,000.0	適切
	活動指標 ③	交流都市と連携して実施した事業の数	△	✓			✓	回	22	23	24	25	26	27	28	適切
	活動指標 ④															

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合	備考	所管部局案を採用。
指標②	成果指標(区民意識調査)	「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」と思う区民の割合		

指標設定チェックシート

施策名	5-④	観光情報の発信強化と受入環境の整備
部課名	文化商工部文化観光課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
魅力的な観光情報が多くの 人々に迅速に届き、来街者にと って観光の利便性が高く、誰 もが快適に過ごすことができ る。	(1) 【旅行前(旅マエ)の様々なターゲットに届く発信強化】 ○来街者の国籍や性別、年代によって、興味を引く観光情報は異なります。様々なターゲットに届く旅行前(旅マエ)の情報発信を強化するため、豊島区観光協会を中心に、池袋東口観光案内所や区内の各観光案内所、国、都、企業・団体と連携し、SNSなどを活用して、区内外、さらに国外にも広く届く情報発信に取り組みます。 ○区内大学や専門学校などの教育機関と連携し、学生の視点を取り入れ、幅広い年代や国籍のターゲットに届く観光企画や情報発信を行います。 ○来街者の利便性向上のため、デジタルマップの活用や、データ分析によるデジタルマーケティングを活用した情報発信を行います。	①	池袋東口観光案内所の来館者数【人】	③	池袋西口公園におけるナイトライフ事業実施回数(Yube、街なかクラシック)【回】	・区や企業・団体などが連携し、様々な媒体で区の魅力を発信できているか
		②	豊島区文化観光課Instagramのフォロワー数【人】	④		
	(2) 【旅行中(旅ナカ)の受け入れ環境整備】 ○旅行中(旅ナカ)の受け入れ体制を強化するため、観光案内所などにおける多言語対応や、区内各地の観光案内サインの整備、豊島区観光協会との連携による外国語ボランティアガイド活動などに取り組みます。 ○観光案内所などと連携して、高齢者や障害者、ベビーカー利用者など、誰もが安心して観光できる環境を整備していきます。 ○来街者の増加による混雑やマナー違反などで区民の生活に支障をきたさないよう、オーバーツーリズムへの対策や環境への配慮など、地域社会に寄り添った持続可能な観光施策を推進します。	①	「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」と思う区民の割合【%】	③	観光案内サイン設置数【基】	・来街者の区内滞在における満足度が上がっているか
		②		④	Toshima Free Wi-fiの街なかにおけるアクセスポイント設置数【箇所】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
取組方針 (1)	成果指標	①	池袋東口観光案内所の来館者数	人	8,847	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000	25,000	新規	
	成果指標	②	豊島区文化観光課インスタグラムのフォロワー数	人	1,050	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	新規	
	活動指標	③	池袋西口公園におけるナイトライフ事業実施回数(Yube、街なかクラシック)	回	28	21	21	21	21	21	21	新規	
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」と思う区民の割合	%	17.6	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	21.0	継続	7-2-4多様な来街者の受入環境の整備
	成果指標	②											
	活動指標	③	観光案内サイン設置数	基	111	111	111	111	111	111	111	新規	
	活動指標	④	Toshima Free Wi-fiの街なかにおけるアクセスポイント設置数	箇所	35	26	26	26	26	26	26	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	池袋東口観光案内所の来館者数【人】	情報発信による来街者の動向を示す指標のため		所管課データ	
	成果指標	②	豊島区文化観光課インスタグラムのフォロワー数【人】	情報発信による情報拡散を測る指標のため		所管課データ	
	活動指標	③	池袋西口公園におけるナイトライフ事業実施回数(Yube、街なかクラシック)【回】	情報発信に資するナイトライフ事業の進捗を示す指標のため		所管課データ	
	活動指標	④					
取組方針 (2)	成果指標	①	「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」と思う区民の割合【%】	受け入れ環境整備に取り組んだ結果、区民の意識を示す指標のため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	観光案内サイン設置数【基】	受け入れ環境整備の一環である案内サイン事業の実施状況を示す指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	Toshima Free Wi-fiの街なかにおけるアクセスポイント設置数【箇所】	受け入れ環境整備の一環であるFree Wi-Fi事業の実施状況を示す指標のため		所管課データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(2)ー①	「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」と思う区民の割合【%】	両指標により、来街者へ情報発信が届き、区民に配慮した来街者の受入環境が整備できているかを測ることができるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー①	池袋東口観光案内所の来館者数【人】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	池袋東口観光案内所の来館者数	○	✓	✓				人	8,847	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000	25,000	適切
	成果指標 ②	豊島区文化観光課インスタグラムのフォロワー数	◎	✓	✓		✓		人	1,050	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	適切
	活動指標 ③	池袋西口公園におけるナイトライフ事業実施回数(Yube、街なかクラシック)	○	✓	✓		✓		回	28	21	21	21	21	21	21	適切
	活動指標 ④																
取組方針(2)	成果指標 ①	「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」と思う区民の割合	◎	✓	✓		✓		%	17.6	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	21.0	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	観光案内サイン設置数	○	✓	✓				基	111	111	111	111	111	111	111	適切
	活動指標 ④	Toshima Free Wi-fiの街なかにおけるアクセスポイント設置数	○	✓	✓				箇所	35	26	26	26	26	26	26	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」と思う区民の割合	備考	取組方針が「旅行前のターゲットに届く発信強化」のため、インスタグラムのフォロワー数に変更。
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	豊島区文化観光課インスタグラムのフォロワー数		

指標設定チェックシート

施策名	5-5	消費者教育の推進と消費生活相談の充実
部課名	文化商工部 生活産業課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない/ 数値化できない評価の視点		
一人ひとりの消費者(区民)が社会、経済、地球環境や将来の子どもたちのことを考えて、安全で明るく豊かな消費生活を送っている。	(1) ○ 多様な消費者を対象とした啓発を推進するため、幼少期から高齢期まで、ライフステージに応じた体系的・継続的な消費者教育を実施し、消費者の自立を支援します。 ○ 成年年齢引き下げに伴い、若年者が特殊詐欺などの被害者にも加害者にもならないよう、小学生、中学生の頃から発達段階に応じた消費者教育を行いトラブルを未然に防ぎます。 ○ 環境・社会・人に配慮するエシカル消費を推進し、地球環境や将来の子どもたちのための責任を持った消費行動を推奨し、SDGsの実現に寄与する啓発を推進します。	①	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の参加人数	③	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の実施回数	社会、経済、地球環境や将来の子どもたちなどのことを考えて消費生活を送れるようになったか
		②		④		
	(2) ○ 消費者トラブルが多様化する中、消費者相談の最前線である消費者センターでは、常に最新の消費者問題に精通するため、国民生活センターや東京都消費生活総合センターと連携し、消費生活相談員のスキルアップを図るとともに、相談状況の分析を行い、より実効性と専門性の高い相談を行います。 ○ 相談内容の解決に向けて、的確に関係機関へつなげるため、日頃から高齢者総合相談センターや警察、法テラスなど法律相談を行う関係団体との連携を強化し、広報やSNS等を活用し、消費生活相談窓口の周知を強化します。	①	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実していると思う区民の割合	③	消費者相談受付件数	消費生活相談員に対応に満足したか
		②	消費生活相談員が受講した研修の種類	④	消費生活相談員研修受講延べ件数	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
取組方針 (1)	成果指標	①	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の参加人数	人	935	950	960	970	980	990	1,000	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の実施回数	回	40	40	40	42	42	43	43	新規	
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実していると思う区民の割合	%	10.6	12.0	12.0	12.0	13.0	13.0	14.0	継続	7-1-3権利と責任による消費者市民社会の形成
	成果指標	②	消費生活相談員が受講した研修の種類	種類	13	15	15	15	15	15	15	新規	
	活動指標	③	消費者相談受付件数	件	2,691	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	新規	
	活動指標	④	消費生活相談員研修受講延べ件数	件	47	50	50	55	55	55	55	新規	

指標			指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針 (1)	成果指標	①	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の参加人数(人)	事業に関する実績を把握するための数値であるため	所管課データ
	成果指標	②			
	活動指標	③	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の実施回数	事業にに関する実績を把握するための数値であるため	所管課データ
	活動指標	④			
取組方針 (2)	成果指標	①	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実していると思う区民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため	区民意識調査
	成果指標	②	消費生活相談員が受講した研修の種類	受講可能な講座内容の種別の数を示す数値であるため	所管課データ
	活動指標	③	消費者相談受付件数	相談事業の成果を表す数値であるため	所管課データ
	活動指標	④	消費生活相談員研修受講延べ件数	受講した研修を量的に表す数値であるため	所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)―①	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の参加人数(人)	1取り組み方針の進捗を図るうえで最も判断しやすいため。 2区民の声が直接反映されているため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)―①	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実していると思う区民の割合(%)	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すま ちの姿や取 組方針を 適切に表し ている	②データや 算定方法 の信頼性が 高い	③豊島区 らしさを表し ている	④指標自 体がポジ ティブな印 象である	⑤国・都の 計画等で 目標の方 向性が示さ れている	⑥現計画と 継続する指 標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定 の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の参加人数	◎	✓	✓	✓		✓	人	935	950	960	970	980	990	1,000	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の実施回数	○	✓	✓	✓			回	40	40	40	42	42	43	43	適切
	活動指標 ④																
取組方針(2)	成果指標 ①	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実していると思う区民の割合	◎	✓	✓	✓		✓	%	10.6	12.0	12.0	12.0	13.0	13.0	14.0	適切
	成果指標 ②	消費生活相談員が受講した研修の種類	○	✓	✓	✓			種類	13	15	15	15	15	15	15	適切
	活動指標 ③	消費者相談受付件数	○	✓	✓				件	2,691	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	適切
	活動指標 ④	消費生活相談員研修受講延べ件数	○	✓	✓	✓			件	47	50	50	55	55	55	55	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の参加人数	備考	所管部局案を採用。
指標②	成果指標(区民意識調査)	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実していると思う区民の割合		

指標設定チェックシート

施策名	6-①	脱炭素社会の実現
部課名	環境清掃部環境政策課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>○ 区民や事業者の環境問題への意識が高く、省エネルギー設備や再生可能エネルギーの導入が進み、各主体の日常生活や事業活動において脱炭素化が進んでいる。</p> <p>○ 暑熱軽減や雨水対策など、気候変動により生じる影響への対策等が進んでいる。</p>	<p>(1) ○ ガソリンを使う際や、火力発電などの化石燃料の燃焼によって生み出されるエネルギー消費を抑えるため、エコ住宅・エコ事業者普及促進事業などを通じて、省エネルギー効果の高い設備への転換を更に進めます。 ○ 石油や石炭などの化石燃料を使用せず、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギー導入をさらに進め、温室効果ガスを排出しない都市づくりを進めます。 ○ 区の公共施設においても省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入等をさらに進めます。また、区役所の日常業務における環境配慮行動にも積極的に取り組みます。</p>	① 区内の太陽光発電設置容量(kW)	③ 家庭への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数	○機器等の導入以外に区民や事業者が日常生活で実施できる様々な省エネルギー化と再生可能エネルギーの利用につながる取組みの浸透
		②	④ 事業所への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数	
	<p>(2) ○区道への遮熱性舗装や学校校庭への熱交換塗料や遮熱性塗料の使用などにより、夏季における屋間の路面温度の上昇の抑制を進めます。 ○日陰による暑熱軽減となる「緑化」や透水性舗装などによる雨水対策など、都市機能の質の向上を図ります。また、高効率設備導入などにより排熱総量の削減を進めます。 ○気候変動に対する対策としての「防災」、熱中症予防等「健康」・「福祉」など、さまざまな政策とも連動して取組みを進めます。 ○農作物や生態系への影響など、関連する情報発信を強化し、地球規模となっている地球温暖化問題の啓発等を進めます。</p>	① 区内温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	③ 校庭への熱交換塗料等の使用小学校数	○気候変動の影響への対策を進めたことで、例えばヒートアイランド対策については、本来どの程度気温が下がったか判明すればよいが、困難なため、数値化しづらい部分がある。
		② 遮熱性舗装の整備面積	④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標	①	区内の太陽光発電設置容量	kW	8,269	20,127	22,189	24,251	26,314	28,376	30,438	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	家庭への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数	件	976	1,280	1,584	1,888	2,192	2,496	2,800	新規	5-2-1脱炭素地域社会づくりの推進
	活動指標	④	事業者への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数	件	75	90	105	120	135	150	165	新規	5-2-1脱炭素地域社会づくりの推進
取組方針(2)	成果指標	①	区内温室効果ガス排出量	千t-CO ₂ e	1,472 (2021年)	1,324 (2022年)	1,271 (2023年)	1,218 (2024年)	1,165 (2025年)	1,112 (2026年)	1,059 (2027年)	継続	5-2-1脱炭素地域社会づくりの推進
	成果指標	②	遮熱性舗装の整備面積	m ²	43,912	44,500	46,000	47,500	49,000	50,500	52,000	新規	
	活動指標	③	校庭への熱交換塗料等の使用小学校数	校	19	19	20	20	20	20	20	新規	
	活動指標	④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針(1)	成果指標	①	区内の太陽光発電設置容量	「2050ゼロカーボン戦略」でも指標として設定しており、また再生可能エネルギー導入の進捗を確認する指標でもあるため		資源エネルギー庁データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	家庭への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数の累計(件)	再生可能・省エネルギー導入を直接的に確認できる指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	事業者への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数の累計(件)	再生可能・省エネルギー導入を直接的に確認できる指標のため		所管課データ	
取組方針(2)	成果指標	①	区内温室効果ガス排出量	2050年のゼロカーボン、2030年までにカーボンハーフを目標として既に区として設定しており、その進捗を確認する指標のため		「特別区の温室効果ガス排出量」より	
	成果指標	②	遮熱性舗装の整備面積	ヒートアイランド対策として実施している取り組みの指標のため		道路整備課データ	
	活動指標	③	校庭への熱交換塗料等の使用小学校数	ヒートアイランド対策として実施している取り組みの指標のため		学校施設課データ	
	活動指標	④					

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー①	区内の太陽光発電設置容量	・脱炭素化(再生可能エネルギー導入促進含む)を示す具体的な指標であり、この数値を50%、100%削減することを既に区の2030年、2050年の目標として定めているため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー①	区内温室効果ガス排出量	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	区内の太陽光発電設置容量	◎	✓	✓			✓								適切	
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	家庭への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数	△	✓					件	976	1,280	1,584	1,888	2,192	2,496	2,800	適切
	活動指標 ④	事業者への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数	△	✓					件	75	90	105	120	135	150	165	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	区内温室効果ガス排出量	◎	✓	✓	✓		✓	千t-CO ₂ eq	1,472(2021年)	1,324(2022年)	1,271(2023年)	1,218(2024年)	1,165(2025年)	1,112(2026年)	1,059(2027年)	適切
	成果指標 ②	遮熱性舗装の整備面積	○	✓	✓				m ²	43,912	44,500	46,000	47,500	49,000	50,500	52,000	適切
	活動指標 ③	校庭への熱交換塗料等の使用小学校数	○	✓	✓				校	19	19	20	20	20	20	20	適切
	活動指標 ④																

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	区内の太陽光発電設置容量	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	区内温室効果ガス排出量		

指標設定チェックシート

施策名	6-②	みどりのネットワークの形成
部課名	環境清掃部環境政策課・都市整備部公園緑地課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない/ 数値化できない評価の視点
<p>○高度に都市化が進んだ中でも、民有地も含め、やすらぎや潤いあるみどりが保全・創出されている。</p> <p>○都市における自然や生態の大切さの理解が進み、自然とのふれあい、交流等が進んでいる。</p>	<p>(1) ○公園や公共施設、道路等、公共空間のみどりを保全・創出し、人々の五感に訴える、潤いのある景観とやすらぎある生活環境づくりを進めます。これまで進めてきた公共施設への植樹なども積極的に進めます。</p> <p>○大規模開発時や住宅建て替え時などを活用し、民有地や建物の屋上・壁面などへの緑化も進め、公園や道路等と併せた連続性ある都市緑化を進めます。</p> <p>○緑陰の形成による熱環境の改善や雨水貯留機能を高め、気候変動対策と合わせた対策を進めます。また、多様な生き物が息できる環境づくりに繋がります。</p> <p>○個人でもベランダなどの限られたスペースで取り組める緑化対策も進め、区民一人ひとりが緑化を行うことができるような取組を積極的に進めます。</p>	① みどり率【%】	③ 緑化計画書の届出件数	<p>・緑化指導等により量だけではなく、みどりの質の向上が図られているか。</p> <p>・協定活動団体の構成人員や、継続して活動している人及び活動事例。</p>
		②	④ 協定花壇等の活動団体数	
	<p>(2) ○多様な生物の生存を可能とする、土壌やみどりの環境などを守り育て、自然と共生する区民意識の醸成を図ります。</p> <p>○区内の生き物の状況を把握し、その情報を共有・活用するための区民参加型の生態調査を実施し、区内における生き物生息への関心を高めます。また、区民が観察したデータを集約し、生態系の資料化を進め、区民向けに発信します。</p> <p>○地域の人たちによる公園等のみどりの保全活動により、みどりを通じた協働・繋がりの輪を広げる、みどりの縁結びを進めています。</p> <p>○交流都市とのカーボンオフセット事業、区庁舎屋上の「豊島の森」を活用した講座などを実施し、小さいながらも身近な自然に親しめる機会を提供します。</p>	① 「多様な生きものが息・生育できる環境づくりが進んでいる」と思う区民の割合【%】	③ 生きもの調査等に参加する区民(累計)【人】	<p>・自然との共生の意識が高まったかどうか。</p> <p>・生物多様性への理解が深まったかどうか。</p>
		②	④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標 ①	みどり率【%】	%	14.1	14.1	14.2	14.2	14.2	14.2	14.3	継続	5-1-1 みどりの活動拠点の創造・育成
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	緑化計画書の届出件数	件	70	72	74	76	78	80	82	新規	所管課データ
	活動指標 ④	協定花壇等の活動団体数	団体	50	52	54	56	58	60	62	新規	所管課データ
取組方針 (2)	成果指標 ①	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」と思う区民の割合	%	12.1	13.2	14.3	14.9	15.5	16.2	16.8	継続	5-2-2 自然との共生の推進
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	生きもの調査等に参加する区民(累計)	人	1,195	1,310	1,425	1,540	1,655	1,770	1,885	継続	5-2-2 自然との共生の推進
	活動指標 ④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針 (1)	成果指標 ①	みどり率【%】		区内のみどりの量を端的に表す指標であるため。		所管課データ
	成果指標 ②					
	活動指標 ③	緑化計画書の届出件数【件】		みどりの条例に基づき、緑化計画の指導を行っているため。		所管課データ
	活動指標 ④	協定花壇等の活動団体数【団体】		生物やみどりなど、自然と触れ合う活動団体を促進しているため。		所管課データ
取組方針 (2)	成果指標 ①	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」について肯定的な回答をする割合【%】		施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②					
	活動指標 ③	生きもの調査等に参加する区民(累計)		生物多様性について知る機会を提供する活動量を示す指標であるため		所管課データ
	活動指標 ④					

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	みどり率【%】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)-①	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」について肯定的な回答をする割合【%】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	みどり率【%】	◎	✓	✓		✓	%	14.1	14.1	14.2	14.2	14.2	14.2	14.3	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	緑化計画書の届出件数	○	✓	✓			件	70	72	74	76	78	80	82	適切
	活動指標 ④	協定花壇等の活動団体数	○	✓	✓		✓	団体	50	52	54	56	58	60	62	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」と思う区民の割合	◎	✓	✓		✓	%	12.1	13.2	14.3	14.9	15.5	16.2	16.8	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	生きもの調査等に参加する区民(累計)	△	✓			✓	人	1,195	1,310	1,425	1,540	1,655	1,770	1,885	適切
	活動指標 ④															

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	みどり率【%】	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査)	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」と思う区民の割合		

指標設定チェックシート

施策名	6-③	省資源・資源循環型社会の形成
部課名	環境清掃部 ごみ減量推進課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／数値化できない評価の視点
<p>○持続可能な循環型社会を実現するために、区民・事業者が生産・消費・廃棄において、リデュース・リユースの優先的実践と質の高いリサイクルを推進している。</p> <p>○区民一人ひとりが責任をもって行動し、ごみを適正に分別し排出している。</p>	<p>(1) ○これまで進めてきた3Rのうち、ごみを出さないリデュース(発生抑制)・リユース(再利用)の優先行動を促すため、動画、SNS、実践例の紹介等、多様な方法により、区民、事業者が実際の行動に移せる取組みを進めます。</p> <p>○家庭で使われない食品品を必要な人に提供するフードドライブやエシカル消費の推進など、食品ロス削減対策をさらに進めます。</p> <p>○令和5年に開始したプラスチック資源回収に加え、新たなリサイクル品目の検討など先進的な3Rを進めます。また、不燃ごみの資源化等についてもさらに進めます。</p> <p>○これまで実施してきた町会による資源の集団回収に加え、自主活動団体などへの支援など、民間レベルでの取組みを促進します。</p>	① 区民一人1日あたりのごみ量【g/人日】	③ 3Rに関して発信した件数【回】	3Rに関しての情報がどこまで行き渡っているか。
		② 資源化率【%】	④ 連携して活動した民間団体等【者】	
	<p>(2) ○区のごみ出し・資源回収に係るルールの周知や意識啓発を進めます。転入者や入国間もない外国籍住民などに対しても、アプリなどDXの活用を進め、より分かりやすく発信していきます。</p> <p>○排出状況の良くない集積所や不法投棄に対して、継続した排出指導を行います。</p> <p>○二次電池などの危険物に関する分別ルール・回収場所等の情報提供体制の充実、対応策を継続して行います。</p>	① 「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」と思う区民の割合【%】	③ 適正分別・適正排出に関して発信した件数【回】	適正分別・適正排出に関しての情報がどこまで行き渡っているか。
		② 可燃ごみの分別率【%】	④ 不法投棄回収件数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
		実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	区民一人1日あたりのごみ量	g/人日	472.0	490.0	482.0	480.0	477.0	475.0	473.0	継続	5-3-1 3Rの推進
	成果指標 ②	資源化率	%	23.6	22.4	22.6	22.7	22.8	22.8	22.9	継続	5-3-1 3Rの推進
	活動指標 ③	3Rに関して発信した件数	回	107	54	56	58	60	62	64	継続	5-3-1 3Rの推進
	活動指標 ④	連携して活動した民間団体等	者	171	173	175	177	179	181	183	新規	
取組方針(2)	成果指標 ①	「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」と思う区民の割合	%	61.5	62.0	62.5	63.0	63.5	64.0	64.5	継続	5-3-2 安定的で適正なごみ処理の推進
	成果指標 ②	可燃ごみの分別率	%	77.4	78.0	78.0	78.5	78.5	79.0	79.0	継続	5-3-2 安定的で適正なごみ処理の推進
	活動指標 ③	適正分別・適正排出に関して発信した件数	回	100	52	52	52	52	52	52	継続	5-3-2 安定的で適正なごみ処理の推進
	活動指標 ④	不法投棄回収件数	件	3,711	3,700	3,700	3,650	3,650	3,600	3,600	継続	5-3-2 安定的で適正なごみ処理の推進

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針(1)	成果指標 ① 区収集ごみ量(年度)÷人口÷年間日数	資源循環に関する取組が、ごみ減量にどの程度反映されているかを判断する指標であるため。	第四次豊島区一般廃棄物処理基本計画、所管課データ
	成果指標 ② 資源回収量÷(ごみ量+資源回収量)	リサイクルを促進していることを示す指標であるため。	第四次豊島区一般廃棄物処理基本計画、所管課データ
	活動指標 ③ イベント数、紙媒体、及びデジタル媒体での情報発信回数	リデュース・リユース、資源回収に関して周知を実施した回数であるため。	所管課データ
	活動指標 ④ 連携して行ったイベント、集団回収などの相手方の数	民間団体と連携した取り組みを示す指標であるため。	所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ① 区民意識調査において、同質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	ごみ収集について区民の印象を把握できる調査であるため。	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ② 「可燃ごみとして処理可能なごみ」÷「調査で収集した可燃ごみ量」	ごみが適正に分別されていることを示す指標であるため。	廃棄物排出実態調査(所管課データ)
	活動指標 ③ イベント数、紙媒体、及びデジタル媒体での情報発信回数	ごみの適正分別・適正排出に関して周知を実施した回数であるため。	所管課データ
	活動指標 ④ 一年間にごみ集積所で回収した不法投棄の件数	ごみが適正に排出されていることを示す指標であるため。	所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	区民一人1日あたりのごみ量【g/人日】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。 ・両指標を記載することによって、資源循環に関する取組の視点とごみの適正分別・適正排出に関しての視点をもって成果を表すことができるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)-①	「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」と思う区民の割合【%】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ① 区民一人1日あたりのごみ量	◎	✓	✓			✓	✓	g/人日	472.0	490.0	482.0	480.0	477.0	475.0	473.0	適切
	成果指標 ② 資源化率	○	✓	✓				✓	%	23.6	22.4	22.6	22.7	22.8	22.8	22.9	適切
	活動指標 ③ 3Rに関して発信した件数	△		✓				✓	回	107	54	56	58	60	62	64	適切
	活動指標 ④ 連携して活動した民間団体等	○	✓	✓				✓	者	171	173	175	177	179	181	183	適切
取組方針(2)	成果指標 ① 「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」と思う区民の割合	◎	✓	✓		✓		✓	%	61.5	62.0	62.5	63.0	63.5	64.0	64.5	適切
	成果指標 ② 可燃ごみの分別率	○	✓	✓				✓	%	77.4	78.0	78.0	78.5	78.5	79.0	79.0	適切
	活動指標 ③ 適正分別・適正排出に関して発信した件数	△		✓				✓	回	100	52	52	52	52	52	52	適切
	活動指標 ④ 不法投棄回収件数	△		✓				✓	件	3,711	3,700	3,700	3,650	3,650	3,600	3,600	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	区民一人1日あたりのごみ量	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査)	「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」と思う区民の割合		

指標設定チェックシート

施策名	6-④	良好な生活環境の保全
部課名	環境清掃部 環境保全課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
区民一人ひとりの環境美化意識が高まり、路上喫煙やポイ捨てが減少し、クリーンな大気環境が保たれ、人々が安全で快適に過ごすことができている。	(1) <ul style="list-style-type: none"> ○ 区民やインバウンド観光客をはじめとする来街者等に対し、まちの美化保全・マナーアップ啓発等の取組みを進めます。 ○ 区たばこルールの周知・啓発を進めるとともに、巡回パトロールの実施や受動喫煙防止に効果的な喫煙場所の提供により、たばこの火による事故や歩行者・公園利用者等への受動喫煙を抑制します。 ○ 喫煙に係る課題に対しては、まちの美化対策と並行して、がん対策や禁煙指導、医療費削減等健康政策についても積極的に進めます。 ○ 地域における清掃活動やポイ捨てマナー周知活動等を、「まちキレイPT」として一体的に展開し、まち全体で地域美化に取組み、気運醸成を図ります。 	①	路上喫煙率【%】	③	路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの指導件数【件】	・環境美化活動等の普及啓発における区民の美化意識の浸透
		②	「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」について肯定的な回答をする割合【%】	④	環境美化に関する活動への参加人数【人】	
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業者等に対し、法令に基づいた適切な指導・助言等により、各種公害対策を推進し区民の健康で安全な暮らしを支えていきます。 ○ 光化学オキシダント濃度上昇の要因の一つであるVOC(揮発性有機化合物)の排出を抑制するため、事業所や一般家庭への周知啓発を図るとともに、事業者等への立入指導により法令遵守の徹底を図ります。 ○ 解体工事における騒音振動の発生やアスベストの飛散を防止するため、改正大気汚染防止法で届出対象となった全ての解体工事現場への立入検査や建物所有者へのアスベスト分析調査助成等により、事業者の適切な工事の施工及び法令遵守の徹底を図ります。 	①	事業場からのVOC(揮発性有機化合物)の排出量【kg】	③	事業場へのVOC排出抑制に関する立入指導件数【件】	・オフィスや一般家庭におけるVOC排出削減意識の浸透及び変化 ・解体工事業者の法令認識、コンプライアンス意識の改善状況の変化
		②	解体工事における大気汚染防止法の基準(アスベストに関する作業基準)適合割合【%】	④	解体工事現場への立入検査件数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

					新基本計画期間(2025-2029)									
指標名					単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
						実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	路上喫煙率	%	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	継続	5-2-3地域美化の推進	
	成果指標	②	「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいだ」と思う区民の割合	%	35.8	35.9	36.0	36.1	36.2	36.3	36.4	継続	5-2-3地域美化の推進	
	活動指標	③	路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの指導件数	件	58,774	59,000	59,200	59,400	59,600	59,800	60,000	継続	5-2-3地域美化の推進	
	活動指標	④	環境美化に関する活動への参加人数	人	12,237	12,400	12,500	12,600	12,700	12,800	12,900	継続	5-2-3地域美化の推進	
取組方針 (2)	成果指標	①	事業場からのVOC(揮発性有機化合物)の排出量	kg	6,298	6,255	6,212	6,169	6,126	6,084	6,042	継続	5-2-4都市公害の防止	
	成果指標	②	解体工事における大気汚染防止法の基準(アスベストに関する作業基準)適合割合	%	83.8	85.0	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	新規	5-2-4都市公害の防止	
	活動指標	③	事業場へのVOC排出抑制に関する立入指導件数	件	5	5	6	6	6	6	6	継続	5-2-4都市公害の防止	
	活動指標	④	解体工事現場への立入検査件数	件	548	550	550	550	550	550	550	継続	5-2-4都市公害の防止	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区内14駅周辺において朝と夕方の時間帯の30分間、通過者に対する喫煙者の割合を調査し(年2回)、算出【%】	路上喫煙の状況を示す客観的な指標のため		環境年次報告書	
	成果指標	②	「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいだ」と思う区民の割合【%】	環境美化活動の成果を示す客観的な指標のため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	活動指標	③	パトロール員による指導報告書により指導件数を算出【件】	路上喫煙・ポイ捨て防止の普及啓発に関する活動量を示す指標であるため		環境年次報告書	
	活動指標	④	ごみゼロデー、環境美化活動、地域落書き消去活動、地域ガム取り活動、ガム取り支援活動の参加人数【人】	環境美化活動に関する活動量を示す指標であるため		環境年次報告書	
取組方針 (2)	成果指標	①	事業者から提出された報告書に記載される「化学物質の環境への排出量」の合算により算出	VOCは光化学オキシダントの原因物質であり、大気汚染の改善のための成果を示すことができる指標であるため		環境年次報告書	
	成果指標	②	解体工事現場への立入検査総数のうち、大気汚染防止法におけるアスベストに関する作業基準に適合している件数の割合	適正施工や法令遵守指導の成果を示すことができる指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	VOC排出抑制に関する立入指導件数	大気汚染改善を目指す活動量を示すことができる指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	解体工事現場への立入検査件数	適正施工や法令遵守を徹底させるための活動量を示す指標であるため		環境年次報告書	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類		取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいだ」と思う区民の割合【%】	区民の環境美化への関心や大気汚染の状況を客観的に示すことができる指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	事業場からのVOC(揮発性有機化合物)の排出量【kg】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ① 路上喫煙率	○	✓	✓			✓	%	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	適切	
	成果指標 ② 「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」と思う区民の割合	◎	✓	✓	✓	✓	✓	%	35.8	35.9	36.0	36.1	36.2	36.3	36.4	適切	
	活動指標 ③ 路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの指導件数	○	✓	✓				✓	件	58,774	59,000	59,200	59,400	59,600	59,800	60,000	適切
	活動指標 ④ 環境美化に関する活動への参加人数	○	✓	✓		✓		✓	人	12,237	12,400	12,500	12,600	12,700	12,800	12,900	適切
取組方針(2)	成果指標 ① 事業場からのVOC(揮発性有機化合物)の排出量	○	✓	✓			✓	kg	6,298	6,255	6,212	6,169	6,126	6,084	6,042	適切	
	成果指標 ② 解体工事における大気汚染防止法の基準(アスベストに関する作業基準)適合割合	△		✓				%	83.8	85.0	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	適切	
	活動指標 ③ 事業場へのVOC排出抑制に関する立入指導件数	○	✓	✓				✓	件	5	5	6	6	6	6	6	適切
	活動指標 ④ 解体工事現場への立入検査件数	○	✓	✓				✓	件	548	550	550	550	550	550	550	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」と思う区民の割合	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	事業場からのVOC(揮発性有機化合物)の排出量【kg】		

指標設定チェックシート

施策名	6-⑤	人にも地球にも優しく行動する人の輪を広げる
部課名	環境清掃部環境政策課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
<p>○将来を担う子ども世代の環境意識が高く、区民一人ひとりが環境を自分事として考え、行動できる土壌が形成されている。</p> <p>○区民・事業者の環境への取組が進み、連携・協働により環境への取組が進んでいる。</p>	<p>(1) ○次世代の未来を担う子どもたちに対し、地域美化やごみなどの身近な事柄から自然環境や地球温暖化・気候変動などの地球規模までの多岐に渡る環境課題に対する興味・関心をもつきっかけとなる環境教育・啓発を行っていきます。 ○専門家や企業、地域と連携した環境授業を、学校の授業時間内でも積極的に展開していきます。 ○未就学児や高校・大学生などへも環境教育・環境学習を広げていきます。 ○子どもたちとの意見交換等の機会通じて環境に係る意識を共有し、未来につなげる環境政策に反映していきます。</p>	①	環境教育支援プログラム実施回数(累計)(回)	③	環境教育支援プログラムの参加校(校)	<p>特に子ども世代への環境教育や普及啓発については、当該子どもたちが大人になったときにはじめて成果が見えてくる長期的な視点が必要なものであり、短期的に数値化するのは困難である。</p>
		②		④		
	<p>(2) ○区民や事業者に対して、情報提供や「デコ活」など行動変容を後押しする各種啓発等を通じて、環境にやさしいライフ・ワークスタイル実践に繋がります。 ○環境関係団体等による活動を支援・PRするとともに、環境イベントでの協働など、地域全体で環境に取り組む機運を醸成するとともに、活動の輪の拡大を図ります。 ○秩父市や箕輪町などとの自治体間連携を進め、森林整備等カーボンオフセットの実施や、再生可能エネルギー電力の調達など、豊島区にない地方都市の強みを区の環境政策に活かしていきます。 ○積極的に環境活動を展開している企業等と連携・協働し、企業ノウハウや発信力を活用し、区の環境政策に活かしていきます。</p>	①	「環境にやさしいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合(%)	③	環境・交流ツアー参加者数(累計)【人】	<p>上記同様、環境にやさしいライフ・ワークスタイルの実践も、効果の大きいものから小さいものでも多種多様あり、一言に数値化して言い表すのは困難である。</p>
		②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	環境教育支援プログラム実施回数(累計)(回)	回	43	95	147	199	251	303	355	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	環境教育支援プログラムの参加校(校)	校	34	30	30	31	31	32	33	新規	
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	「環境にやさしいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合(%)	%	83.5	86.3	89.0	91.8	94.5	97.3	100.0	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	環境交流ツアー参加者数(累計)	人	219	339	459	579	699	819	939	新規	
	活動指標	④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	環境教育支援プログラム実施回数(累計)(回)	子どもたちに対して実施した環境教育について把握できる指標のため		所管課データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	環境教育支援プログラムの参加校(校)	小・中学生への直接的な取り組みの一つであるため		所管課データ	
	活動指標	④					
取組方針 (2)	成果指標	①	「環境にやさしいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合(%)	環境配慮に関する区民の意識について把握できる指標のため		所管課データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	環境・交流ツアー参加者数(累計)	ダイナミックな自然体験ができる数少ない指標の一つであるため		所管課データ	
	活動指標	④					

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)―①	環境教育支援プログラム実施回数(累計)(回)	・子どもたちに対して実施した環境教育の実績として、具体的な数値として把握することができる指標であるため ・普及啓発の結果、環境問題を自分事として捉え、環境に配慮したライフスタイル等へと変容したことを把握するために最適な指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)―①	「環境にやさしいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	環境教育支援プログラム実施回数(累計)(回)	◎	✓	✓		✓	回	43	95	147	199	251	303	355	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	環境教育支援プログラムの参加校(校)	○	✓	✓		✓	校	34	30	30	31	31	32	33	適切
	活動指標 ④															
取組方針(2)	成果指標 ①	「環境にやさしいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合(%)	◎	✓	✓		✓	%	83.5	86.3	89.0	91.8	94.5	97.3	100.0	目標値が高すぎる
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	環境交流ツアー参加者数(累計)	○	✓	✓		✓	人	219	339	459	579	699	819	939	適切
	活動指標 ④															

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	「環境にやさしいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	環境教育支援プログラム実施回数(累計)(回)		

指標設定チェックシート

施策名	7-1	地域の特性を生かした都市づくり
部課名	都市整備部 都市計画課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
○ 景観や賑わいの向上により、 街を訪れた人が、思わず歩きたくなるウォーカブルな都市	(1) ○ 多様な主体が集まりイノベーションを生み出す交流機能や、文化やまちの賑わいを演出する発信機能、誰もが自由に休憩できる滞留機能など、まちの快適性が向上する機能を備えた都市空間を公民連携で創出します。 ○ 施設整備などハード面の事業を進める際は、それに関わる防災や観光、子育て、情報などのソフト面の取組みと行政分野の枠組みを超えて連携することで、住む人や訪れる人の視点に立った効率的・効果的な都市づくりを推進します。	① 「地域特性にあわせてまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 地区計画の区域面積【ha】	区民・事業者・NPO・大学などの連携による協働の度合い
		②	④	
	(2) ○ 歴史や文化といった地域特性や、施設等の資源、良好な景観、地域固有の課題などを踏まえながら、個性と魅力があふれる特色ある地域拠点を創出します。 ○ 道路の景観舗装化やバリアフリー化、四季の彩りを感じる植栽の配置等により、各拠点をつなぐ快適な歩行者ネットワークを整備します。また、民間建物の低層階に賑わい施設を誘導するなど、歩行者の更なる利便性や快適性などの向上を図ります。また、まちづくりと連動して、新駅設置に向け関係機関と協議していきます。 ○ 交通弱者が快適に移動できるよう、公共交通を利用しづらいエリアの解消に向けて、区全体の地域公共交通のあり方について計画を策定します。	① 「地域特性にあわせてまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 景観法に基づく行為の届出件数【件】	美しい街並みの形成の程度
		② 鉄道・バス等の公共交通が充実し、誰もがバリア無く移動ができると思う割合【%】	④ 池07系統の乗客数(調査推計値)	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「地域特性にあわせてまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合	%	35.6	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	継続	6-1-1地域の特性を生かした市街地の形成
	成果指標	②											
	活動指標	③	地区計画の区域面積	ha	368.0	368.0	368.0	369.0	369.0	369.0	369.0	継続	6-1-1地域の特性を生かした市街地の形成
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	「地域特性にあわせてまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合	%	35.6	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	継続	6-1-1地域の特性を生かした市街地の形成
	成果指標	②	鉄道・バス等の公共交通が充実し、誰もがバリア無く移動ができると思う割合	%		調査中							
	活動指標	③	景観法に基づく行為の届出件数	件	134	150	158	166	174	182	190	継続	6-1-1地域の特性を生かした市街地の形成
	活動指標	④	池07系統の乗客数(調査推計値)	人	100,880	102,000	103,000	104,000	105,000	106,000	107,000		

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)				出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区民意識調査による「地域特性にあわせてまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合	地域特性に応じた都市づくりの成果を示す指標のため				協働のまちづくりに関する区民意識調査報告書	
	成果指標	②							
	活動指標	③	都市計画図書の区域面積による	地区の課題や特徴を踏まえ、住民と区が連携しながら、目指すべき将来像を設定したエリアの面積であるため				所管課データ	
	活動指標	④							
取組方針 (2)	成果指標	①	区民意識調査による「地域特性にあわせてまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合	地域特性に応じた都市づくりの成果を示す指標のため				協働のまちづくりに関する区民意識調査報告書	
	成果指標	②	鉄道・バス等の公共交通が充実し、誰もがバリア無く移動ができると思う割合【%】	区内交通不便地域の解消を示す指標であるため				協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	活動指標	③	届出受付台帳による	地域特性を生かした景観形成の進捗状況を示す客観的な指標のため				所管課データ	
	活動指標	④	池07系統の乗客数(調査推計値)	公共交通の利用状況を示す客観的な指標のため				豊島区地域公共交通会議	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	活動指標	(1)―①	地区計画の区域面積【ha】	各取組方針の進捗状況を図るのにふさわしいと考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)―①	「地域特性にあわせてまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓			✓	%	35.6	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	○	✓	✓				✓	ha	368.0	368.0	368.0	369.0	369.0	369.0	369.0	適切
	活動指標 ④																
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓			✓	%	35.6	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	適切
	成果指標 ②	△	✓						%		調査中						今後設定予定
	活動指標 ③	△		✓				✓	件	134	150	158	166	174	182	190	適切
	活動指標 ④	×							人	100,880	102,000	103,000	104,000	105,000	106,000	107,000	目標値が高すぎる

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合	備考	所管部局案を採用
指標②	活動指標	地区計画の区域面積		

指標設定チェックシート

施策名	7-2	池袋駅周辺地域の再生
部課名	都市整備部都市基盤担当課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
池袋駅を中心として、様々な機能(「芸術」、「文化」、「観光」、「商業」、「業務」、「住宅」、「宿泊」、「教育」など)が融合し、国内外の多様な人を呼び込み、賑わいと活力が生み出されている。	(1) ○ 池袋駅周辺地域では、地区計画の活用や民間都市再生事業を通じて、様々な都市機能を集積させるとともに、駐車場地域ルールなどの交通施策を推進し、歩行者空間の拡幅など多様な空間整備を促すことにより、芸術・文化の活動・発信拠点の拡充を図ります。さらに、防災性の強化や潤い豊かなみどりを増やし、池袋の魅力や価値をさらに向上させます。 ○ 池袋駅の東西を繋ぐ自由通路(デッキ)整備や環状5の1号線開通を見据えた東口駅前広場の再編(クルドサック化)の検討、西口での再開発事業を通じた駅前広場の再整備・歩行者空間の拡充を推進し、誰もが駅からまちへ、東西のまちからまちへ快適に行き交うことのできるウォークアブルなまちの中心として再生していきます。	① 「池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合【%】	③ 池袋駅周辺の地区計画の累計届出件数【件】	池袋駅周辺の歩行者数【人】
		② 池袋駅周辺地域の鉄道駅(池袋駅、東池袋駅)乗降客数【人】	④ 池袋地区駐車場地域ルールの累計適用件数【件】	
	(2) ○ グリーン大通りなどの公共空間を活用した社会実験や、地域拠点の価値を高めるエリアマネジメントの運営を支援します。 ○ 池袋で活動する多様な主体が協働して進める池袋エリアプラットフォームとの連携により、目指すべき将来像を共有し、その実現を目指すとともに、今あるソフト・ハードのあらゆるストックを利活用し、池袋の魅力や価値を発信していきます。	① 「池袋を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合【%】	③ 池袋エリアプラットフォームの会員数【社】	池袋駅からのまちへ流出した歩行者数【人】
		② エリアマネジメントの団体数【団体】	④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
		実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	「池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	%	46.7	53.0	56.0	59.0	62.0	65.0	68.0	継続	6-1-2池袋副都心の再生
	成果指標 ②	池袋駅周辺地域の鉄道駅(池袋駅、東池袋駅)乗降客数	人	2,350,918	2,390,000	2,430,000	2,460,000	2,490,000	2,520,000	2,550,000	新規	
	活動指標 ③	池袋駅周辺の地区計画の累計届出件数	件	152	202	252	302	352	402	452	新規	
	活動指標 ④	池袋地区駐車場地域ルール of 累計適用件数	件	12	14	16	18	20	22	24	新規	
取組方針(2)	成果指標 ①	「池袋を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	%	34.5	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	継続	6-1-4居心地が良く歩きたくなる空間づくり
	成果指標 ②	エリアマネジメントの団体数	団体	2	2	3	3	3	4	5	新規	
	活動指標 ③	イベント実施による公園や道路の占用申請件数	件	219	383	268	340	365	390	415	新規	
	活動指標 ④											

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典	
取組方針(1)	成果指標 ①	区民意識調査での「池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいるか」という質問について肯定的な回答をした区民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②	池袋駅及び東池袋駅の乗降客数	池袋駅及び東池袋駅の乗降客数を把握できる指標であり、池袋駅周辺地域の賑わいを示す指標であるため	鉄道各社HP
	活動指標 ③	池袋駅周辺の地区計画の累計届出件数	池袋駅周辺地域におけるまちづくりの進捗状況を示す指標であるため	所管課データ
	活動指標 ④	池袋地区駐車場地域ルール of 累計適用件数	池袋駅周辺地域における交通施策の進展を示す指標であり、不要な駐車場整備の抑制を示す指標であるため	所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ①	区民意識調査での「池袋を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる」という質問について肯定的な回答をした区民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②	エリアマネジメント団体が組成されている数	民間主体によるまちづくりが行われていることを示す指標であるため	所管課データ
	活動指標 ③	イベント実施による公園や道路の占用申請件数	池袋駅周辺地域における、賑わい等のイベント実施件数を示す指標であるため	所管課データ
	活動指標 ④			

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-②	池袋駅周辺地域の鉄道駅(池袋駅、東池袋駅)乗降客数	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓		✓	%	46.7	53.0	56.0	59.0	62.0	65.0	68.0	適切
	成果指標 ②	△		✓					人	2,350,918	2,390,000	2,430,000	2,460,000	2,490,000	2,520,000	2,550,000	適切
	活動指標 ③	○	✓	✓					件	152	202	252	302	352	402	452	適切
	活動指標 ④	△		✓					件	12	14	16	18	20	22	24	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓		✓	%	34.5	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	適切
	成果指標 ②	◎	✓	✓	✓	✓			団体	2	2	3	3	3	4	5	適切
	活動指標 ③	△		✓					件	219	383	268	340	365	390	415	適切
	活動指標 ④																

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	備考	施策の方向性を踏まえ、所管案(駅乗降客数)よりエリアマネジメント団体数の方がより施策効果を表している。
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	エリアマネジメントの団体数		

指標設定チェックシート

施策名	7-③	交通安全対策の推進
部課名	都市整備部 土木管理課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>交通安全の気運醸成と歩行者や自転車の道路交通環境の整備により、すべての区民の命を守り、快適に生活できるまちとなっている。</p>	<p>(1) 【交通安全の普及啓発と安全・安心な道路交通環境の整備】</p> <p>○年間を通じて、地元警察署、地域団体(町会・商店会等)、学校、鉄道事業者、地元企業と連携協力し、電動キックボードなど新たなモビリティに対応した交通安全の普及啓発に取り組みます。</p> <p>○子育て世代や高齢者向けの研修会を開催し、交通ルールの遵守・マナー向上、自転車損害保険等の加入や高齢者の自動車運転免許の返納を呼びかけます。</p> <p>○自転車交通事故で死亡した方の多くは、頭部を損傷していることから、自転車用ヘルメットの着用を促すため、全年齢対象の購入補助制度の活用を呼びかけます。</p> <p>○来街する外国籍の方などにも、交通ルールやマナーを理解してもらうため、多言語を用いて、冊子、区ホームページやSNSによる情報発信を行います。</p> <p>○自転車駐車場は、民間経営的な視点を取り入れながら、自転車の大型化や電動化に対応し、誰もが使いやすい施設として整備を進めます。また、放置自転車の多い地域周辺のビルテナントや店舗等に協力を促し、自転車の短時間放置を抑制します。</p> <p>○交通事故や自転車走行空間の情報に基づき、地域に根差した効率的かつ効果的な交通安全対策を推進します。</p> <p>○自転車を活用して、健康や暮らしの向上、まちの賑わいづくりにつなげます。</p>	<p>① 区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件/年】</p>	<p>⑤ 地域連携による交通安全運動等の実施【回/年】</p>	<p>地域と連携し進める左記等の諸活動を通じて、区は地域情報に直接触れることができる。なにより区民が交通安全へ関心を持つきっかけとなっている。</p>
		<p>② 交通事故が少ない(満足度:どちらかというと思う)【%】</p>	<p>⑥ 安全・安心メール配信、多様な広報媒体による広報活動の実施【回/年】</p>	
		<p>③ 交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等への参加人数【人/年】</p>	<p>⑦ 自転車用ヘルメット補助回数【個/年】</p>	
		<p>④ 安全・快適に自転車が利用できる(満足度:どちらかというと思う)【%】</p>	<p>⑧ 交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等の開催回数【回/年】</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名			
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値					
取組方針 (1)	成果指標	①	区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件/年】	件	307	226	300	290	280	270	260	継続	6-5-2 交通安全対策の推進	
	成果指標	②	交通事故が少ない(満足度:どちらかというと思う)【%】	%	24.0	24.2	24.4	24.6	24.8	25.0	25.2	新規		
	成果指標	③	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等への参加人数【人/年】	人	1,037	1,040	1,045	1,050	1,055	1,060	1,065	新規		
	成果指標	④	安全・快適に自転車が利用できる(満足度:どちらかというと思う)【%】	%			-	-	-	-	-	新規	新基本計画期間からの区民意識調査項目とする	
	活動指標	⑤	地域連携による交通安全運動等の実施【回/年】	回	30	30	30	30	30	30	30	新規		
	活動指標	⑥	安全・安心メール配信、多様な広報媒体による広報活動の実施【回/年】	回	28	32	32	32	32	32	32	新規		
	活動指標	⑦	自転車用ヘルメット補助回数【個/年】	個	1,071	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	継続	6-5-2 交通安全対策の推進
	活動指標	⑧	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等の開催回数【回/年】	回	44	44	44	44	44	44	44	44	新規	6-5-2 交通安全対策の推進

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)	出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区内の自転車乗用中の交通事故発生件数	定量的な目標値が設定できるため。	警視庁
	成果指標	②	「交通事故が少ない」について肯定的な回答をする割合【%】	目指すべき方向性が時点によって変化しない指標であるため。	区民意識調査
	成果指標	③	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等への参加人数【人/年】	交通事故時の被害軽減に向け、研修会の開催を通じて、交通安全啓発と自転車用ヘルメットなどの補助制度などを直接区民へ紹介できるため。	所管課データ
	成果指標	④	安全・快適に自転車が利用できる(満足度:どちらかというと思う)【%】	目指すべき方向性が時点によって変化しない指標であるため。	区民意識調査
	活動指標	⑤	地域連携による交通安全運動等の実施【回/年】	交通安全啓発における地域連携の具体的な取り組みのため。	所管課データ
	活動指標	⑥	安全・安心メール配信、多様な広報媒体による広報活動の実施【回/年】	交通安全啓発における具体的な取り組みのため。	所管課データ
	活動指標	⑦	自転車用ヘルメット補助回数【個/年】	自転車事故で死亡する人の多くが、頭部致命傷を負うことから頭部損傷の軽減を図るため。	所管課データ
	活動指標	⑧	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等の開催回数【回/年】	自転車乗車中の交通事故による受傷者が多い層をターゲットとして具体的な取り組みのため。	所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件/年】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-③	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等への参加人数【人/年】	・両指標により、交通安全の視点と、事故時被害を軽減するための取組みを表すことができるため。

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件/年】	◎	✓	✓		✓	✓	件	307	226	300	290	280	270	260	適切
	成果指標 ②	交通事故が少ない(満足度:どちらかというと思う)【%】	×						%	24.0	24.2	24.4	24.6	24.8	25.0	25.2	目標値が低すぎる
	成果指標 ③	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等への参加人数【人/年】	○	✓	✓	✓			人	1,037	1,040	1,045	1,050	1,055	1,060	1,065	適切
	活動指標 ④	安全・快適に自転車が利用できる(満足度:どちらかというと思う)【%】	×						%			-	-	-	-	-	今後設定予定
取組方針(2)	成果指標 ①	地域連携による交通安全運動等の実施【回/年】	○	✓	✓				回	30	30	30	30	30	30	30	適切
	成果指標 ②	安全・安心メール配信、多様な広報媒体による広報活動の実施【回/年】	△		✓				回	28	32	32	32	32	32	32	適切
	活動指標 ③	自転車用ヘルメット補助個数【個/年】	○	✓	✓			✓	個	1,071	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	適切
	活動指標 ④	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等の開催回数【回/年】	○	✓	✓				回	44	44	44	44	44	44	44	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件/年】	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等への参加人数【人/年】		

指標設定チェックシート

施策名	7-④	魅力あふれる公園づくりへの挑戦
部課名	都市整備部公園緑地課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>○公園のリノベーションを進め、特徴のある公園が多くの区民に利用されている。</p> <p>○近くに好きな公園があり、子供だけではなく幅広い年齢層の区民が集って、公園が地域のコミュニティの拠点になっている。</p>	<p>(1) ○小規模な公園が多い豊島区の特徴を逆手にとり、各公園を憩い・遊び・交流など、機能の役割分担にメリハリを付け、互いに補完し合える公園づくりを目指します。 ○子どもから高齢者まで、様々な地域住民の意見を聞きながら、ボール遊びのできる公園、水や自然に親しめる公園、遊具のある公園など、特徴のある公園にリニューアルします。 ○障害の有無や年齢に関係なく、誰もが安全に、一緒に楽しむことができる公園を目指します。 ○身近なみどりを自然環境資源として次世代へ引き継ぎます。</p>	① 「近くに好きな公園がある」と思う区民の割合【%】	③ 公園を再整備した箇所数【箇所】	
		②	④	
	<p>(2) ○身近な公園を、子育て・地域コミュニティ・憩いの場など、地域の特性に応じた活用ができるように地域が一体となって育てます。 ○地域コミュニティの促進のため公園を活性化したいグループと締結する「公園活用協定」や公園等で花壇の維持管理を行う「みどりの協定」等で、公園の利活用を促し、身近な公園への愛着心を醸成すると共に、地域主体のイベントをバックアップします。 ○池袋駅周辺の4つの公園を核として、公民連携による様々なイベントなどにより、まちの魅力と賑わいを創出します。 ○地域住民や事業者・学生など、多様な意見を地域ルールとして反映しながら、地域の人たちが主体的にコーディネートできるよう取り組みます。</p>	① 豊島区公園緑地課(公式アカウント)が発信したSNSのフォロワー数	③ 公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で活用を行う団体数【団体】	
		②	④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
		実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	「近くに好きな公園がある」と思う区民の割合	%	49.1	49.5	50.5	51.5	53.0	54.0	55.0	継続	5-1-1 みどりの活動拠点の創造と育成
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	公園を再整備した累積箇所数	箇所	2	4	6	8	10	12	14	新規	所管課データ
	活動指標 ④											
取組方針(2)	成果指標 ①	豊島区公園緑地課(公式アカウント)が発信したSNSのフォロワー数	人	0	500	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	新規	所管課データ
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数	団体	54	56	58	60	62	64	66	新規	所管課データ
	活動指標 ④											

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典	
取組方針(1)	成果指標 ①	「近くに好きな公園がある」について、肯定的に思う区民の割合【%】	近くの公園にどれだけ愛着を持っているか端的に表す指標であるため。	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②			
	活動指標 ③	公園のリノベーション計画にもとづき、再整備した公園の箇所数(累計)	リノベーション計画にもとづき、特徴のある公園整備の進捗を示している指標であるため。	所管課データ
	活動指標 ④			
取組方針(2)	成果指標 ①	豊島区公園緑地課(公式アカウント)が発信したSNSのフォロワー数	区内各公園で実施される活動やイベントについて、興味をもってもらえる人の数を客観的に把握できるため。	所管課データ
	成果指標 ②			
	活動指標 ③	公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数	公園等で地域活動を実施する団体を促進しているため。	所管課データ
	活動指標 ④			

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「近くに好きな公園がある」と思う区民の割合【%】	・各取り組み方針の進捗を図るに最もふさわしい指標で、施策を的確に表していると考えられるため。
2	活動指標	(2)-③	公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数【団体】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓		✓		✓	%	49.1	49.5	50.5	51.5	53.0	54.0	55.0	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	△		✓					箇所	2	4	6	8	10	12	14	適切
	活動指標 ④																
取組方針(2)	成果指標 ①	△	✓			✓			人	0	500	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	◎	✓	✓	✓	✓			団体	54	56	58	60	62	64	66	適切
	活動指標 ④																

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「近くに好きな公園がある」と思う区民の割合【%】	備考	所管部局案を採用
指標②	活動指標	公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数【団体】		

指標設定チェックシート

施策名	1	地域課題を考え抜き、成長し続ける職員と組織
部課名	政策経営部行政経営課、総務部人事課、総務部コンプライアンス担当課	

【1. 取組の目標、取組方針と指標の対応関係】

取組の目標	取組方針	定量的評価				定性的評価	
		成果指標		活動指標		数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
職員個々の能力や強み、発想力、主体性を最大限に引き出すとともに、組織の垣根を超えた多様な主体との連携により、限られた行政資源を最大限有効に活用した、柔軟かつ最適な行政経営システムを構築し、区民一人ひとりの満足感(ウェルビーイング)を高める、持続可能な組織運営を実現します。	(1)	○積極的に現場に出て、区民の声を真摯に受け止め、信頼関係を築くとともに、鋭敏な経営感覚と先見性を政策立案に遺憾なく発揮し、卓越したコミュニケーション力により多様なステークホルダーと連携しながら、困難な課題を解決できる職員を育成します。 ○職員が自らのアイデアや意欲と責任によって、区民の暮らしを支え、その声を反映した事業の実現を通じて、職員の成長を促すとともに仕事への誇りとやりがいを高めます。また、幹部職員等の適切なマネジメントやライフスタイルに沿った柔軟な働き方など安心して働き続けることのできる環境を実現し、職員の心と身体の健康を維持・向上させ、組織全体の生産性を高めます。	①	「仕事を通じて、自分の成長を感じている」と答えた職員の割合【%】	③	キャリアデザイン研修の実施回数【回】	職場の風通しが良く、職員のキャリアを応援しようとする組織風土の醸成
		②	ストレスチェックの回収数に占める「高ストレス者」とされた職員の比率【%】	④	ストレスチェック受検率【%】		
	(2)	○社会経済状況の変化や多様な区民ニーズを機敏に捉え、部局横断的な庁内プロジェクトや地域団体、大学、民間企業など多様な主体との連携により、組織や地域との「つながり」を活かした柔軟性のある総合的な組織力で、変化する地域課題の解決にスピード感を持って取り組みます。 ○全庁体制による危機事象への対応、事務執行に潜むリスクの可視化と事前予防策を的確に整備・運用する内部統制の推進により、組織のリスクマネジメントやコンプライアンス体制を更に強化し、区民から信頼される公正・公平な区政運営を実現します。	①	「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていく」と思う区民の割合【%】	③		・区政運営における人的・物的な効率性の向上度合い
		②	内部統制における運用上の不備ありとされたリスクの割合【%】	④	業務レベルのリスク対応策を整備するリスクの総数【件】		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

			新基本計画期間(2025-2029)										
指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「仕事を通じて、自分の成長を感じている」と答えた職員の割合	%	47.9	48.0	50.0	52.0	54.0	57.0	60.0	新規	
	成果指標	②	ストレスチェックの回収数に占める「高ストレス者」とされた職員の比率	%	12.5	12.2	11.9	11.5	11.0	10.5	10.0	新規	
	活動指標	③	キャリアデザイン研修の実施回数	回	5	5	5	5	5	5	5	新規	
	活動指標	④	ストレスチェック受検率	%	83.3	83.5	83.7	83.9	84.1	84.3	84.5	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていく」と思う区民の割合	%	48.0	49.0	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	継続	
	成果指標	②	内部統制における運用上の不備ありとされたリスクの割合	%	-	-	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	新規	
	活動指標	③											
	活動指標	④	業務レベルのリスク対応策を整備するリスクの総数【件】	件	-	-	330	330	330	330	330	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	人材育成に関する職員意識調査の「仕事を通じて、自分の成長を感じていますか」の設問に対し「大いに感じている」「感じている」と回答した割合	持続可能な組織運営を実現するには、一人ひとりの職員が仕事を通じて自らの成長を実感できることが重要であるため		所管課データ	
	成果指標	②	ストレスチェック(任意)を受けた職員のうち、高ストレスが認められるため、医師等に相談した方がいいとされた職員の比率	職員一人ひとりの心と身体の健康を向上していくためには、自らのストレスの気づきを促し、メンタルヘルス不調になることを未然に防いでいく必要があるため		法定調査	
	活動指標	③	キャリアデザイン研修の実施回数	キャリアについて学ぶ研修を実施することで、自身が伸ばしたいと感じる能力や目標等が明確になり、仕事へのチャレンジ意欲や成長実感が感じられるようになることが期待されるため		課作成資料	
	活動指標	④	ストレスチェック(任意)を受けた職員の合計	ストレスチェックは労働安全衛生法に基づく調査であり、信頼性の高い調査であるため		法定調査	
取組方針 (2)	成果指標	①	区民意識調査の「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていくと思いますか」の設問に対し「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合	区民の意識を直接的に反映した結果であるため		区民意識調査報告書	
	成果指標	②	内部統制評価結果報告書において、全体のリスクのうち運用上の不備ありとされたリスクの割合	内部統制の取り組みにより結果的にリスク発生が減少していることを示す指標のため		内部統制評価結果報告書	
	活動指標	③					
	活動指標	④	内部統制に関する庁内周知、研修等の取組の実施回数	全庁的に内部統制に対する意識が高まることで、より効果が出ることを期待されるため		課作成資料	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	「仕事を通じて、自分の成長を感じている」と思う職員の割合	・区民サービスの向上には一人ひとりの職員が仕事に誇りや働き甲斐を感じていることが重要であり、成長実感は働き甲斐等を示す指標であるため
2	成果指標(区民意識調査)	(2)-①	「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていく」と思う区民の割合	・施策効果に対する区民の意識を直接的に反映した指標であるため

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			%	47.9	48.0	50.0	52.0	54.0	57.0	60.0	適切
	成果指標 ②	△		✓					%	12.5	12.2	11.9	11.5	11.0	10.5	10.0	適切
	活動指標 ③	○	✓	✓					回	5	5	5	5	5	5	5	適切
	活動指標 ④	△		✓					%	83.3	83.5	83.7	83.9	84.1	84.3	84.5	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓		✓	✓		%	48.0	49.0	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	適切
	成果指標 ②	△		✓					%	-	-	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	適切
	活動指標 ③																
	活動指標 ④	△		✓					件	-	-	330	330	330	330	330	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	「仕事を通じて、自分の成長を感じている」と思う職員の割合	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査)	「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができています」と思う区民の割合		

指標設定チェックシート

施策名	2	持続発展するまちづくりを実現する行財政運営
部課名	政策経営部 財政課 / 行政経営課 / 総務部人事課 / 区民部 収納推進担当課長	

【1. 取組の目標、取組方針と指標の対応関係】

取組の目標	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない/ 数値化できない評価の視点
<p>○行財政改革による経営資源の最適化により、区民ニーズを的確に捉えた事業を、最少の経費で効果的に展開します。</p> <p>○区民ニーズの変化や急激な景気悪化にも耐えられる強固で健全な財政基盤を確立し、持続します。</p>	<p>(1) 効果的・効率的な行政サービスの提供</p> <p>○様々な機会を通じて区民の声を聴き、必要性・有効性・効率性など区民視点から施策のあり方を考え抜き、区民ニーズに即した施策へと再構築(リビルド)を繰り返すことを基本としつつ、デジタルを活用した事務改善、より効率的な手法への転換、事業の統合・集約などにより行政サービスの最適化を追求し、効果的・効率的な区政運営を実現します。</p> <p>○削減ありきではなく、業務の量や困難性を十分に考慮したうえで、定員を適正化するとともに、会計年度任用職員や民間活力との連携等を含めた効果的・効率的な職員配置を進めます。</p>	① 「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていく」と思う区民の割合【%】	③	
		② 事務事業評価における見直し・改善判定のうち、必要な対策を講じた割合	④	行政評価実施事業数(施策+事務事業)【件】
	<p>(2) 計画的・安定的な財政運営</p> <p>○直面する課題に対応しつつ、老朽化施設の更新や市街地再開発事業などを確実に進めるため、必要な基金を着実に確保するとともに、長期金利等の状況を見極めながら特別区債を有効に活用するなど、中長期的視点に立った計画的な財政運営を実現します。</p> <p>○経常収支比率などの財政指標により健全性を常時チェックするばかりでなく、適切な執行管理や一定規模の財調基金残高を確保するなど、危機に備える安定的な財政基盤を構築します。</p>	① 経常収支比率(%)	③	
		②	④	
	<p>(3) 歳入確保の取組み</p> <p>○DXの推進、法律の専門家と連携した収納対策、外国人住民への制度周知など、収納対策を強化し、各種債権の収納率を向上するとともに、国や都補助金の活用、ふるさと納税の充実、特定事業への寄附の推進など、資金調達を強化し、歳入確保を積極的に進めます。</p> <p>○不合理な税制改正や都区財政調整協議などは正すべき点については、国や東京都に対し主張し続けるとともに、こうした課題を区民と共有し、問題意識を高めます。</p>	① 特別区民税収納率(%)	③ コンビニ、口座振替及びキャッシュレス納税率(%)	
		②	④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			単位	新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値
取組方針(1)	成果指標	① 「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができて」と思う区民の割合	%	48.0	49.0	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	継続	
	成果指標	② 事務事業評価における見直し・改善判定のうち、必要な対策を講じた割合	%	60	70	70	70	80	80	80	新規	
	活動指標	③										
	活動指標	④ 行政評価実施事業数(施策+事務事業)	件	109	103	120	120	120	120	120	継続	
取組方針(2)	成果指標	① 経常収支比率	%	70~80	70~80	70~80	70~80	70~80	70~80	70~80	継続	
	成果指標	②										
	活動指標	③										
	活動指標	④										
取組方針(3)	成果指標	① 特別区民税収納率	%	97.87	97.90	97.95	98.00	98.05	98.10	98.15	継続	
	成果指標	②										
	活動指標	③ コンビニ、口座振替及びキャッシュレス納税率	%	82.0	82.5	83.0	83.5	84.0	84.5	85.0	継続	
	活動指標	④										

指標			指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針(1)	成果指標	① 区民意識調査の「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができて」と思うか」の設問に対し「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合	区民の意識を直接的に反映した結果であるため		区民の意識を直接的に反映した結果であるため		区民意識調査報告書
	成果指標	② 事務事業評価において、前年度の評価が見直し・改善判定のうち、次年度の評価結果において必要な対策を講じたとされる割合	見直しや改善を要する事業等について、実際に対策を講じた結果を表しているため。		見直しや改善を要する事業等について、実際に対策を講じた結果を表しているため。		所管課データ
	活動指標	③ 施策評価と事務事業評価表の実施件数	施策及び事業における進捗状況・評価内容を表しているため		施策及び事業における進捗状況・評価内容を表しているため		所管課データ
	活動指標	④					
取組方針(2)	成果指標	① 経常的経費充当一般財源/経常一般財源歳入×100	財政構造の弾力性を表す指標。適正水準は70~80%とされている		財政構造の弾力性を表す指標。適正水準は70~80%とされている		所管課データ
	成果指標	②					
	活動指標	③					
	活動指標	④					
取組方針(3)	成果指標	① 特別区民税収入額/特別区民税調定額×100	二大財源の一つである区民税の収入状況を示す指標		二大財源の一つである区民税の収入状況を示す指標		所管課データ
	成果指標	②					
	活動指標	③ コンビニ、口座振替及びキャッシュレス納税件数/特別区民税普通徴収全体の納税件数×100	納税者の利便性と収納率の向上につながる指標であるため		納税者の利便性と収納率の向上につながる指標であるため		所管課データ
	活動指標	④					

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)①	経常収支比率	2. 財政構造の弾力性を表す指標。適正水準は70~80%とされている
2	成果指標(区民意識調査以外)	(3)①	特別区民税収納率	3. 二大財源の一つである区民税の収入状況を示す指標

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すま ちの姿や取 組方針を 適切に表し ている	②データや 算定方法 の信頼性が 高い	③豊島区 らしさを表し ている	④指標自 体がポジ ティブな印 象である	⑤国・都の 計画等で 目標の方 向性が示さ れている	⑥現計画と 継続する指 標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定 の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標 ①	「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができています」と思う区民の割合	△	✓		✓	✓	%	48.0	49.0	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	適切
	成果指標 ②	事務事業評価における見直し・改善判定のうち、必要な対策を講じた割合	△	✓				%	60	70	70	70	80	80	80	適切
	活動指標 ③															
	活動指標 ④	行政評価実施事業数(施策+事務事業)	△	✓			✓	件	109	103	120	120	120	120	120	適切
取組方針 (2)	成果指標 ①	経常収支比率	○	✓	✓		✓	%	70~80	70~80	70~80	70~80	70~80	70~80	70~80	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③															
	活動指標 ④															
取組方針 (3)	成果指標 ①	特別区民税収納率	○	✓	✓		✓	%	70~80	70~80	70~80	70~80	70~80	70~80	70~80	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	コンビニ、口座振替及びキャッシュレス納税率	△		✓		✓	%	82.0	82.5	83.0	83.5	84.0	84.5	85.0	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	経常収支比率	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	特別区民税収納率		

指標設定チェックシート

施策名	3	将来を見据えた公共施設等のマネジメント
部課名	政策経営部施設計画担当課長	

【1. 取組の目標、取組方針と指標の対応関係】

取組の目標	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない/ 数値化できない評価の視点		
<p>○必要な区民サービスを持続的に提供するため、公共施設等の安全性や快適性を保ちつつ、中長期的な視点からの再構築と効率的な管理運営を進めます。</p>	<p>(1) ○必要な区民サービスを持続的に提供するため、健全な財政に裏付けられた区施設の改築改修計画を策定し、着実に建物を更新(改築・スケルトン改修)するとともに、道路や橋梁などのインフラについても、長寿命化計画等に基づき改修を進めます。 ○区施設の計画策定時や改築・新設する際には、既存施設の利用状況や利便性をはじめ、地域全体の効用の最大化を目的とした他施設との複合化や集約化、未利用地の転用、国や東京都などの有する資産の活用などによる施設の再構築を検証するとともに、将来の行政需要の変化を見据えながら、延床面積の適切な管理に努めます。</p>	①	区が保有及び管理する施設の延床面積	③	解体等により減少、建設等により増加した施設の延床面積	<p>未利用地の転用や資産活用、施設の再構築により、複合化や集約化した施設や施設配置に伴う利用者の利便性や満足度</p> <p>児童数の増加などの社会状況による新たな行政需要への対応</p>
		②	橋梁の長寿命化進捗率	④	橋梁の長寿命化工事件数	
	<p>(2) ○定期的な点検や躯体の健全度調査などの結果に基づき、設備やインフラの適切な改修や補修による予防保全に努めながら、安全性や快適性を確保します。 ○公共施設等の更新や改修時には、ユニバーサルデザイン化の推進、防災機能の向上、遮熱性舗装や緑化推進などのヒートアイランド対策、区有施設のZEB化(建物で消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすることを旨とした建物)などの取り組みにより、環境負荷の低減を進めるとともに、省エネルギーや高効率の設備を活用することで、ランニングコストの抑制を目指します。</p>	①	学校改築の進捗率	③	学校改築工事件数	<p>施設更新時の環境配慮や省エネルギー設備の導入などに関するガイドラインの策定</p> <p>みどりの条例などによる、施設更新等に伴う緑化の推進</p>
		②		④		
	<p>(3) ○公園のエリアマネジメントにおける地域住民などの主導による管理、民間活用による公民が連携した管理などにより、多様な主体との協働による施設等の効果的・効率的な管理・運営に努めます。</p>	①	イケ・サンパークの利用者満足割合	③		
		②	図書館の利用者満足割合	④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値			
取組方針(1)	成果指標	① 区が保有及び管理する施設の延床面積	万㎡	45.13	45.44	44.76	45.28	44.82	46.14	46.77	継続	
	成果指標	② 橋梁の長寿命化進捗率	%	33.3	33.3	66.6	66.6	66.6	66.6	66.6	継続	
	活動指標	③ 解体等により減少、建設等により増加した施設の延床面積	万㎡	-0.88 +1.66	-0.60 +0.91	-0.89 +0.31	-0.32 +0.84	-0.59 +0.13	-0.00 +1.32	-0.06 +0.69	新規	
	活動指標	④ 橋梁の長寿命化工事件数	件	1	2	2	1	1	1	1	新規	
取組方針(2)	成果指標	① 学校改築の進捗率	件	33.3	33.3	33.3	33.3	35.7	35.7	35.7	新規	
	成果指標	②										
	活動指標	③ 学校改築工事件数	件	0	1	1	1	1	0	0	新規	
	活動指標	④										
(取組方針3)	成果指標	① イケ・サンパークの利用者満足割合	%	93.7	94.0	94.3	94.6	94.8	95.1	95.4	新規	
	成果指標	② 図書館の利用者満足割合	%	86.7	87.0	87.3	88.4	88.7	89.0	89.3	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)				出典
取組方針(1)	成果指標	① 区が保有及び管理する施設の延床面積	改築・改修費や維持管理費の増減に関わる基本的な指標であるため				所管課データ
	成果指標	② 橋梁の長寿命化計画に定める対象施設の長寿命化進捗率	橋梁が中長期的に安全に維持されていくことを示す指標であるため				所管課データ
	活動指標	③ 区が保有及び管理する施設のうち、前年度に解体等により減少、建設等により増加した施設の延床面積	施設の延床面積の増減要因を示す指標であるため				所管課データ
	活動指標	④ 橋梁の長寿命化計画対象施設にかかる長寿命化工事件数	成果指標②の活動量を示す指標であるため				所管課データ
取組方針(2)	成果指標	① 改築済の区立小中学校/区立小中学校数	建物の更新状況を示す指標であるため				所管課データ
	成果指標	②					
	活動指標	③ 区立小中学校の改築工事件数	成果指標②の活動量を示す指標であるため				所管課データ
	活動指標	④					
(取組方針3)	成果指標	① 指定管理を導入している施設にかかる利用者アンケートの総合評価において、「満足」「ほぼ満足」と回答している割合	多様な主体による管理運営による効果を図る指標であるため				所管課データ
	成果指標	② 指定管理を導入している施設にかかる利用者アンケートの総合評価において、「満足」「ほぼ満足」と回答している割合	多様な主体による管理運営による効果を図る指標であるため				所管課データ

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	区が保有及び管理する施設の延床面積	・取組目標及び取組方針を広く表現しているため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	学校改築の進捗率	・取組方針(2)を、進捗をわかりやすく示す指標であるため

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	区が保有及び管理する施設の延床面積	◎	✓	✓	✓		万㎡	45.13	45.44	44.76	45.28	44.82	46.14	46.77	適切
	成果指標 ②	橋梁の長寿命化進捗率	△		✓			%	33.3	33.3	66.6	66.6	66.6	66.6	66.6	適切
	活動指標 ③	解体等により減少、建設等により増加した施設の延床面積	△		✓			万㎡	-0.88 +1.66	-0.60 +0.91	-0.89 +0.31	-0.32 +0.84	-0.59 +0.13	-0.00 +1.32	-0.06 +0.69	適切
	活動指標 ④	橋梁の長寿命化工事件数	△		✓			件	1	2	2	1	1	1	1	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	学校改築の進捗率	○	✓	✓	✓		件	33.3	33.3	33.3	33.3	35.7	35.7	35.7	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	学校改築工事件数	○	✓	✓			件	0	1	1	1	1	0	0	適切
	活動指標 ④															
取組方針(3)	成果指標 ①	イケ・サンパークの利用者満足割合	△		✓	✓	✓	%	93.7	94.0	94.3	94.6	94.8	95.1	95.4	適切
	成果指標 ②	図書館の利用者満足割合	△		✓			%	86.7	87.0	87.3	88.4	88.7	89.0	89.3	適切
	活動指標 ③															
	活動指標 ④															

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	区が保有及び管理する施設の延床面積	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	学校改築の進捗率		

指標設定チェックシート

施策名	4	デジタル技術を活用した効率的かつ質の高い行政サービス
部課名	政策経営部 情報管理課	

【1. 取組の目標、取組方針と指標の対応関係】

取組の目標	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
デジタル技術を活用し、庁内業務を再構築することにより、質の高い区民サービスを効率的かつ持続的に提供していきます。	(1) ○区民のライフスタイルの多様化に応じ、あらゆる世代の区民がデジタル技術の恩恵を享受できるよう、デジタルデバイドの課題に的確に対応しつつ、デジタル技術活用之際して、すべての分野において区民ファーストの視点で区政を見直します。 ○行政手続きのデジタル化を積極的に進めることにより、時間や場所を選ばない「来庁不要」や「書かない窓口」などサービスの向上を強力に推進します。 ○デジタル化に合わせて業務の手順や進め方を徹底的に見直し、区民目線で手続き等をより分かりやすくシンプルに改善するとともに、事務の効率化や再構築を積極的に進めます。	① オンラインにて対応可能な行政手続きの割合	③ コンビニ交付発行件数	
		②	④	
	(2) ○個人情報保護に留意しつつ、業務効率化に資するクラウドサービス等を積極的に活用していくため、庁内のネットワーク環境の見直しを進めます。 ○デジタル人材の確保が難しい中でも各職場での取組みが自走できるよう、DXにおける職員の行動規範を定めるほか、研修・研究の機会を充実させることにより、職員一人ひとりが「DXの実践者」となるよう職員の意識を改革します。 ○各部局でのDXの取組みを支援するため、デジタル技術に精通した専門職を積極的に活用するほか、全庁的な取組みをコーディネートするための体制を構築します。	① 職員アンケート結果(デジタル化の浸透度)	③ DX関連研修の受講者数	
		②	④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

			新基本計画期間(2025-2029)										
指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	オンラインにて対応可能な行政手続きの割合	%	①の実績値は調査中・目標値は実績値を踏まえ検討。						新規		
	成果指標	②											
	活動指標	③	コンビニ交付発行件数	件	126,128	③の目標値は検討。						継続	
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	職員アンケート結果(デジタル化の浸透度)	%	①の実績値は調査中・目標値は実績値を踏まえ検討。						新規		
	成果指標	②											
	活動指標	③	DX関連研修の受講者数	人	55.0	75.0	100.0	130.0	170.0	210.0	250.0	新規	
	活動指標	④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	オンラインにて対応可能な行政手続きの割合	「来庁不要区役所」の実現度を把握するうえで最も適当な指標であるため。		庁内調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	コンビニ交付発行件数	来庁不要な手続きのニーズにどの程度応えられているのかを把握するうえで適当な指標であるため。		所管課調査	
	活動指標	④					
取組方針 (2)	成果指標	①	職員アンケート結果(デジタル化の浸透度)	職員の意識変革の度合いを測るうえで最も適当な指標であるため。		庁内でのアンケート調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	DX関連研修の受講者数	職員のITリテラシーを向上させるうえで最も効果的な取組みが研修受講であるため。		所管課調査	
	活動指標	④					

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー①	オンラインにて対応可能な行政手続きの割合	1. 行政手続きオンライン化の進捗を最も適切に把握できる指標のため。 2. 庁内におけるDXの浸透度を最も適切に把握できる指標のため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー①	職員アンケート結果(デジタル化の浸透度)	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定			
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	オンラインにて対応可能な行政手続きの割合	◎	✓	✓		✓	✓								◎	①の実績値は調査中・目標値は実績値を踏まえ検討。	今後設定予定	
	成果指標 ②																		
	活動指標 ③	コンビニ交付発行件数	○	✓	✓												○	③の目標値は検討。	今後設定予定
	活動指標 ④																		
取組方針(2)	成果指標 ①	職員アンケート結果(デジタル化の浸透度)	○	✓	✓		✓										○	①の実績値は調査中・目標値は実績値を踏まえ検討。	今後設定予定
	成果指標 ②																		
	活動指標 ③	DX関連研修の受講者数	○	✓	✓				人	55.0	75.0	100.0	130.0	170.0	210.0	250.0	○		適切
	活動指標 ④																		

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	オンラインにて対応可能な行政手続きの割合	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	職員アンケート結果(デジタル化の浸透度)		

指標設定チェックシート

施策名	5	区民生活を支える双方向の情報コミュニケーション
部課名	政策経営部 区民相談課・広報課	

【1. 取組の目標、取組方針と指標の対応関係】

取組の目標	取組方針	定量的評価				定性的評価	
		成果指標		活動指標		数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>○区民参画を更に促進するとともに、区民から寄せられた意見を区政に反映させる取組を進める</p> <p>○誰もが必要な情報を容易に受け取れるよう、相手の立場に立った情報発信に取り組む</p>	(1)	○様々な機会や仕組みを通じて傾聴するとともに、寄せられた意見や要望を精査・分析し、区政運営の改善に活かせるよう広聴機能を充実します。	①	「区の政策に区民の考えや意見が反映されている」と思う区民の割合【%】	③	年間の「区民の声」PR媒体数	
		○区民の多様性や参加しやすい環境づくりに留意しつつ、地域課題を共有するための基礎データ等を電子化し、積極的に公開することにより、区政や地域課題に対する区民の関心を高めています。	②		④		
	(2)	○広報としまや区のホームページなどの基幹媒体に加え、SNSなどを積極的に活用し、伝えたい相手に最適な手段で情報提供できるよう戦略的に発信します。	①	「区政情報が伝わっている」と思う区民の割合【%】	③	1か月あたりの豊島区ホームページ訪問数【件】	
		○新聞記事や報道番組等への掲載・放映を通じて、区の取組や魅力をタイムリーに区内外へ幅広く発信・PRするため、社会的に注目度の高い事項に関する区の取組を定例の区長記者会見やプレスリリースにより、積極的に報道機関に発信します。	②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

			新基本計画期間(2025-2029)										
指標名			単位	2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
取組方針 (1)	成果指標	①	「区の政策に区民の考えや意見が反映されている」と思う区民の割合	%	49.9	51.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	継続	
	成果指標	②											
	活動指標	③	年間の「区民の声」PR媒体数	回	3	5	5	6	6	6	6	新規	
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	「区政情報が伝わっている」と思う区民の割合	%	48.5	50.0	53.0	56.0	59.0	62.0	65.0	継続	
	成果指標	②											
	活動指標	③	1か月あたりの豊島区ホームページ訪問数	件	653,953	660,493	667,097	673,768	680,506	687,311	694,184	新規	
	活動指標	④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	協働のまちづくりに関する区民意識調査において、同質問に「反映されている」「少しは反映されている」と回答した区民の割合	区民の声が区政に反映されているかどうかについて、区民がどのように感じているか把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	年間の「区民の声」PR媒体数(ホームページ、としま広報、デジタルサイネージ、PRポスター、X(旧ツイッター)、LINE)	単に「区民の声」をPRするだけでなく、声がどのように反映されたかをPRすることで、区政への参画意識を高めることにつながるため		所管課データ	
	活動指標	④					
取組方針 (2)	成果指標	①	同質問に「十分に伝わっている」と「ある程度伝わっている」と回答した区民の割合	広報に対する区民の伝わり方が把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	1か月あたりの豊島区ホームページ訪問数	ホームページは、詳しい内容を区民に伝えることができる広報媒体であり、かつ、閲覧数などの区民の動向を定期的に把握することが可能なため		所管課データ	
	活動指標	④					

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)①	「区の政策に区民の考えや意見が反映されている」と思う区民の割合【%】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(1)②	「区政情報が伝わっている」と思う区民の割合【%】	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	「区の政策に区民の考えや意見が反映されている」と思う区民の割合	◎	✓	✓		✓	%	49.9	51.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	目標値が高すぎる
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	年間の「区民の声」PR媒体数	○	✓	✓		✓	回	3	5	5	6	6	6	6	適切
	活動指標 ④															
取組方針(2)	成果指標 ①	「区政情報が伝わっている」と思う区民の割合	△		✓		✓	%	48.5	50.0	53.0	56.0	59.0	62.0	65.0	目標値が高すぎる
	成果指標 ②	1か月あたりの豊島区ホームページ訪問数	◎	✓	✓	✓	✓	件	653,953	660,493	667,097	673,768	680,506	687,311	694,184	適切
	活動指標 ③															
	活動指標 ④															

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査)	「区の政策に区民の考えや意見が反映されている」と思う区民の割合【%】	備考	指標②:「区政情報が伝わっている」意識調査と比較した場合、ホームページ訪問数はより客観性が高い指標であるため。
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	1か月あたりの豊島区ホームページ訪問数		

指標設定チェックシート

施策名	6	地域の魅力と区民の誇りを高めるシティプロモーション
部課名	政策経営部 シティプロモーション課	

【1. 取組の目標、取組方針と指標の対応関係】

取組の目標	取組方針	定量的評価				定性的評価
		成果指標		活動指標		数値目標では捉えられない/ 数値化できない評価の視点
<p>○地域の魅力を国内外に広く発信し、世界中から人を呼び込み、地域に賑わいを創出する。</p> <p>○本区の認知度・イメージを向上させ、区民等の誇りや愛着を醸成する。</p>	<p>(1) ○ 地域の魅力を国内外に広く発信するため、従来の広報活動の枠にとらわれることなく、短期間で一挙に話題を広めることのできるSNSの活用や国内外で開催される旅行博への出展などにより、これまでに本区の情報が届いていなかった人々へのプロモーション活動を充実させることで、世界中から人を呼び込み、地域の賑わいを創出する。</p> <p>○ 職員一人ひとりが、本区のプロモーション活動を行う一員であるという認識のもと、広報部門ばかりでなく職員個々の情報発信スキルを高め、各所管が戦略的に情報を伝達することにより、これまでの周知方法の枠にとられない、新たな発想による街の魅力発信に取り組みます。</p>	①	区HP内シティプロモーションページへの新規訪問者数【人】	③	区HP内シティプロモーションページへの新規記事掲載数【回】	
		②		④		
	<p>(2) ○ 地域で育まれてきた文化・伝統行事や本区がこれまで培ってきた芸術文化活動に加え、本区の強みである「マンガ・アニメ」などを前面に打ち出し、豊島区ならではの公民一体でのプロモーション活動を展開するなど、豊島区のブランド力をさらに磨き上げ、魅力を高めます。</p> <p>○ 地域の文化・伝統行事などへの本区の独自性や価値の認識を深めるとともに、積極的な区民参加や、戦略的なプロモートやメディアを介した情報発信の徹底に努め、本区が魅力と活力を兼ね備えた自治体として評価されることにより、広く区民の「地域への愛着や誇り」を醸成し、さらに地域を活性化していきます。</p>	①	チームとしま等の公民連携・民民連携に係る共創プロジェクト創出数【件】	③	チームとしま等の公民連携・民民連携に係る機会及び場の形成数【件】	
		②	シティプロモーション課が発信するSNSのフォロワー数【人】	④	シティプロモーション課が発信するSNSの投稿数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
取組方針 (1)	成果指標	①	区HP内シティプロモーションページへの新規訪問者数	人	—	—	10,000	12,000	14,000	18,000	20,000	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	区HP内シティプロモーションページへの新規記事掲載数	回	—	—	15	24	24	24	24	新規	
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	チームとしま等の公民連携・住民連携に係る共創プロジェクト創出数	件		—	15.0	15.0	20.0	20.0	25.0	新規	
	成果指標	②	シティプロモーション課が発信するSNSのフォロワー数	人			500.0	1,000.0	1,500.0	2,000.0	2,500.0		
	活動指標	③	チームとしま等の公民連携・住民連携に係る機会及び場の形成数	件	—	—	6	6	6	6	6	新規	
	活動指標	④	シティプロモーション課が発信するSNSの投稿数	件			48.0	48.0	48.0	48.0	48.0		

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区HP内シティプロモーションページへの新規訪問者数	区HP内シティプロモーションページへの新規訪問者数は区への興味関心を得てサイト訪問した数値となるため		所管課データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	区HP内シティプロモーションページへの新規記事掲載数	区の魅力を情報発信する数量を表す数値であるため		所管課データ	
	活動指標	④					
取組方針 (2)	成果指標	①	チームとしま等の公民連携・住民連携に係る共創プロジェクト創出数	区における公民・住民連携による活力を可視化した指標となるため		所管課データ	
	成果指標	②	シティプロモーション課が発信するSNSのフォロワー数	区のファン予備軍の数値をあらわしているため		所管課データ	
	活動指標	③	チームとしま等の公民連携・住民連携に係る機会及び場の形成数	区における公民・住民連携による活力を可視化し形成する活動の指標となるため		所管課データ	
	活動指標	④	シティプロモーション課が発信するSNSの投稿数	区の魅力を情報発信している数値であるため		所管課データ	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)①	シティプロモーション課が発信するSNSのフォロワー数	・各取組方針に基づく活動の結果を図るのにふさわしいと考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)①	チームとしま等の公民連携・住民連携に係る共創プロジェクト創出数	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	①目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	区HP内シティプロモーションページへの新規訪問者数	◎	✓	✓	✓	✓		人	—	—	10,000	12,000	14,000	18,000	20,000	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	区HP内シティプロモーションページへの新規記事掲載数	○	✓	✓				回	—	—	15	24	24	24	24	適切
	活動指標 ④																
取組方針(2)	成果指標 ①	チームとしま等の公民連携・民民連携に係る共創プロジェクト創出数	◎	✓	✓	✓	✓		件		—	15.0	15.0	20.0	20.0	25.0	適切
	成果指標 ②	シティプロモーション課が発信するSNSのフォロワー数	○	✓	✓				人			500.0	1,000.0	1,500.0	2,000.0	2,500.0	適切
	活動指標 ③	チームとしま等の公民連携・民民連携に係る機会及び場の形成数	○	✓	✓				件	—	—	6	6	6	6	6	目標値が低すぎる
	活動指標 ④	シティプロモーション課が発信するSNSの投稿数	○	✓	✓				件			48.0	48.0	48.0	48.0	48.0	適切

【計画に掲載する指標の選定(事務局案)】

指標①	成果指標(区民意識調査以外)	区HP内シティプロモーションページへの新規訪問者数	備考	所管部局案を採用
指標②	成果指標(区民意識調査以外)	チームとしま等の公民連携・民民連携に係る共創プロジェクト創出数		